

平成30年度第2回地域福祉計画推進協議会（平成31年1月25日）

資料1-1

第4次和歌山市地域福祉計画に係る アンケート結果報告書

目次

1	調査概要	1
	(1) 調査目的	2
	(2) 調査対象	2
	(3) 調査方法	2
	(4) 回収結果	2
	(5) 報告書の見方	2
2	分析結果	3
	(1) 11の取り組みについて	4
	(2) 先導的に取り組む事項について	5
	(3) さまざまな団体・機関などのネットワークの充実について	6
3	調査結果	13
	(1) 地域福祉団体及び福祉の相談窓口へのアンケート調査結果	14
	(2) 地域の居場所や福祉の相談窓口の利用者へのアンケート調査結果	47
	(3) 小学生アンケート調査結果	61
	参考資料（調査票）	97
	(1) 地域福祉団体及び福祉の相談窓口へのアンケート調査票	98
	(2) 地域の居場所や福祉の相談窓口の利用者へのアンケート調査票	106
	(3) 小学生アンケート調査票	114

1 調査概要

(1) 調査目的

和歌山市の地域福祉に関係する基礎データ等の収集・整理を目的とする。

(2) 調査対象

①地域福祉団体及び福祉の相談窓口へのアンケート調査

地区社協会長、単位老人クラブ会長、民生委員・児童委員、公民館長、婦人会、つどいの家、地域包括支援センター、相談支援事業所、地域子育て支援拠点施設、NPO・ボランティア団体

②地域の居場所や福祉の相談窓口の利用者へのアンケート調査

地域包括支援センターの利用者、つどいの家の利用者、相談支援事業所の利用者、地域子育て支援拠点施設の利用者

③小学生アンケート調査

和歌山市内の公立小学校の6年生

(3) 調査方法

①地域福祉団体及び福祉の相談窓口へのアンケート調査

郵送または手渡しによる配布・回収

②地域の居場所や福祉の相談窓口の利用者へのアンケート調査

郵送または手渡しによる配布・回収

③小学生アンケート調査

学校による配布・回収

(4) 回収結果

調査内容	配布件数	回収件数	回収率
①地域福祉団体及び福祉の相談窓口へのアンケート調査	1,408 件	899 件	63.8%
②地域の居場所や福祉の相談窓口の利用者へのアンケート調査	495 件	169 件	34.1%
③小学生アンケート調査	606 件	606 件	100.0%

(5) 報告書の見方

- ・回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、又は回答の判別が困難なものです。
- ・図表中の「n」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

2 分析結果

(1) 11の取り組みについて

「第3次和歌山市地域福祉計画」（以下「現計画」という。）では、地域福祉を推進していくために11の取り組みの柱を立て、それらを市民、団体、事業者、市・関係者等が、役割を分担しながら協働して進めていくことが書かれています。

地域福祉団体及び福祉の相談窓口へのアンケート調査では取り組んでいる状況を、地域の居場所や福祉の相談窓口の利用者へのアンケート調査では取り組みの進み具合を聞いていますが、取り組んでいる状況と取り組みの進み具合のギャップをみると、「地域のつながりを強くします」が最も高く27.4ポイント、「困りごとに気づき、支援につながります」が27.0ポイント、「地域福祉への理解をすすめます」23.1ポイントとなっており、取り組みの方向性や内容等を早急に検討すべき項目となっています。

		困りごとに気づき、支援につながります	多様な困りごとに対応したサービスや活動をすすめます	権利をまもり、暮らしを高めます	健康や生きがいづくりをすすめます	地域福祉への理解をすすめます	地域福祉の担い手を増やします	地域福祉活動への支援を充実します	地域福祉をすすめるネットワークを広げます	地域のつながりを強くします	快適な生活環境をつくりまします	安全に暮らせる地域をつくりまします	
① 『取り組んでいる』 （「積極的に取り組んでいる」 +「少しは取り組んでいる」）	全体	73.7	63.3	58.2	71.3	66.3	41.9	55.1	46.9	67.6	56.8	68.5	
	エリア	中心部	76.0	66.7	60.7	69.7	65.5	45.7	55.1	47.6	68.2	58.1	70.8
		南部	64.0	55.3	50.0	68.4	57.0	40.4	53.5	41.2	59.6	54.4	63.2
		東部	75.4	61.5	58.5	73.8	76.2	45.4	58.5	44.6	63.1	54.6	65.4
		東南部	75.3	61.9	56.7	77.3	69.1	43.3	54.6	46.4	72.2	56.7	73.2
		河西部	74.4	63.0	57.5	69.9	60.3	38.4	51.1	49.8	68.0	54.8	64.8
		河北部	74.5	74.5	64.7	72.5	78.4	49.0	65.7	62.7	74.5	57.8	72.5
② 『進んでいる』 （「大幅に進んでいる」 +「少しは進んでいる」）	全体	46.7	43.2	39.1	55.0	43.2	29.0	36.7	36.7	40.2	42.0	47.9	
	エリア	中心部	45.0	50.0	43.3	53.3	41.7	31.7	41.7	40.0	35.0	41.7	46.7
		南部	37.5	37.5	37.5	50.0	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5
		東部	36.7	40.0	30.0	56.7	40.0	20.0	36.7	23.3	43.3	40.0	53.3
		東南部	64.7	47.1	58.8	58.8	52.9	35.3	35.3	41.2	52.9	52.9	58.8
		河西部	36.8	36.8	26.3	42.1	31.6	21.1	21.1	26.3	36.8	31.6	36.8
		河北部	53.3	36.7	30.0	60.0	46.7	30.0	36.7	43.3	36.7	40.0	43.3
①-②	全体	27.0	20.1	19.1	16.3	23.1	12.9	18.4	10.3	27.4	14.8	20.6	
	エリア	中心部	31.0	16.7	17.3	16.3	23.9	14.0	13.4	7.6	33.2	16.4	24.1
		南部	26.5	17.8	12.5	18.4	19.5	2.9	16.0	3.7	22.1	16.9	25.7
		東部	38.7	21.5	28.5	17.2	36.2	25.4	21.8	21.3	19.7	14.6	12.1
		東南部	10.6	14.8	-2.1	18.5	16.1	8.0	19.3	5.2	19.2	3.8	14.4
		河西部	37.6	26.2	31.2	27.8	28.7	17.3	30.1	23.5	31.2	23.2	28.0
		河北部	21.2	37.8	34.7	12.5	31.8	19.0	29.0	19.4	37.8	17.8	29.2

(2) 先導的に取り組む事項について

現計画では、地域福祉の推進について、特に次のA～Fのプログラムを先導的に取り組む事項として設定し、市民、団体、事業者等にも協働を呼びかけています。

地域福祉団体及び福祉の相談窓口へのアンケート調査では取り組んでいる状況を、地域の居場所や福祉の相談窓口の利用者へのアンケート調査では取り組みの進み具合を聞いていますが、取り組んでいる状況と取り組みの進み具合のギャップをみると、「《プログラムC》生活困窮者への支援の推進」が最も高く28.2ポイント、次いで「《プログラムA》地域での学習や話しあいの推進」が25.8ポイント、「《プログラムB》災害時に支援が必要な人を支える取り組み」が23.4ポイントとなっており、取り組みの方向性や内容等を早急に検討すべき事項となっています。

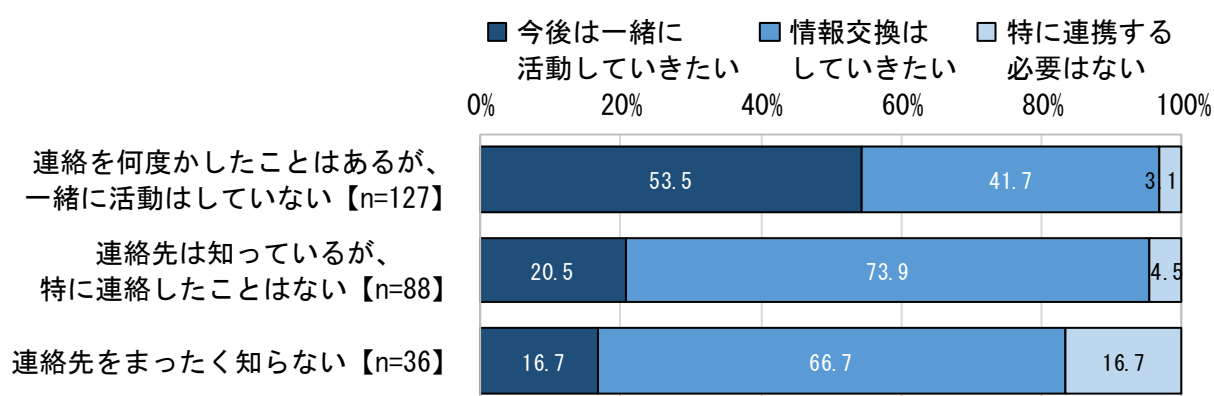
		地域での学習や話しあいの推進 プログラムA	災害時に支援が必要な人を支える取り組み プログラムB	生活困窮者への支援の推進 プログラムC	身近な相談窓口とネットワークの充実 プログラムD	協働事業の担い手の養成 プログラムE	担い手や活動を支える体制の充実 プログラムF	
① 『取り組んでいる』(「積極的に取り組んでいる」+「少しは取り組んでいる」)	全体	53.6	58.3	47.7	54.5	30.1	36.8	
	エリア	中心部	54.7	59.9	52.8	58.4	30.3	38.6
		南部	43.9	43.0	34.2	45.6	24.6	28.1
		東部	53.8	58.5	44.6	47.7	31.5	40.0
		東南部	49.5	56.7	40.2	53.6	29.9	28.9
		河西部	58.9	53.9	48.9	57.5	27.4	37.0
	河北部	57.8	68.6	51.0	59.8	31.4	40.2	
② 『進んでいる』(「大幅に進んでいる」+「少しは進んでいる」)	全体	27.8	34.9	19.5	40.8	24.9	22.5	
	エリア	中心部	33.3	48.3	35.0	55.0	25.0	31.7
		南部	25.0	25.0	12.5	50.0	25.0	25.0
		東部	26.7	26.7	13.3	26.7	23.3	10.0
		東南部	23.5	35.3	11.8	35.3	29.4	29.4
		河西部	5.3	15.8	5.3	21.1	15.8	10.5
	河北部	40.0	30.0	13.3	46.7	33.3	23.3	
①-②	全体	25.8	23.4	28.2	13.7	5.3	14.3	
	エリア	中心部	21.3	11.6	17.8	3.4	5.3	6.9
		南部	18.9	18.0	21.7	-4.4	-0.4	3.1
		東部	27.2	31.8	31.3	21.0	8.2	30.0
		東南部	26.0	21.4	28.4	18.3	0.5	-0.5
		河西部	53.6	38.1	43.6	36.5	11.6	26.5
	河北部	17.8	38.6	37.6	13.1	-2.0	16.9	

(3) さまざまな団体・機関などのネットワークの充実について

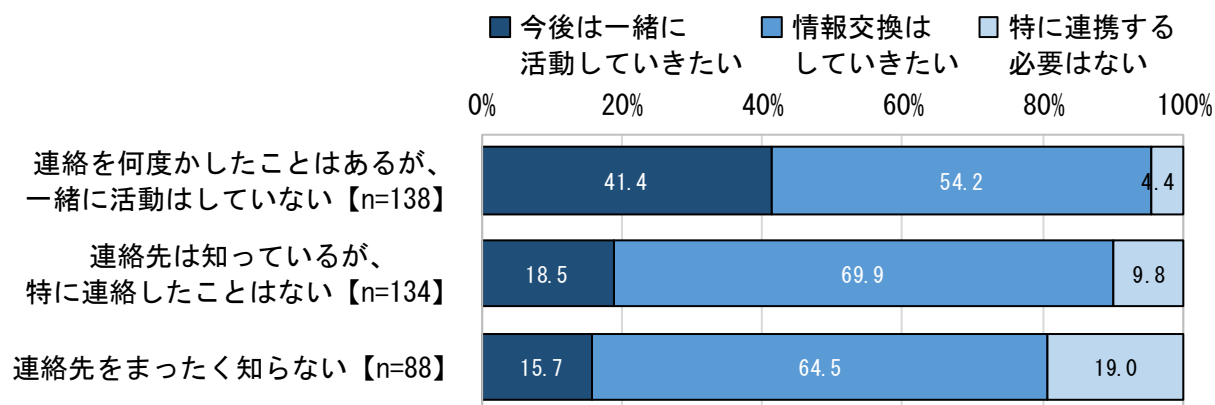
地域福祉団体及び福祉の相談窓口へのアンケート調査では地域福祉を推進するために団体・事業者等がもっと積極的に取り組んだ方がよい項目について、「さまざまな団体・機関などのネットワークの充実」が最も多く 39.6%となっています（P23 参照）。

問6（1）の団体や機関との連携状況と問6（2）の連携したい団体や機関をクロス集計する（問6（2）については「所属している」と無回答を除く）と、どの項目においても「情報交換していきたい」割合が高くなっていることから、まずは情報交換ができる仕組みを構築することが求められています。

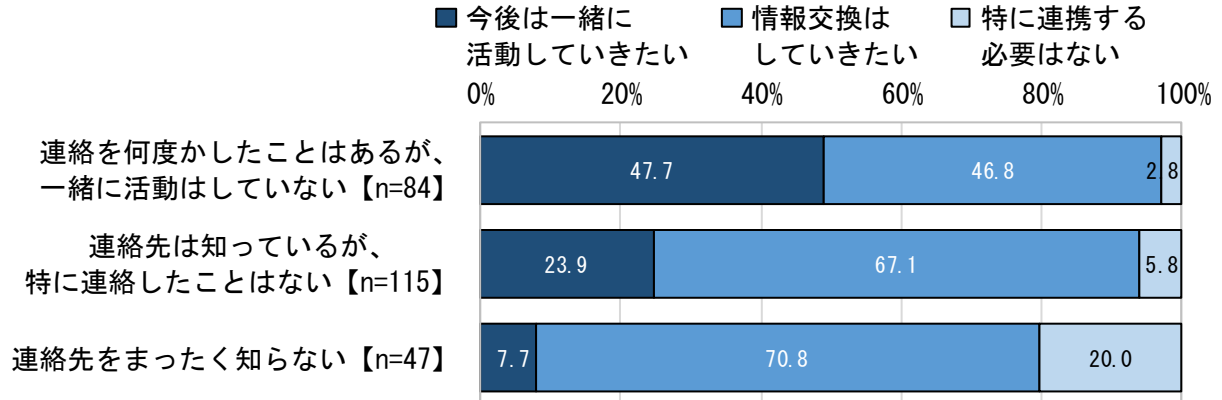
同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体



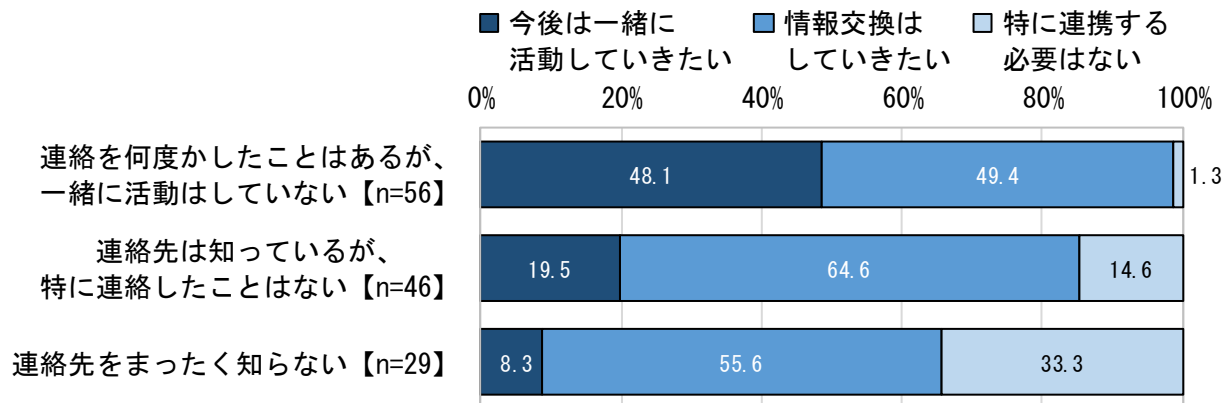
他の地域の自治会やその他の地域の団体



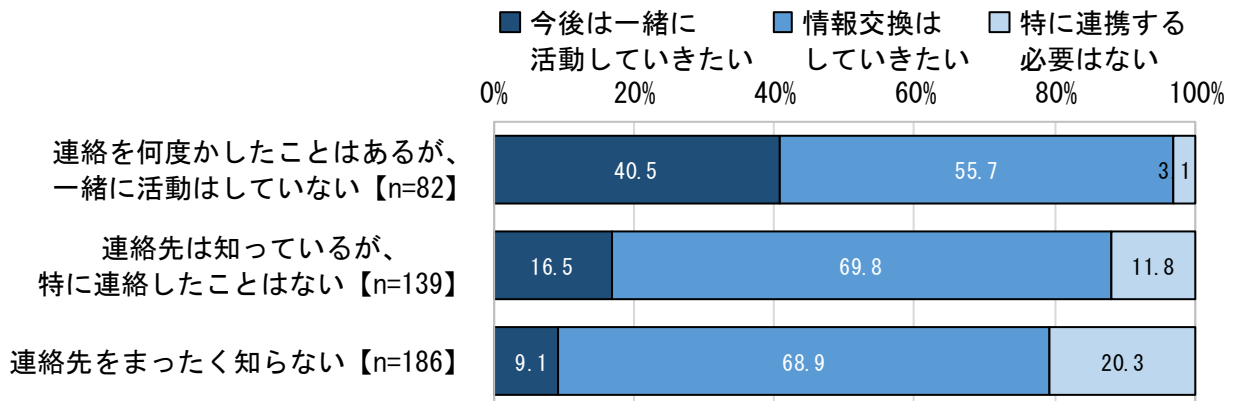
地区社会福祉協議会



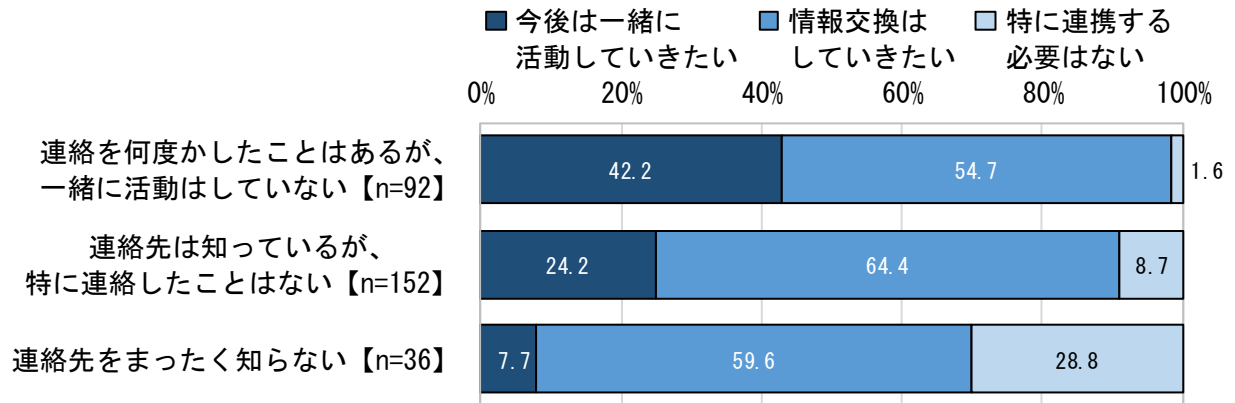
地区民生委員・児童委員協議会



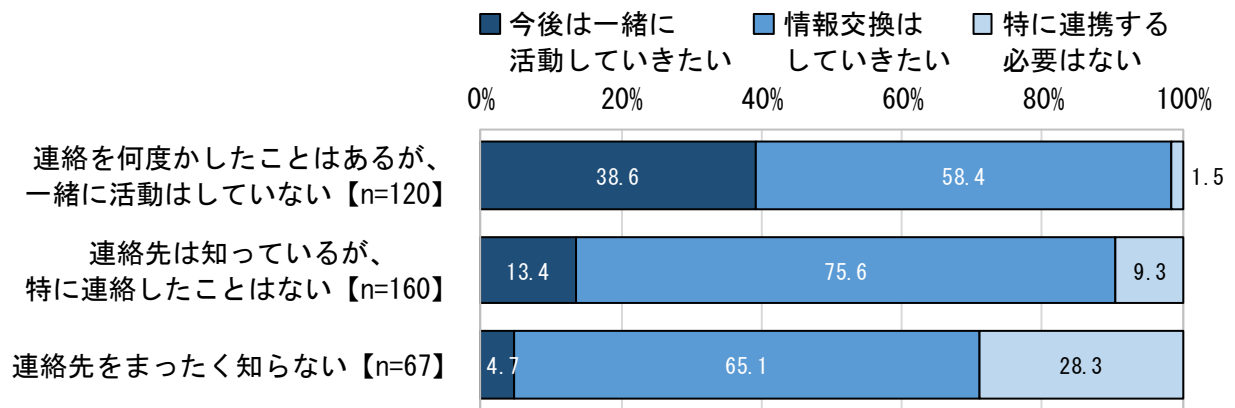
ボランティアグループやNPO



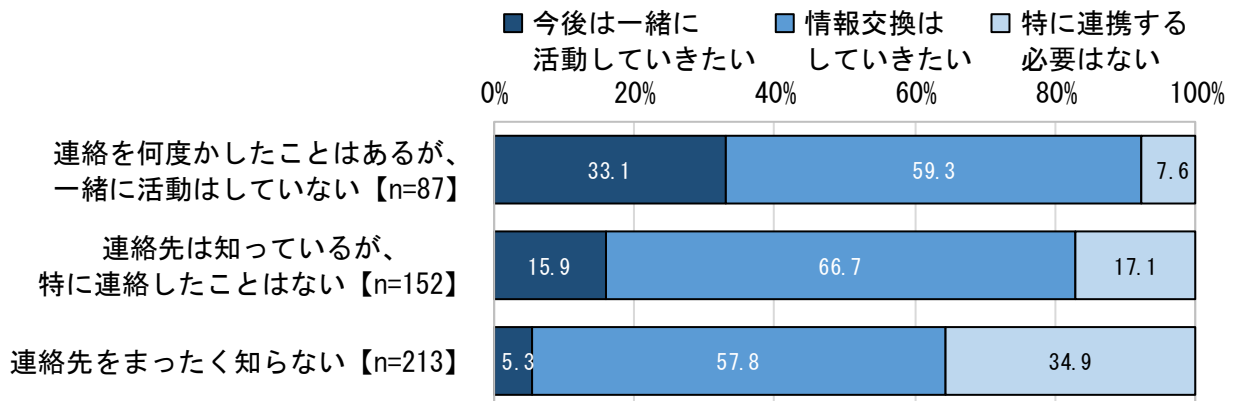
和歌山市社会福祉協議会



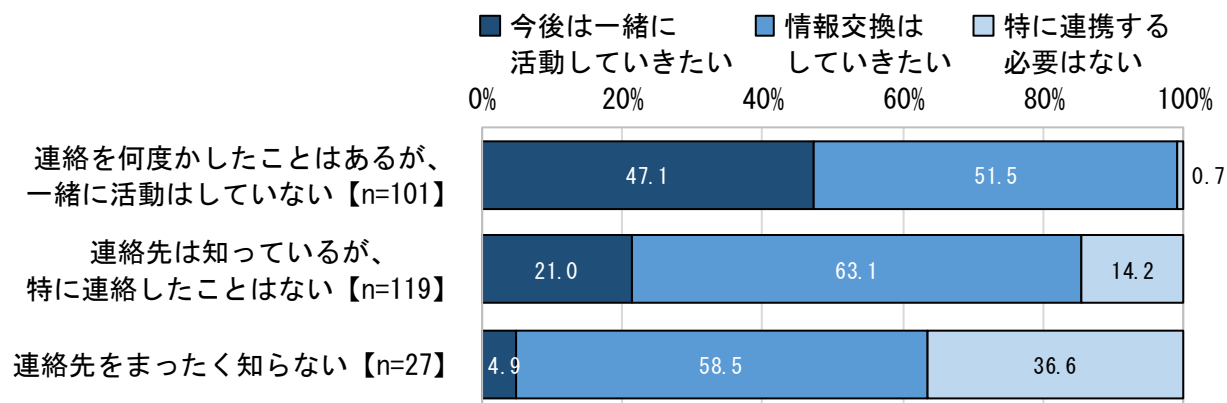
福祉施設・保育所・認定こども園・福祉サービスの事業所



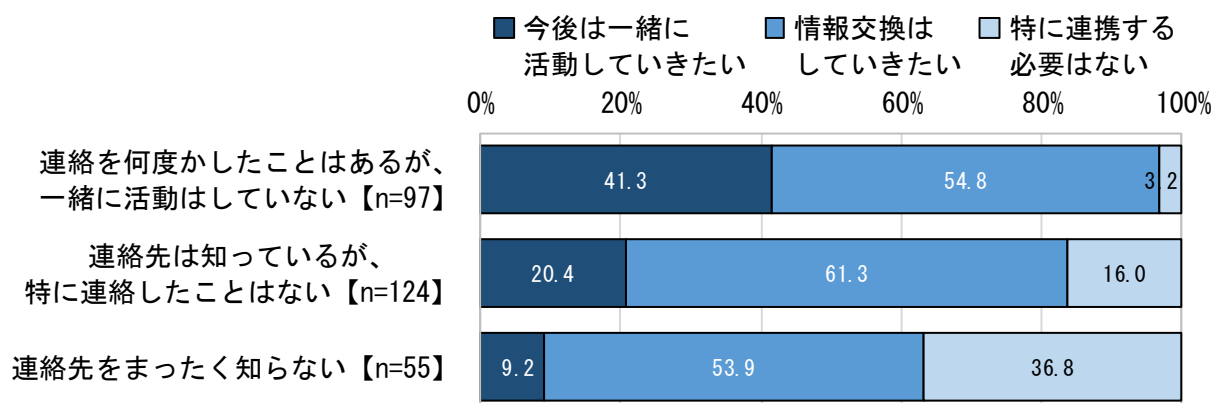
福祉以外の事業所や企業



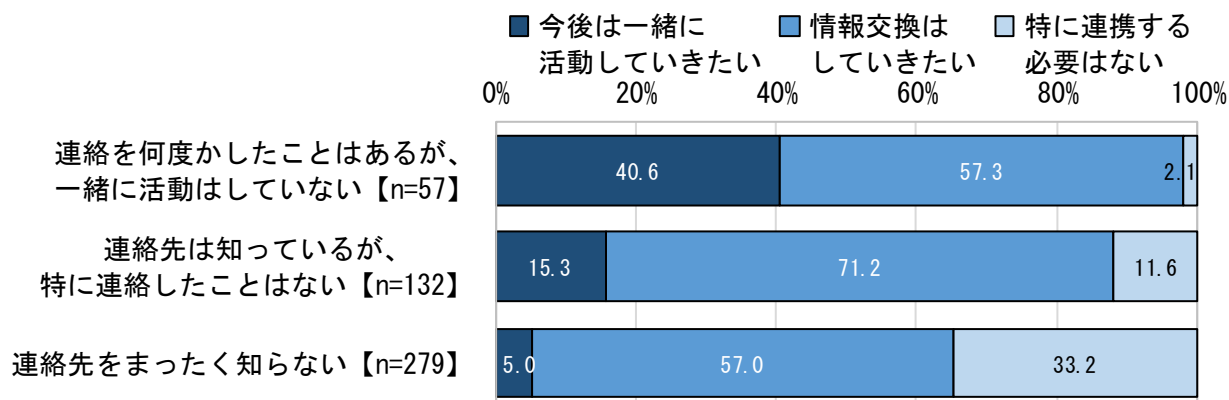
学校、幼稚園



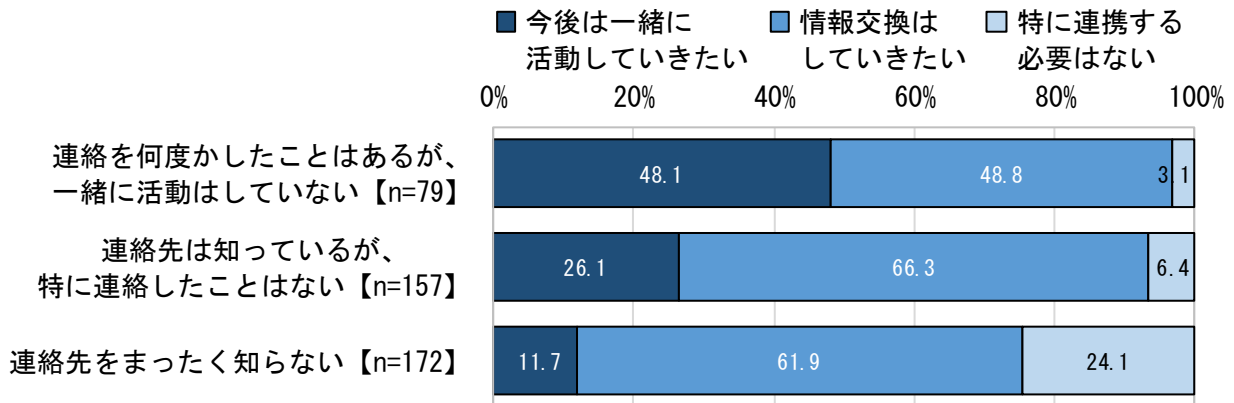
公民館



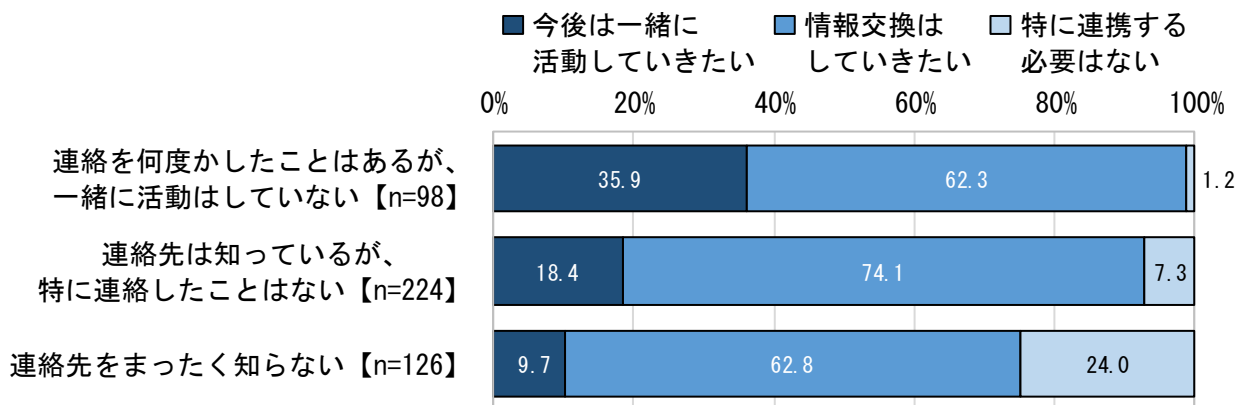
つどいの家



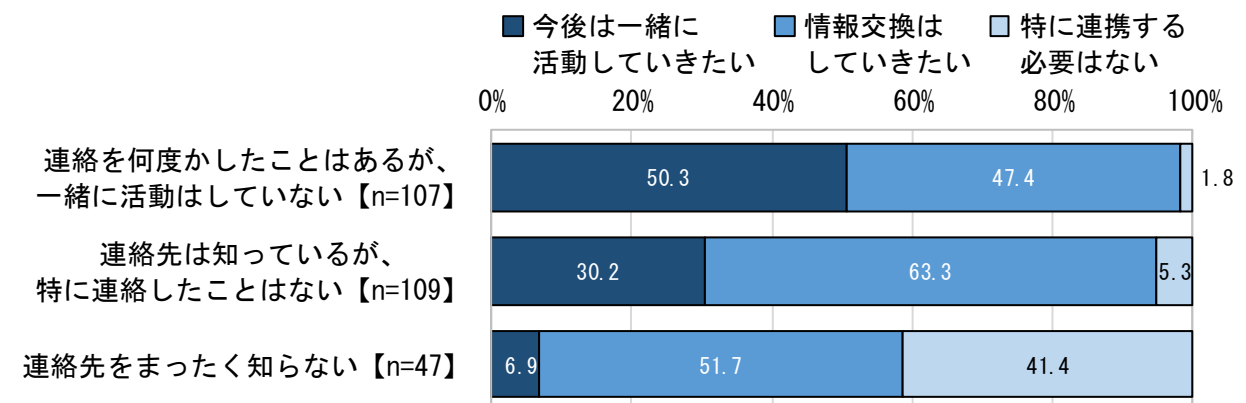
地域子育て支援拠点施設



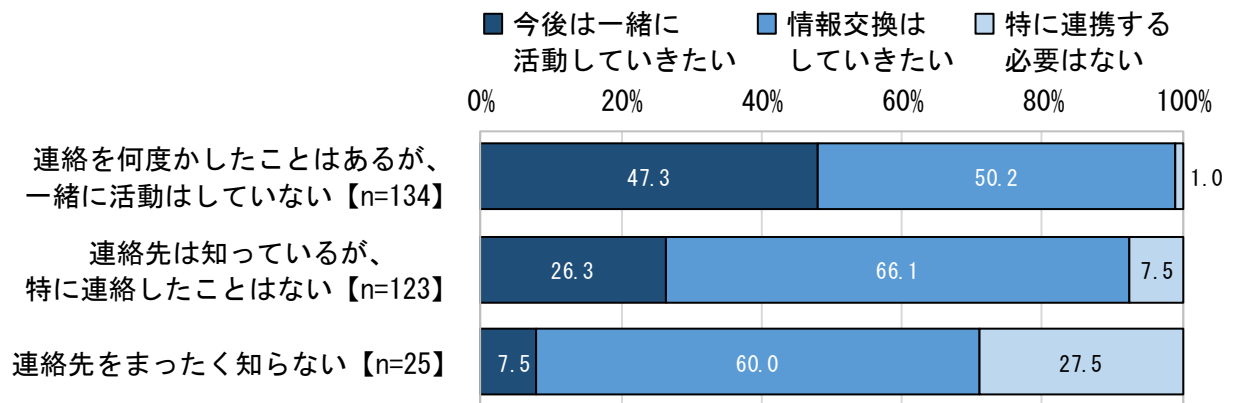
医療機関や医療専門職



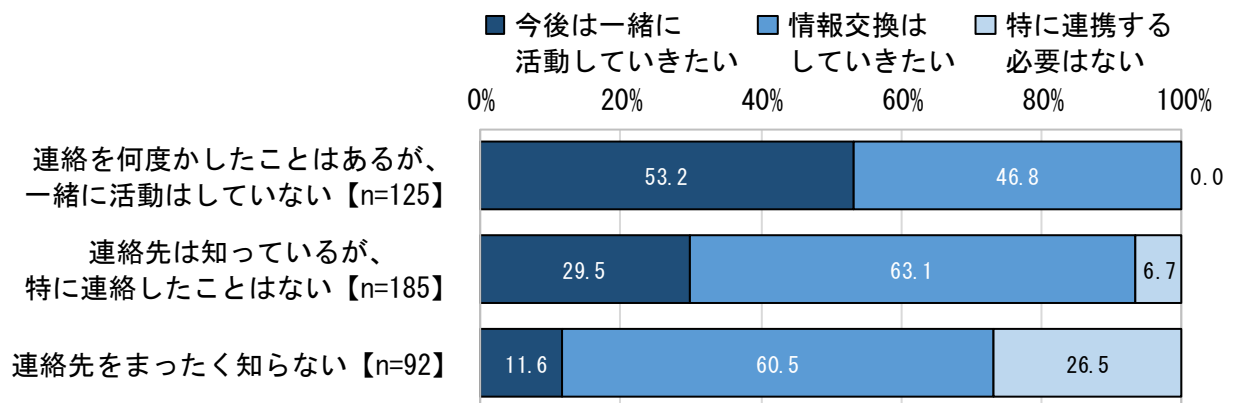
福祉に関する地域の相談機関（地域包括支援センター等）



和歌山市役所（福祉事務所やその他の部局）



和歌山市の専門機関（子ども総合支援センター等）



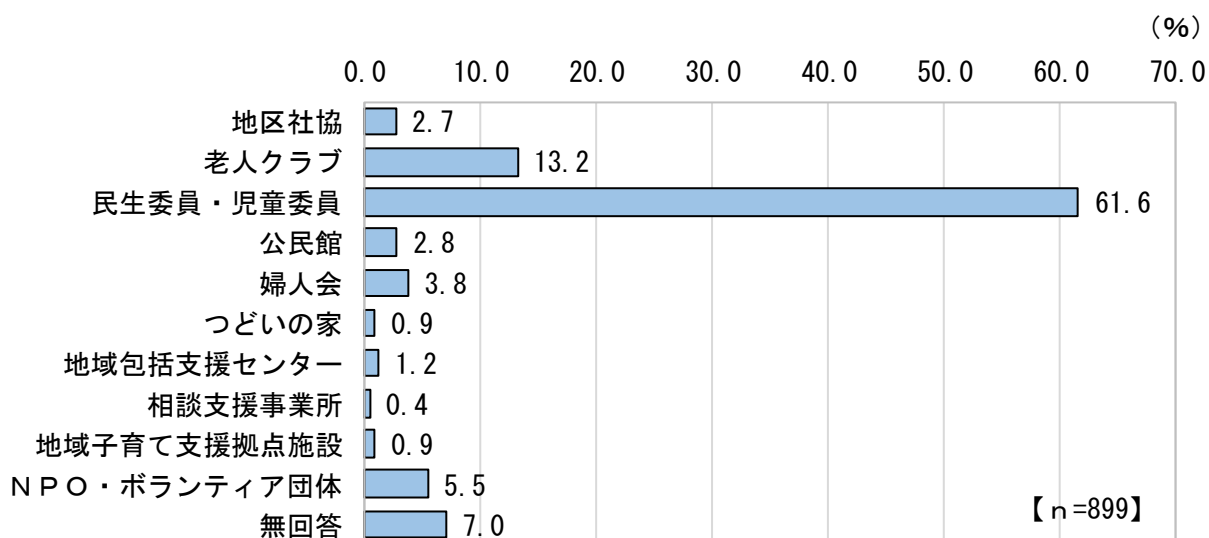
3 調査結果

(1) 地域福祉団体及び福祉の相談窓口へのアンケート調査結果

問1 所属はどちらですか。

○は1つ

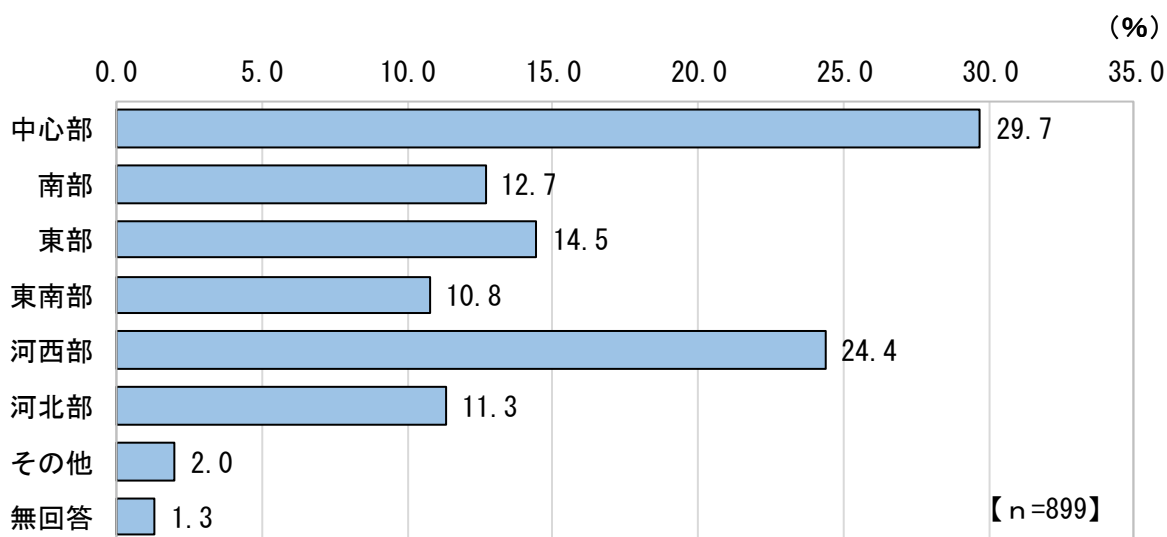
所属について、「民生委員・児童委員」が最も多く61.6%、次いで「老人クラブ」が13.2%、「NPO・ボランティア」が5.5%と続いています。



問2 活動されているエリアはどちらですか。

○はいくつでも

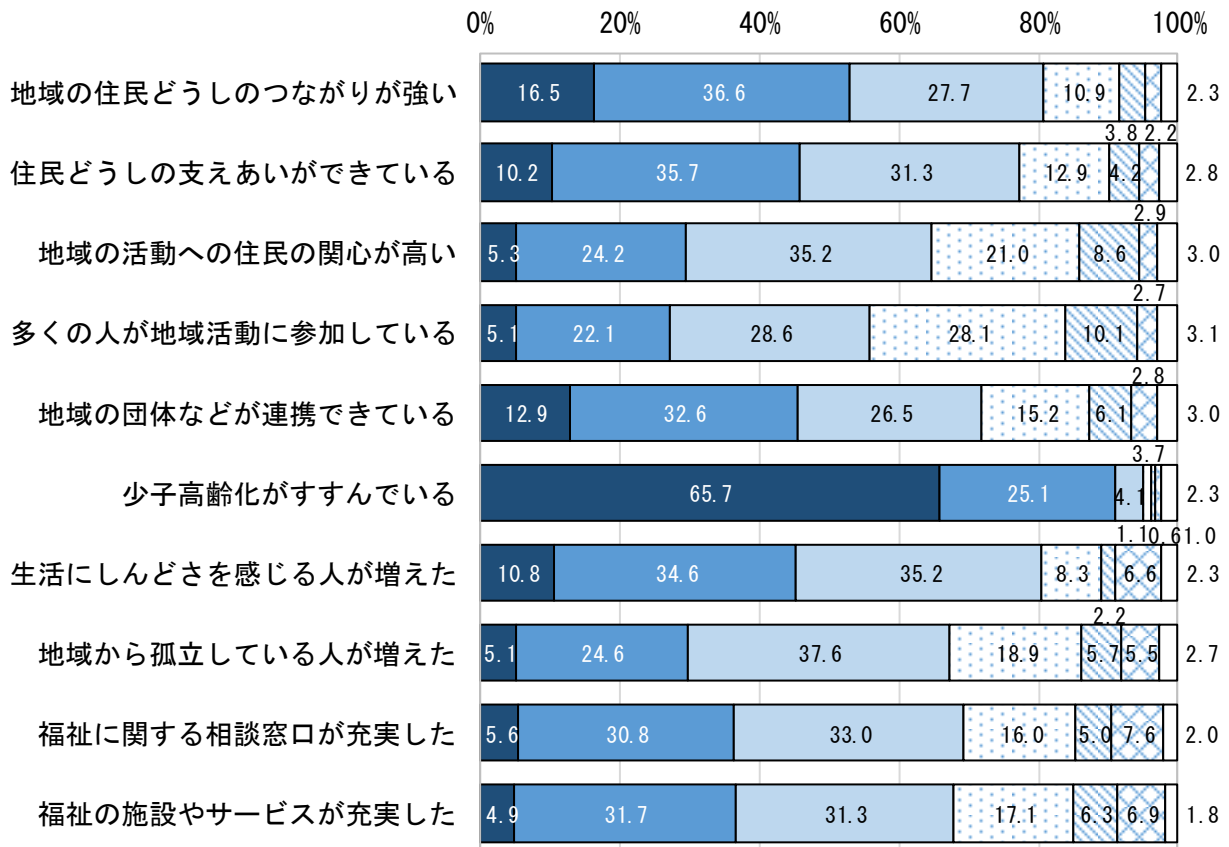
活動されているエリアについて、「中心部」が最も多く29.7%、次いで「河西部」が24.4%、「東部」が14.5%と続いています。



問3 活動されているエリアの状況を、どのように感じていますか。 ○は1つ

活動されているエリアの状況について、『そう思う』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）では、「少子高齢化がすすんでいる」が最も多く90.9%、次いで「地域の住民どうしのつながりが強い」が53.1%、「住民どうしの支えあいができる」が45.9%と続いています。

■ そう思う ■ ややそう思う □ どちらともいえない □ あまりそう思わない □ そう思わない □ わからない □ 無回答



【n=899】

『そう思う』（「そう思う」+「ややそう思う」）		n	の地 つ の な が 住 り 民 が ど う し の つ な が り が 強 い	あ 住 民 が ど う し の 支 え あ い が で き て い る	民 地 の 関 心 が 高 い	動 多 く の 参 加 し て い る	連 地 域 の 団 体 な ど が 連 携 し て い る	少 子 高 齢 化 が すす んで い る	生 活 に し ん ど さ を 感 じ る 人 が 増 え た	い 地 域 か ら 孤 立 し て い る 人 が 増 え た	窓 口 が 充 実 し た	福 祉 に 関 する 相 談 が 充 実 し た	ビ 福 ス 社 の 施 設 や サ ー ビ ス が 充 実 し た
全体		899	53.1	45.9	29.6	27.3	45.5	90.9	45.4	29.7	36.4	36.6	
所属	地区社協	24	54.2	58.3	37.5	29.2	62.5	95.8	33.3	20.8	29.2	33.3	
	老人クラブ	119	63.0	54.6	30.3	38.7	49.6	92.4	42.0	25.2	37.8	31.1	
	民生委員・児童委員	554	52.2	45.1	27.8	22.9	43.9	92.8	47.5	29.2	39.2	41.2	
	公民館	25	64.0	48.0	40.0	44.0	68.0	100.0	44.0	44.0	20.0	36.0	
	婦人会	34	73.5	67.6	47.1	44.1	76.5	91.2	23.5	23.5	35.3	41.2	
	つどいの家	8	50.0	50.0	37.5	37.5	37.5	100.0	75.0	37.5	37.5	37.5	
	地域包括支援センター	11	54.5	54.5	45.5	45.5	63.6	100.0	54.5	54.5	36.4	36.4	
	相談支援事業所	4	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	100.0	100.0	100.0	25.0	0.0	
	地域子育て支援拠点施設	8	25.0	12.5	37.5	12.5	25.0	50.0	25.0	25.0	37.5	25.0	
NPO・ボランティア団体	49	26.5	22.4	14.3	16.3	18.4	79.6	36.7	30.6	16.3	12.2		
エリア	中心部	267	46.1	42.7	25.1	22.8	46.8	93.6	47.2	35.2	37.5	35.6	
	南部	114	51.8	42.1	31.6	26.3	30.7	89.5	46.5	27.2	27.2	27.2	
	東部	130	50.0	42.3	31.5	26.2	50.8	89.2	47.7	32.3	38.5	40.8	
	東南部	97	52.6	43.3	22.7	24.7	32.0	84.5	33.0	25.8	34.0	33.0	
	河西部	219	53.9	47.0	30.1	28.3	44.7	93.2	47.5	28.8	35.2	37.9	
	河北部	102	60.8	52.0	36.3	32.4	51.0	94.1	47.1	31.4	39.2	39.2	

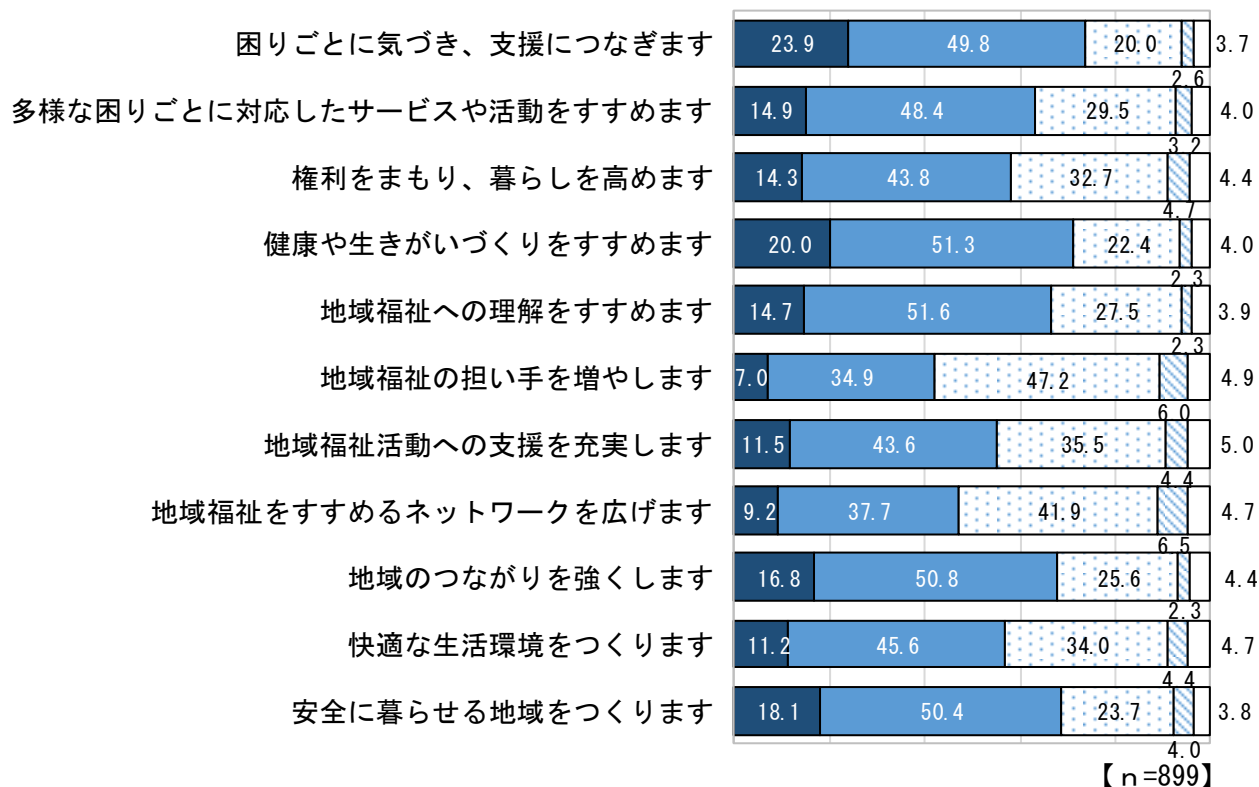
現計画では、地域福祉を推進していくために11の取り組みの柱を立て、それらを市民、団体、事業者、市・関係者等が、役割を分担しながら協働して進めていくことが書かれています。

問4 貴団体では、これらの取り組みをどのように進めていますか。 ○は1つ

団体としての取り組みについて、『取り組んでいる』（「積極的に取り組んでいる」と「少しは取り組んでいる」の合計）では、「困りごとに気づき、支援につながります」が最も多く73.7%、次いで「健康や生きがいづくりをすすめます」が71.3%、「安全に暮らせる地域をつくります」が68.5%と続いています。

■ 積極的に取り組んでいる ■ 少しは取り組んでいる □ あまり取り組んでいない ■ まったく取り組んでいない □ 無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%



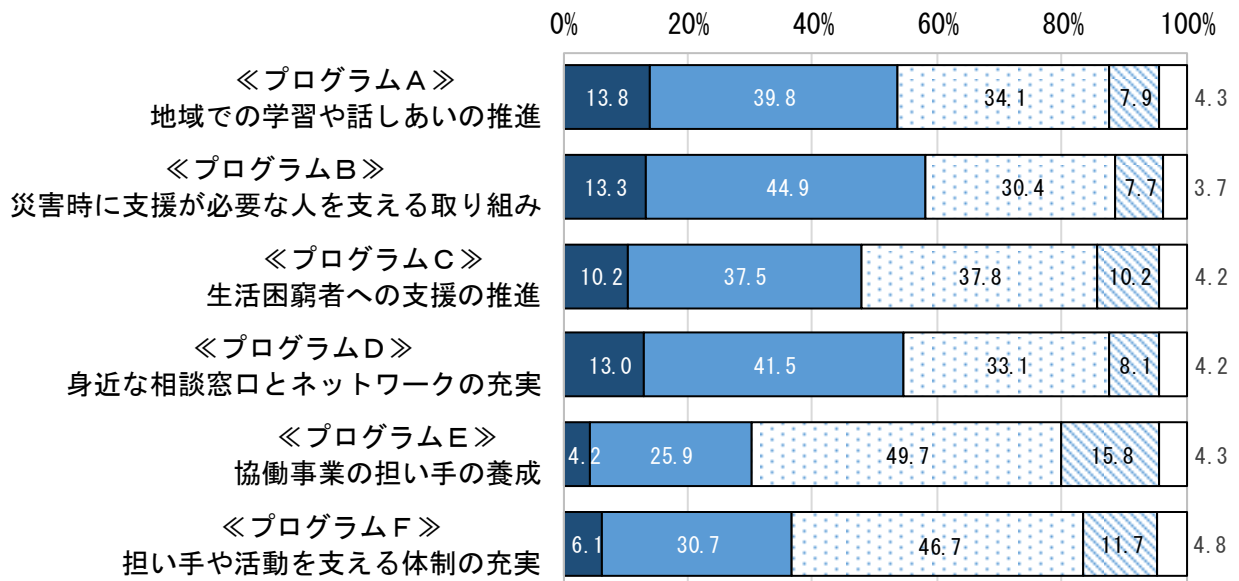
所属	n	『取り組んでいる』（「積極的に取り組んでいる」+「少しは取り組んでいる」）											
		困りごとに気づき、支援	多様な困りごとに対応するサービスや活動をすすめます	権利をまもり、暮らしを高めます	健康や生きがいづくりをすすめます	地域福祉への理解をすすめます	地域福祉の担い手を増やします	地域福祉活動への支援を充実します	地域福祉をすすめるネットワークを広げます	地域のつながりを強くします	快適な生活環境をつくります	安全に暮らせる地域をつくります	
全体	899	73.7	63.3	58.2	71.3	66.3	41.9	55.1	46.9	67.6	56.8	68.5	
所属	地区社協	24	75.0	54.2	50.0	79.2	70.8	41.7	54.2	41.7	70.8	66.7	79.2
	老人クラブ	119	58.8	50.4	45.4	78.2	61.3	44.5	49.6	36.1	66.4	50.4	62.2
	民生委員・児童委員	554	81.2	69.5	61.9	70.2	69.1	41.5	58.7	49.5	68.8	57.6	70.8
	公民館	25	56.0	44.0	60.0	80.0	60.0	44.0	44.0	40.0	84.0	72.0	80.0
	婦人会	34	58.8	47.1	58.8	88.2	67.6	50.0	52.9	50.0	85.3	70.6	79.4
	つどいの家	8	62.5	50.0	37.5	100.0	75.0	50.0	75.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	地域包括支援センター	11	90.9	100.0	100.0	100.0	100.0	54.5	90.9	90.9	90.9	72.7	72.7
	相談支援事業所	4	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	25.0	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0
	地域子育て支援拠点施設	8	87.5	87.5	87.5	62.5	87.5	62.5	75.0	75.0	75.0	62.5	75.0
NPO・ボランティア団体	49	51.0	40.8	49.0	53.1	44.9	42.9	28.6	42.9	38.8	38.8	51.0	
エリア	中心部	267	76.0	66.7	60.7	69.7	65.5	45.7	55.1	47.6	68.2	58.1	70.8
	南部	114	64.0	55.3	50.0	68.4	57.0	40.4	53.5	41.2	59.6	54.4	63.2
	東部	130	75.4	61.5	58.5	73.8	76.2	45.4	58.5	44.6	63.1	54.6	65.4
	東南部	97	75.3	61.9	56.7	77.3	69.1	43.3	54.6	46.4	72.2	56.7	73.2
	河西部	219	74.4	63.0	57.5	69.9	60.3	38.4	51.1	49.8	68.0	54.8	64.8
	河北部	102	74.5	74.5	64.7	72.5	78.4	49.0	65.7	62.7	74.5	57.8	72.5

現計画では、地域福祉の推進について、特に次のA～Fのプログラムを先導的に取り組む事項として設定し、市民、団体、事業者等にも協働を呼びかけています。

問5 (1)	先導的に取り組む事項について、貴団体ではどのように取り組んでいますか。	○は1つ
-----------	-------------------------------------	------

先導的に取り組む事項における団体としての取り組みについて、『取り組んでいる』（「積極的に取り組んでいる」と「少しは取り組んでいる」の合計）では、「≪プログラムB≫災害時に支援が必要な人を支える取り組み」が最も多く 58.3%、次いで「≪プログラムD≫身近な相談窓口とネットワークの充実」が54.5%、「≪プログラムA≫地域での学習や話しあいの推進」が53.6%と続いています。

積極的に取り組んでいる
 少しは取り組んでいる
 あまり取り組んでいない
 まったく取り組んでいない
 無回答

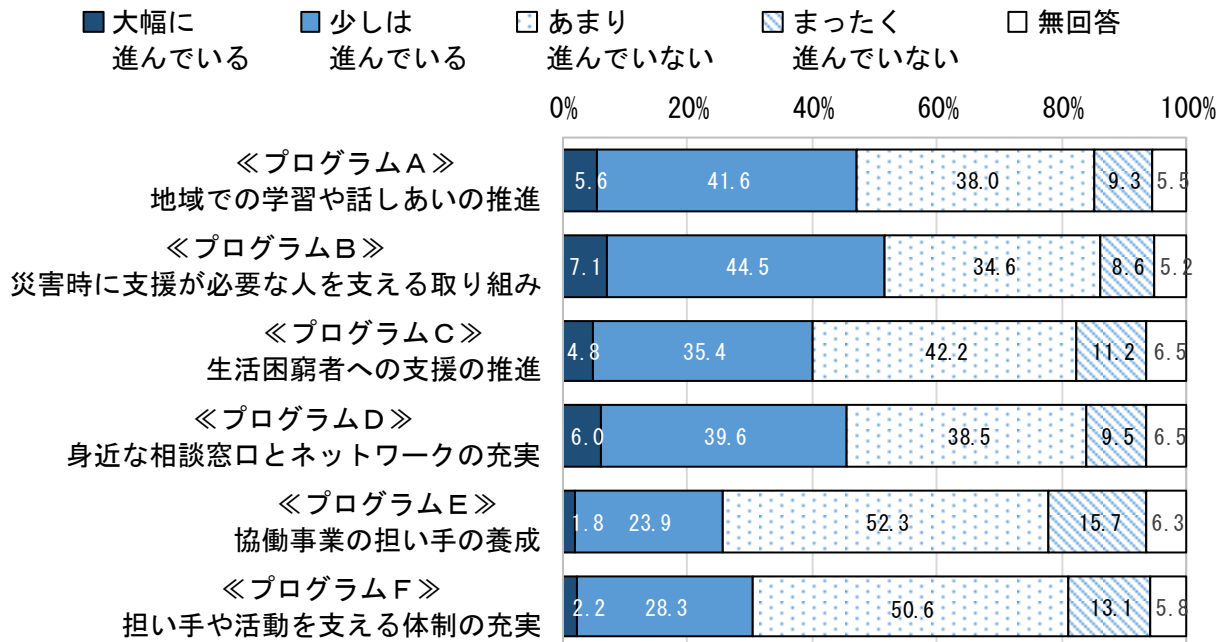


【n=899】

		n	≪プログラムA≫	≪プログラムB≫	≪プログラムC≫	≪プログラムD≫	≪プログラムE≫	≪プログラムF≫
			地域での学習や話しあいの推進	災害時に支援が必要な人を支える取り組み	生活困窮者への支援の推進	身近な相談窓口とネットワークの充実	協働事業の担い手の養成	担い手や活動を支える体制の充実
『取り組んでいる』 （「積極的に取り組んでいる」＋ 「少しは取り組んでいる」）								
全体		899	53.6	58.3	47.7	54.5	30.1	36.8
所属	地区社協	24	50.0	58.3	37.5	58.3	25.0	29.2
	老人クラブ	119	55.5	39.5	22.7	36.1	21.0	25.2
	民生委員・児童委員	554	53.6	66.8	59.6	64.6	33.4	39.5
	公民館	25	84.0	60.0	36.0	20.0	24.0	32.0
	婦人会	34	70.6	61.8	20.6	23.5	23.5	47.1
	つどいの家	8	37.5	12.5	12.5	25.0	25.0	37.5
	地域包括支援センター	11	63.6	27.3	63.6	90.9	54.5	54.5
	相談支援事業所	4	75.0	75.0	50.0	100.0	0.0	50.0
	地域子育て支援拠点施設	8	62.5	62.5	25.0	87.5	0.0	37.5
NPO・ボランティア団体	49	34.7	30.6	22.4	30.6	28.6	30.6	
エリア	中心部	267	54.7	59.9	52.8	58.4	30.3	38.6
	南部	114	43.9	43.0	34.2	45.6	24.6	28.1
	東部	130	53.8	58.5	44.6	47.7	31.5	40.0
	東南部	97	49.5	56.7	40.2	53.6	29.9	28.9
	河西部	219	58.9	53.9	48.9	57.5	27.4	37.0
	河北部	102	57.8	68.6	51.0	59.8	31.4	40.2

問5 (2)	平成 27 年度から平成 29 年度にかけての実施状況はどうか。	○は1つ
-----------	----------------------------------	------

先導的に取り組む事項における団体としての取り組みにおける平成 27 年度から平成 29 年度にかけての実施状況について、『進んでいる』（「大幅に進んでいる」と「少しは進んでいる」の合計）では、「≪プログラムB≫災害時に支援が必要な人を支える取り組み」が最も多く 51.6%、次いで「≪プログラムA≫地域での学習や話しあいの推進」が 47.2%、「≪プログラムD≫身近な相談窓口とネットワークの充実」が 45.6%と続いています。



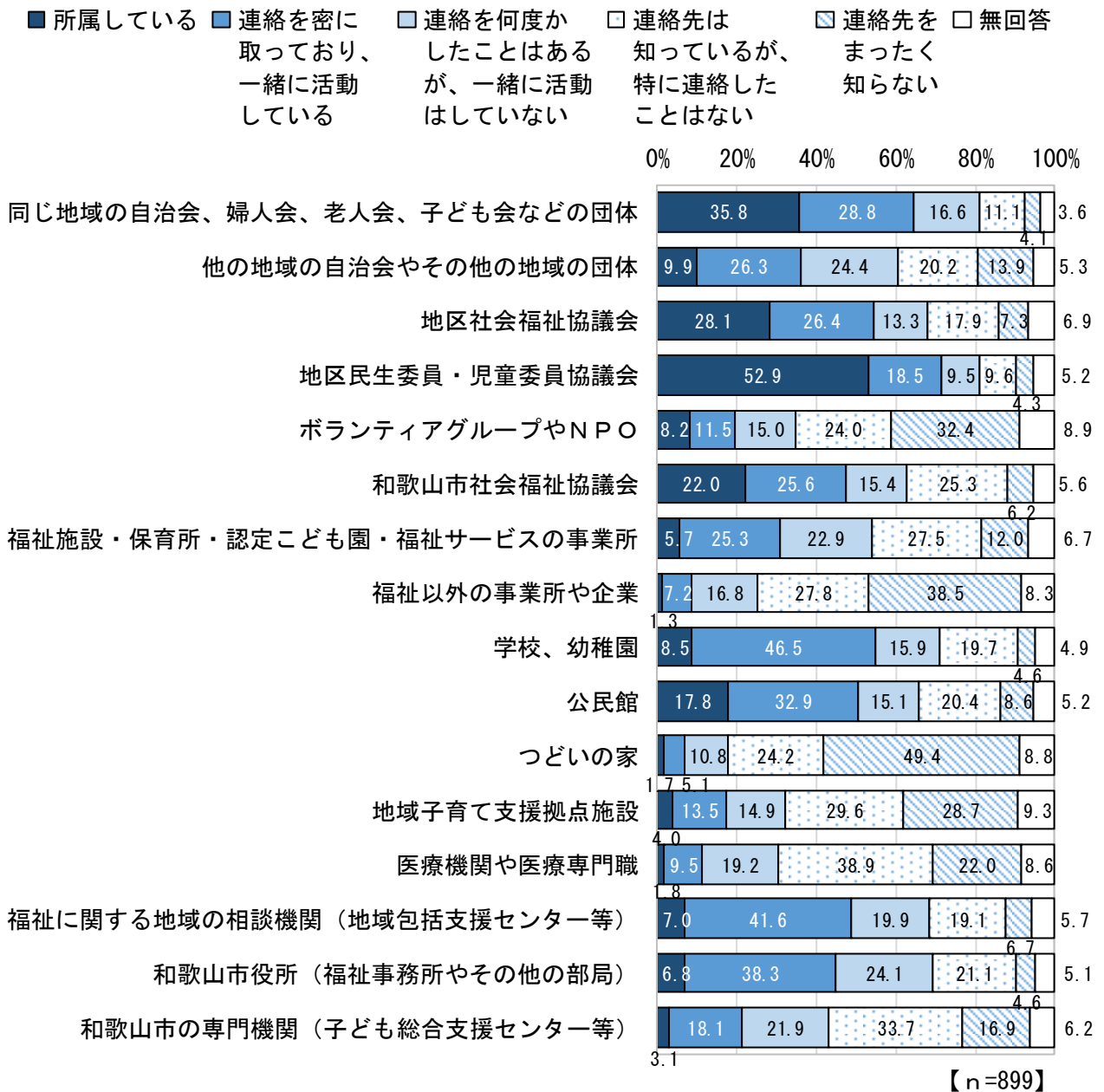
【n=899】

『進んでいる』 （「大幅に進んでいる」+ 「少しは進んでいる」）	n	プログラムA	プログラムB	プログラムC	プログラムD	プログラムE	プログラムF	
		地域での学習や話しあいの推進	災害時に支援が必要な人を支える取り組み	生活困窮者への支援の推進	身近な相談窓口とネットワークの充実	協働事業の担い手の養成	担い手や活動を支える体制の充実	
全体	899	47.2	51.6	40.2	45.6	25.7	30.5	
所属	地区社協	24	45.8	50.0	29.2	33.3	25.0	20.8
	老人クラブ	119	40.3	27.7	13.4	27.7	14.3	20.2
	民生委員・児童委員	554	48.9	61.6	50.2	53.4	29.4	33.2
	公民館	25	80.0	56.0	16.0	20.0	20.0	28.0
	婦人会	34	64.7	47.1	23.5	29.4	20.6	35.3
	つどいの家	8	37.5	12.5	12.5	12.5	25.0	37.5
	地域包括支援センター	11	54.5	18.2	54.5	81.8	36.4	18.2
	相談支援事業所	4	75.0	75.0	50.0	100.0	25.0	50.0
	地域子育て支援拠点施設	8	50.0	50.0	25.0	75.0	12.5	50.0
	NPO・ボランティア団体	49	30.6	28.6	20.4	28.6	22.4	28.6
エリア	中心部	267	38.6	48.7	52.4	42.3	45.3	23.6
	南部	114	28.1	38.6	40.4	28.9	41.2	23.7
	東部	130	40.0	46.2	54.6	43.1	44.6	27.7
	東南部	97	28.9	44.3	51.5	30.9	45.4	29.9
	河西部	219	37.0	49.8	47.9	42.0	50.2	23.7
	河北部	102	40.2	55.9	55.9	44.1	48.0	30.4

現計画では、市民、団体、事業者、市・関係機関等が、それぞれの特長を活かして協働し、和歌山市の地域福祉全体を効果的に推進していくことになっています。

問6 (1)	貴団体が活動する上で、どのような団体や機関と連携していますか。	○は1つ
-----------	---------------------------------	------

団体や機関との連携状況について、「連絡を密に取っており、一緒に活動している」では「学校、幼稚園」が最も多く46.5%、「連絡を何度かしたことはあるが、一緒に活動はしていない」では「他の地域の自治会やその他の地域の団体」が最も多く24.4%、「連絡先は知っているが、特に連絡したことはない」では「医療機関や医療専門職」が最も多く38.9%、「連絡先をまったく知らない」では「つどいの家」が最も多く49.4%となっています。

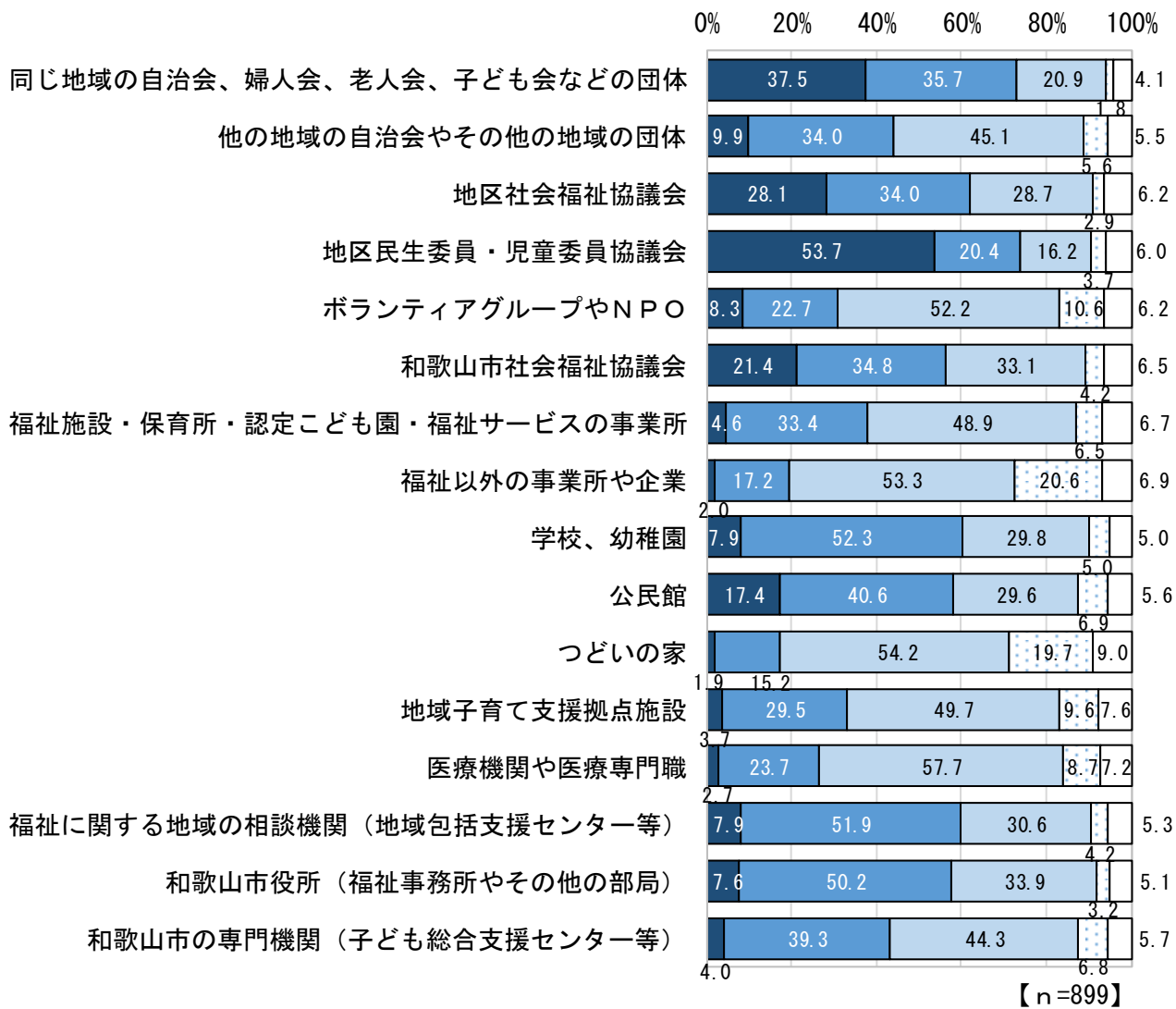


連絡を密に取っており、一緒に活動している		n	同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体	他の地域の自治会やその他の地域の団体	地区社会福祉協議会	地区民生委員・児童委員協議会	ボランティアグループやNPO	和歌山市社会福祉協議会	福祉施設・保育所・認定こども園・福祉サービスの事業所	福祉以外の事業所や企業	学校、幼稚園	公民館	つどいの家	地域子育て支援拠点施設	医療機関や医療専門職	福祉に関する地域の相談機関（地域包括支援センター等）	和歌山市役所（福祉事務所やその他の部局）	和歌山市の専門機関（子ども総合支援センター等）
所属	地区社協	24	25.0	25.0	20.8	41.7	12.5	41.7	16.7	8.3	41.7	37.5	12.5	8.3	8.3	41.7	41.7	12.5
	老人クラブ	119	25.2	26.9	22.7	21.8	7.6	14.3	16.0	1.7	37.8	36.1	4.2	8.4	8.4	25.2	16.0	7.6
	民生委員・児童委員	554	31.6	26.9	29.4	15.2	10.8	29.8	29.4	6.1	51.3	35.9	5.2	17.1	7.9	52.2	43.9	22.2
	公民館	25	44.0	52.0	32.0	36.0	24.0	24.0	28.0	20.0	68.0	4.0	8.0	4.0	12.0	24.0	32.0	8.0
	婦人会	34	29.4	44.1	38.2	35.3	8.8	20.6	14.7	2.9	50.0	44.1	0.0	8.8	8.8	14.7	26.5	2.9
	つどいの家	8	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5
	地域包括支援センター	11	45.5	9.1	36.4	81.8	18.2	36.4	45.5	27.3	36.4	45.5	18.2	0.0	100.0	18.2	100.0	9.1
	相談支援事業所	4	25.0	50.0	50.0	25.0	50.0	50.0	25.0	75.0	75.0	25.0	0.0	25.0	50.0	100.0	100.0	100.0
	地域子育て支援拠点施設	8	25.0	12.5	0.0	25.0	37.5	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	62.5	25.0
	NPO・ボランティア団体	49	4.1	4.1	8.2	6.1	22.4	14.3	18.4	18.4	18.4	4.1	2.0	8.2	12.2	14.3	38.8	12.2
エリア	中心部	267	28.8	27.3	23.6	15.7	10.5	24.7	27.0	8.6	47.2	33.3	6.7	13.1	10.1	39.3	43.8	17.6
	南部	114	20.2	15.8	17.5	10.5	14.0	14.0	19.3	6.1	37.7	23.7	5.3	9.6	5.3	28.1	29.8	15.8
	東部	130	22.3	23.8	23.8	22.3	12.3	25.4	16.2	10.0	45.4	28.5	5.4	9.2	11.5	40.0	33.1	16.9
	東南部	97	26.8	24.7	27.8	20.6	11.3	26.8	34.0	10.3	61.9	37.1	2.1	21.6	6.2	38.1	30.9	18.6
	河西部	219	30.1	26.0	29.7	21.0	9.6	25.6	23.3	6.4	40.2	34.7	2.3	13.7	9.6	45.2	37.9	20.5
	河北部	102	39.2	36.3	38.2	22.5	22.5	37.3	38.2	12.7	52.0	35.3	7.8	11.8	17.6	55.9	53.9	23.5

問6 (2)	貴団体が活動するうえで、今後どのような団体や機関と連携したいですか。	○は1つ
-----------	------------------------------------	------

活動するうえで、連携したい団体や機関について、「今後は（今後も）一緒に活動していきたい」では「学校、幼稚園」が最も多く52.3%、「情報交換はしていきたい」では「医療機関や医療専門職」が最も多く57.7%、「特に連携する必要はない」では「福祉以外の事業所や企業」が最も多く20.6%となっています。

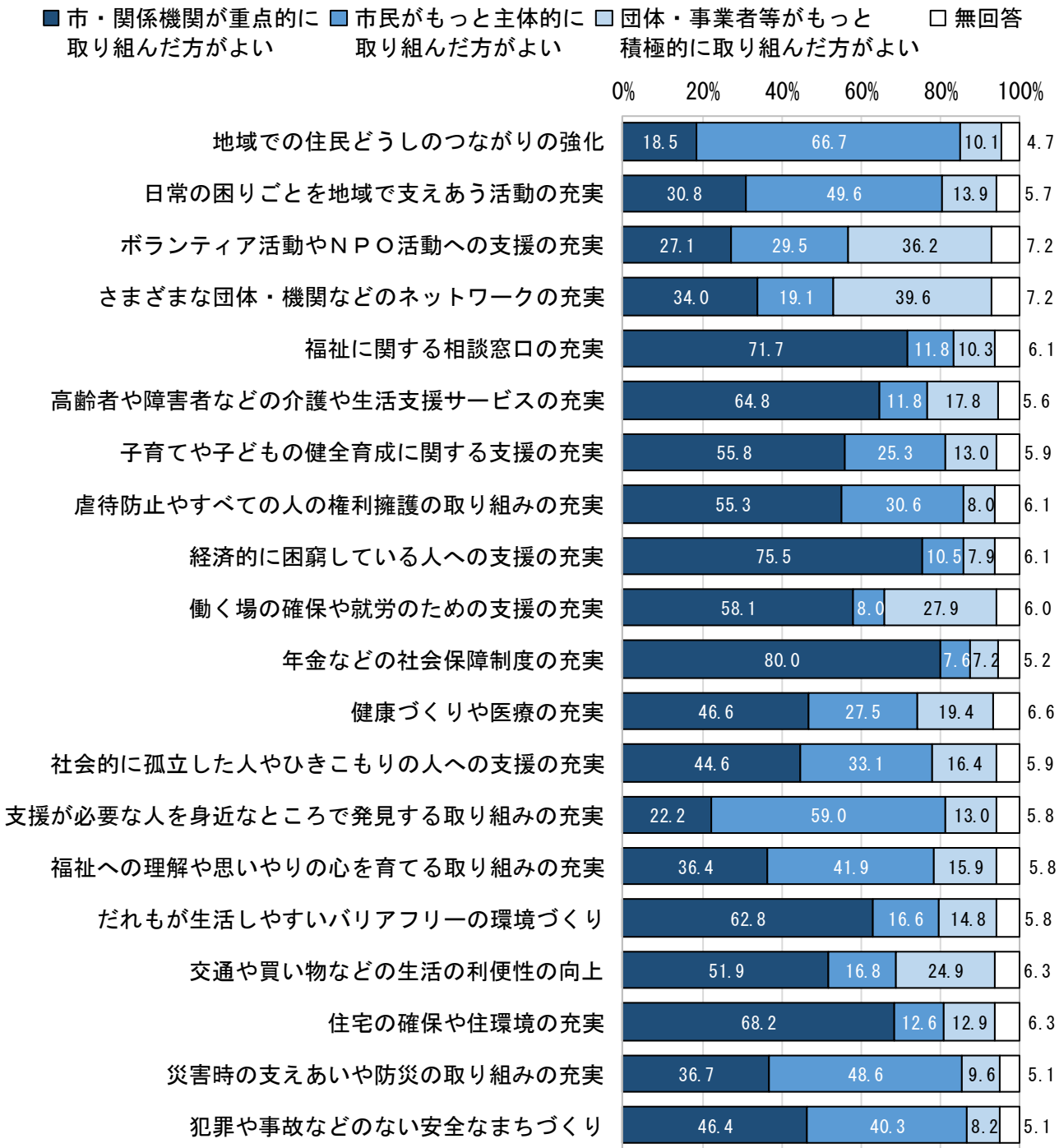
所属している
 今後は（今後も）一緒に活動していきたい
 情報交換はしていきたい
 特に連携する必要はない
 無回答



今後は（今後も）一緒に活動していきたい		n	同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体	他の地域の自治会やその他の地域の団体	地区社会福祉協議会	地区民生委員・児童委員協議会	ボランティアグループやNPO	和歌山市社会福祉協議会	福祉施設・保育所・認定こども園・福祉サービスの事業所	福祉以外の事業所や企業	学校 幼稚園	公民館	つどいの家	地域子育て支援拠点施設	医療機関や医療専門職	福祉に関する地域の相談機関（地域包括支援センター等）	和歌山市役所（福祉事務所やその他の部局）	和歌山市の専門機関（子ども総合支援センター等）
全体		899	35.7	34.0	34.0	20.4	22.7	34.8	33.4	17.2	52.3	40.6	15.2	29.5	23.7	51.9	50.2	39.3
所属	地区社協	24	58.3	37.5	37.5	54.2	33.3	29.2	20.8	16.7	62.5	45.8	25.0	25.0	16.7	50.0	54.2	33.3
	老人クラブ	119	27.7	31.9	26.9	28.6	14.3	21.0	19.3	10.1	37.0	37.8	9.2	11.8	18.5	30.3	22.7	13.4
	民生委員・児童委員	554	39.2	34.5	35.7	11.4	22.9	37.9	37.9	16.8	57.8	43.9	15.5	35.7	23.6	63.2	57.2	48.4
	公民館	25	52.0	44.0	44.0	48.0	36.0	32.0	44.0	28.0	68.0	8.0	20.0	20.0	20.0	36.0	48.0	32.0
	婦人会	34	14.7	38.2	38.2	44.1	14.7	44.1	29.4	11.8	61.8	55.9	8.8	23.5	26.5	29.4	38.2	20.6
	つどいの家	8	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0
	地域包括支援センター	11	81.8	72.7	90.9	100.0	81.8	90.9	72.7	36.4	63.6	81.8	72.7	27.3	100.0	27.3	100.0	54.5
	相談支援事業所	4	50.0	75.0	75.0	75.0	75.0	100.0	75.0	75.0	100.0	50.0	50.0	75.0	75.0	100.0	100.0	100.0
	地域子育て支援拠点施設	8	25.0	37.5	25.0	75.0	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	37.5	75.0	50.0
	NPO・ボランティア団体	49	22.4	24.5	32.7	22.4	28.6	36.7	30.6	32.7	30.6	18.4	16.3	26.5	32.7	38.8	49.0	32.7
エリア	中心部	267	36.3	40.4	31.5	18.7	24.0	36.0	33.0	16.9	50.6	40.4	15.0	28.8	23.2	51.7	50.9	38.6
	南部	114	33.3	33.3	36.8	23.7	23.7	31.6	27.2	14.9	44.7	36.8	18.4	28.1	21.1	43.9	48.2	40.4
	東部	130	33.1	33.1	33.8	18.5	23.8	33.1	32.3	23.8	44.6	30.0	18.5	23.8	23.8	41.5	40.0	32.3
	東南部	97	43.3	36.1	39.2	28.9	22.7	36.1	40.2	20.6	61.9	44.3	16.5	34.0	23.7	50.5	46.4	36.1
	河西部	219	36.1	33.3	37.9	23.3	18.7	37.9	32.4	14.6	54.3	42.5	11.0	31.5	25.1	58.0	53.4	40.6
	河北部	102	40.2	29.4	43.1	20.6	28.4	36.3	44.1	22.5	59.8	45.1	17.6	29.4	26.5	53.9	61.8	48.0

問7	地域福祉を推進するためには、次の①～⑳について、それぞれどのように取り組んだ方がよいと思いますか。	○は1つ
----	---	------

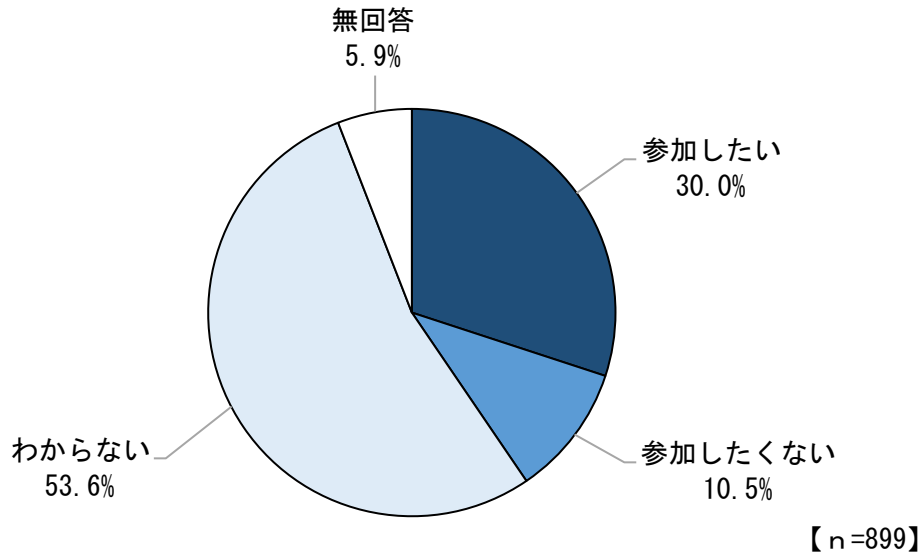
地域福祉を推進するための取り組みについて、「市・関係機関が重点的に取り組んだ方がよい」では「年金などの社会保障制度の充実」が最も多く 80.0%、「市民がもっと主体的に取り組んだ方がよい」では「地域での住民どうしのつながりの強化」が最も多く 66.7%、「団体・事業者等がもっと積極的に取り組んだ方がよい」では「さまざまな団体・機関などのネットワークの充実」が最も多く 39.6%となっています。



【n=899】

問8	この調査の結果や統計データなどをもとに、「地域の絆づくり交流会（本年10月～12月頃）」を開催する予定です。この会議に参加したいと思いますか。	○は1つ
----	---	------

地域の絆づくり交流会への参加希望について、「参加したい」が30.0%、「参加したくない」が10.5%、「わからない」が53.6%となっています。



問9	活動をするうえで、効果的だった取り組みについて、お書きください。
----	----------------------------------

所属：地区社協

No	内容
1	私達は皆様を楽しませる活動をしていますので、老人施設の慰問で体身が不自由になった人達が一緒に手を上げ踊りのふりをして喜んでくださり、涙を流して思い出したりすることがあります。その様な時に良かったと思います。私達も皆、年齢が60歳、70歳で仕事も持っている人が有り、又、自分の生活と慰問で忙しくしています。住所も大阪府、岩出市、和歌山市とバラバラですので各自、自分の住居地で出来る範囲で、自治会、防災、消防と活動しています。
2	災害防止に係る実践。障害者施設との交流を定期的実施。年末助け合い運動の実践。社会を明るくする運動の実践。リサイクル資源の回収事業の実施。
3	既存の団体に協力を仰ぎ、共働きできる形を態勢の整備。
4	安心安全な地域創生の考えを連合自治会が中心になり取り組んだことが大切であった。地区の事、地域全体の事が少しずつ広がっていき、全体の意識が向上した。
5	自治会や公民館活動を通じて各種団体の長との話し合いの場を持ち、意見交換ができる点で参考になる面も多く、協働していくことができる。

所属：老人クラブ

No	内容
1	月1回のカラオケ 老人会、月2回のエクササイズ、月1回絵手紙 福祉協議会 上記の会等は親睦に大いに良い

2	地域老人の仲間同志の交流により平素の疎外感を払拭することを重点に花見ハイキング、清掃奉仕、寿大学学習講座（地域公民館主催）への参加
3	私共の老人会では毎週（火）わなげ金体操を行っていますが、御婦人ばかり 12 名位のメンバーがいつも元気に参加していますが残念な事に参加メンバーが増えないのが悩み。
4	自治会、活動が良かった。{各種団体が参加しています。}
5	和歌山つれもて健康体操を 10 ヶ月続けています。週一回体操後の 1 時間程のお茶会が楽しみに成っています。
6	健康体操の取り組み（週 2 回）で、話し合いの場ができ体力向上にも役立っている。又、体操終了後のお茶飲み会も楽しみにしている人が増えた。
7	公民館を利用しての月 2 回のカラオケサークル、サンサンセンターでの年 1 回のカラオケ大会を通して、外出する機会が増え特にカラオケ大会には、ふだんつながりのない方も多く参加され地域住民同士をつながりの強化に役立っていると思います。
8	私達の地域では 2 月よりつれもて健康体操を取入れました。終了後お疲れさまで別れば参加者が減る傾向でしたので時間の許す方はだべってお茶をしませんかと呼掛けた所（女性の幹事は大変ですが）入会者も増え皆様も喜んで貰い参加者も維持しています。
9	毎月第 1 金曜日に実施している「介護予防教室」。専門職による時季に応じたテーマの解説と健康体操（筋トレ脳トレ）を組み合わせ実施している。また「敬老の日の集い」や「年末懇親会（忘年会）」「新年会」などでは、民謡・三味線やマジックショー、落語、ビンゴゲームなどのアトラクションを楽しみながら、会食や茶話会を実施している。今年度からはアルミ缶回収を行い、収入を自主的交流に活用している。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター名草さんの協力で WAKAYAMA つれもて健康体操実施、月 3 回、週 1 回、毎回 15 人～20 人参加 ・草刈奉仕作業、毎年 4 月～9 月、最終日曜日朝 7 時～9 時頃まで、25 名ぐらい参加地区のお宮、児童公園、草刈する
11	和歌山つれもて健康体操！を始めて（4 月から）自分一人では続かない運動も、仲間がいるので楽しく続けております。一人住いの方は、家にいる時は一日中しゃべらない生活だそうです。皆さん、喜んで参加してくださっています。開始は、13 時 30 分からですが、13 時頃よりおいでくださっております。
12	<p>1)「老人会」活動（名称「相生会」とよんでいる）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月 1 回 5H のカラオケサークル活動 ・園芸サークルー花壇に季節ごとの花を庭植 ・ウォーキングサークル月 1 回（貴志川町方面等へ） ・健康体操、週 1 回実施 ・フォーク&コーラスサークル活動月 1 回 <p>へ活動を通じて結びつきが濃くなって来ている。 特に台風後の家の修理等で結びつきが強くなってきている。</p> <p>2)「見守り」活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者一人名住いへの声かけを定期的実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員と共に活動している去年9月8日現在で10件程度 ・小学生の見守り当地区から3名、学校からの連絡を受けて実施している <p>3) 地域で600坪程の土地の活用を検討中(屋敷+庭等) (地主から地区で有効活動をして欲しい旨申し出があり有識者会で検討中) 現時点はボランティア等で草刈等実施～全体的に当地区の様子は70歳をすぎても農業や非常勤活動(元勤め先等)・生産活動(自営・会社経営)に従事している人が多く活動的である。しかし「遊びファクター」の入った活動への参加も要請しつつしているし参加が多くなって来ている。機会があれば必ずセミナー的な話をして来ている</p>
13	支援が必要な人を身近なところで発見する取り組みの充実
14	何れも若い(60~70歳)時は何でも行動するが、年齢を増す毎に活動(行動)が少なくなってくる。→会長に来る(大変)
15	各団体との連携をもっと密にすべきと思う。
16	老友のAさんと連絡とれなくなったとき、孤独死でないか心配して西署と公団の人に部屋を調べて下さいと頼んだ時の事。「個人情報」もあって、一日目は日が暮れました。冬の17時10分頃、念のためと思って地区包括支援Cへ名前(Aさん)と事情を伝えた処、19時近くになって「B病院からの身元照会電話と合致しましたよー」と連絡受けて、とても嬉しかったです。病院の近くでイシキ不明になり、身元不明でしたが助けて頂いた、とのケースです。
17	専門的知識を待った人と呼んで自転車の乗り方注意運動、食中毒予防と健康管理、詐欺防止のための自宅での対策等、実地してきました。そのためには会報等の絆ニュースをテーマ毎に配布するなど、身近な出来事を常にお知らせする媒体を作ることが必要です。
18	女性の力、活躍が絶対条件。
19	地区自治会、老人会に取り組むが旧地域と新開発し新しくはない30年以上経つ地区との交流がほとんどない。旧農家はほとんどないが、旧来に育った人故か、活動が難しい。
20	地区小学校の施設での各種行事には喜んで参加する会員が多く、家庭からの距離が近いので参加しやすいのだと思われます。行政の方針に感謝しております。
21	スポーツ(シニア)を通じ、地域の皆さんとの交流が充実できた。
22	県の元気シニア生きがいバンクに登録して9月に初めて小学校での本の読み聞かせ、本の整理、紙芝居を披露する機会があった。子供たちの元気な姿に接し、私たちのほうこそ元気をもらってありがとうと感謝したい。今後仲間を増やし、玄関前での見守り活動など、難しく考えるのではなく、身近で長続きできる活動に取り組んでいきたい。
23	一度地域包括支援センターのお話を聞きました。非常に参考になるお話でした。
24	小学生の授業で昔の道具の説明をしたり、昔の遊びを一緒にした。子供も老人も一緒に楽しめた。
25	老人クラブ活動は健康を考えると役に立っていると思い継続する予定。
26	老人会の一員で活動を行っています。老人会に入会してくれる人は少なく、次のリーダーの不足もあります。地区内にはリタイヤして過ごしている方もいますが、新しく地区に来た人はなかなか地区になじむことができないみたいです。
27	老人クラブ活動における敬老福祉大会参加者の増加。地域見守り隊における交通事故減少、通学自動の安全確保が向上。自治体、民生活動による住民の要望、救済支援の向上。

28	高齢者が多い医療機関は地域包括支援センターとのパイプなど、積極的に連絡を取り合っていきたい。オレオレ詐欺対策をもっと勉強したい。今年3月末に警察OBの方に講習会をしてもらった。今後もっと増やしていきたい。
29	一人住まいの高齢者の人間関係の密度を上げるため、顔を合わす機会の場を作った。
30	地域の高齢者の為に近くの集会場を利用しておしゃべりの場を作って食事会や童謡、唱歌を歌ったり、ビンゴゲームなどをして楽しむ敬老会を実施しました。また、健康体操も実施し、健康増進をはかっています。高齢者の皆さんはいきいきしていました。
31	私は老人クラブの一員です。私の近所では一人暮らしの方が沢山住んでいます。私は1時間でも暇を見つけては話し相手になっています。相手の方は惚け(認知症)へんなど喜んでくれて、また話をしに来てよと言って喜んでくれています。私は進んで活動をしていきたいと思えます。
32	健康体操を、自治会館を利用して毎週(木曜日)実施。ふれあいの場で楽しく体操、健康を確保と皆様楽しみにしてくれています。

所属：民生委員・児童委員

No	内容
1	災害時安否確認登録者名簿の作成・更新(但し、マンション関係は把握できなかった)
2	学校とのかかわりが多くなって情報が共有できるようになった
3	ラジオ体操、カラオケ、公園清掃、夜間パトロール(カギ閉め、門燈、LED)
4	お年寄り2人で生活していて具合が悪くなり相談をうけ、保険制度を使っていなかったが包括に電話をしたら、すぐ対応してくれた
5	担当地区で認知症の独居老人が行方不明になった時、家主さんや、ご近所の人達との連携で見つける事が出来ました。日頃から近隣のコミュニケーションが大切だと感じました。
6	夏休みのラジオ体操
7	・地域を歩く頻度を上げる事により、多くの情報が収集できた。 ・地区の各種団体に携わった事により交流及び情報が収集出来た。[自治会、老人会、安全パトロール隊、安全推進委員会等]
8	虐待のケースで学校-民生-子ども総合-SSWとの連携ができ何度もケース会議ができた事。ケース会議を重ねることである程度の知識も学べ、その親子を支援することができた。
9	身近な相談窓口とネットワークの充実。困りごとに気づいたときには早めに相談し適切な支援を受けることができるように充実する。
10	幼稚園・保育園・小中学校との意見交換会。(情報の共有)
11	地元自治会との協議の窓(情報)
12	生活上の相談で市役所に行ったり、高齢者の相談には地域包括支援センターに行ったり、早めに出向いたら、本人も早く納得してくれるのが良かった。
13	楠見地区小中学校の生徒、PTA、住民による約400名の一斉清掃活動。
14	人と人との繋がり(絆)
15	下校時の見守り、地域の人に顔を覚えてもらえる。
16	地区防災会活動(特に災害時要援護者取組み)、地区老人会活動(特に健康体操やシニアエクササ

	イズやひとり暮らしカラオケ会等)
17	WAKAYAMAつれもて健康体操を昨年6月から始めました。普段自分一人では続かない運動も地域の皆さんと一緒に楽しく続けることが出来ます。大きな効果は見られませんが、全身の関節や筋肉を動かすことで体が軽くなったと感じる人もいます。又、体操が終わった後のお茶会で昔話や色々な話題で楽しい時間を過ごします。自治会館の一回／週の体操で健康維持と住民の皆さんの横のつながりができてきている様に思います。今後も声かけを行ない、参加人数を増やして、地域住民の健康維持とつながりの強化に努めたいと思っています。
18	少子高齢化が進すすんでいいる中、一人住いの高齢者が増加傾向にあります。戸別訪問することで喜んでもらえた。
19	防災訓練を通じて、災害に備える意識づけや地域住民の連帯感が生まれた。
20	今回、台風21号で被害のあった家を訪問、民生、児童委員だけでなく、自治会長との連携で空家の木を切る事が出来ました。(台風で一人暮らしの屋根に空家の木が倒れた為、空家の管理している娘に連絡、了解してもらいました。)
21	初めて防災訓練を実施した。避難訓練、AED体験、起震車体験、防災講和机上訓練でなく実訓練ができた。今後は災害時、要援護者の避難訓練を検討していきたい。
22	民生委員として地域の方々と交流を深める中でお互いを認め、時には悩みを聞き励ませて頂く事で元気になれる事がある時はうれしく思います。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし、要支援者宅への訪問 ・小学校、訪問、ヒヤリング ・防災訓練準備活動、連携
24	地域の役員とのつながりが出来た事で色々な問題が解決出来た。
25	小学校・中学校の先生方と情報交換
26	ちょっとしたお声がけ、おはよう、こんにちわの挨拶からでも良いと思います。
27	日々の活動が地道なもので、すべての相談が同じではないので目立ったものはありません。
28	65才以上の独居老人の訪問調査で悩み事や色々な相談を受ける事で地域の絆作りが出来ている。要支援者に対し定期的に訪問調査することで、状況が詳しく把握することが出来災害時必要な支援を行う事が出来ている。同地域の他団体、学校、地域包括支援センターと強調して活動することにより強い地域作りが出来ている。
29	地域の各種団体の理解と共調が大切
30	全ての事案について、地域包括センターとの連携がうまくいき心強かったように思います。
31	一人住まいの人の生活不安について自治会長包括センターの福祉士と本人の姉と4人で話し合い良い方法について考えた。
32	継続して行われているひとり暮らしの高齢者の現況調査は日頃疎遠になっている地域の人とのつながりが密になる良い機会を与えている。
33	高齢者の方に訪問して顔なじみになり、町であっても気軽に話しができるようになった。情報等を市よりもらえて勉強になった。他の地域の方との研修会等で知り合いになれた。
34	自治会のつながり。
35	地域包括支援センターとのつながり

36	近所同志、一声かけたらどうでしょう！（声かけ）
37	活動をはじめて間がないのでまだわかりません
38	高齢化の進展又世帯数の減少から自治会等の存続がむつかしくなっている。又空き家の増加も気になるようです。自治会等で空き家を取得し、地区民の交流施設を作りたいが。このような事例があれば教えてください。当自治会は90数世帯です。
39	子育て広場サロン等の活動。地域における人達の交流が増えた。
40	健康体操クラブ、地域包括支援センターと民生委員、老人会婦人会などが一緒に取り組み、成功した事例だと思います。
41	地域包括支援センターの人が親切に色々とお話して下さるのでたすかります。1人暮らしの人が多いためいろいろとはなしを聞いてもらって解決案をしめしてもらいます。
42	施設を訪問して、思っていたより、元気な方が多く設備も整っているのには、安心しました。毎日のスケジュールを、楽しんで過ごしている姿を見て、施設は今の健康状態を保っていける様にするのが施設の役目だと聞いて誰もが1日でも健康で穏やかに過ごせる事が何よりです。
43	地域の方や子供たちに声掛けをし、共有することにより心を開いて気軽に話してくれる（まずは地域の方に自分の存在を知ってもらう事から）
44	月1回の奉仕活動（こぼと学園）・お風呂場、脱衣場の清掃・ベランダの清掃・草とり
45	小学校入学式後、新入生ご父兄に民生児童委員の紹介と民生児童委員の活動内容の説明並びに、挨拶をする。そのことにより、地域の皆さんに民生委員の活動を理解していただく、役に立った。
46	子育てサロン 先輩達が築いてくれた（2007年頃）活動であるが、0才～3才児の集まりの場であり、保育士さん、保健師さんもいてくれて、子ども達には、保育士さん達が種々の事をしてくれ、保健士さんは季節よっての健康アドバイスをしてくれています。又お母さん同士のつながりが出来、子育てに頑張ることができているようです。
47	子育て支援活動として月1回安原子育てふれあいサロンを開催している。子供同士がふれあい、母親たちも子育ての悩みを打ちあけあったり、和やかに談話したりして、多くの親子の方が利用してくれています。 これからもほっとして笑顔ですごして帰ってもらえるようなサロン作りをしていきたいと思います。
48	子育てサロンを月1回で活動しています。 参加して下さっているお母様や子供達も喜んで下さっている様子。 これからも続けて行きたいと思います。
49	3歳までの未就園児のサロンを月1回開催 秋はイモ掘と焼イモ、春はイチゴ狩とその時は参加者も多いのですが、一時は一組の親子だけとなったこともあり、考えた末、参加者にキャラクターの菓子を配ることにした。その結果いつもの大勢の親子が参加する様になった。 これは良い方法がどうかわかりませんが効果的な取り組みかと思いました。
50	子育てサロンの継続 小学校活動への参加
51	子育てサロンを実施する上で、おみやげ（お菓子等）をあげると参加者が増え、人が人を呼んだ。
52	個人情報保護も大切であるが、縦割り行政ではなく、地域も含めた（自治会等）議論をすることによって、1つの課題が解決出来た。
53	一人暮らし食事会参加者同士の話し合
54	子供とのふれ合い有り

55	セーフティガード。65才以上ひとり暮らしの方お食事会。
56	小学生の通学指導
57	セーフティガードで小学生とのふれ合い話あり。65才以上の1人暮らしとのふれ合い有り。
58	年に何回も各種団体の会議が当地区では開かれるのでお帰りパトロールではこういうところは気をつける。防災訓練ではいくつもの団体で役割分担をしっかりと決めてみんなで結束するという絆を感じました。各種団体との研修もあり、団体間の交流の必要性を認識しました。
59	地域包括支援センターと密接に連絡を待ち、問題解決に当たって頂いている。
60	今福地区の65才以上の一人暮らしの方々を対象に実施している「ふれあい食事会」や「愛徳祭」は地域の人々がお互いをよく知り、親しくなれる機会だと思いますので、災害等、いざという時に、お互いの顔が見える対応ができると考えています。
61	お1人暮らしのお食事会
62	月例会議において、事例の報告や困っている事、取り組みしたい事等お互いに話し合う事が出来て、大変よかった。65才以上一人暮らしの人の食事会において、出席者の安否確認が出来てよかった。話をする事により、より情報がつかめて身近になった。
63	お年寄りとのコミュニケーションの会話がふえました。地域の人々と顔みしりが増えました。
64	「効果的だった」「効果的でなかった」という問題ではなく、人と係ることが大切かと。
65	自治会との情報交換
66	自治会との連携プレイが非常に良かった。これからも自治会と一緒に取り組んで行きたい。
67	多数の人間の集いで物事を決めて行く事は非常にむづかしい。一つに向かって進む事もむづかしい。多数決で決まった事は前進していくしかない。
68	平成30年4月より学校あいさつ活動により児童との連携が取れる様になりました。
69	民生・児童委員会の講演会は地域の方々に参加していただき交流を深めることができた。
70	住民同士のつながりがあるところは活動しやすい。
71	健康いきいき体操（地区）老人会、一人暮らしのお食事会（民生）、毎月の例会（民生）、民生研修会（民生）、作品展示会（老人会）、総会をかねた懇親会（老人会）
72	各種団体による「ふれあい祭り」や民生による3世代交流ゲーム等により、ふれあい、知りあう機会をもてた事。
73	月一度の訪問で序々に自分も馴れ又自分にも馴れられ親近感を持ち話しあえる様になった。
74	ボランティア活動で体そうに参加して、その後長く続いているので良かったと思います。知り合いが増えてだんだん楽しみになる。
75	定例会で悩み事等意見を出し合って全員で解決していくことが一番良い？
76	一人暮らしや高齢者、引きこもり等については、自治会や老人会所属の人たちがかなりの情報を持っている。その方々からの情報を入手することにより地域の動向がかなり理解できる場合が多い。
77	担当している地域で活動するのに特に効果的だった取り組みはなかった。
78	民生委員活動をするうえで、70歳パスのおふろ券やバス券をもらってきてあげたり、バスの時刻表を配布してあげて大変喜ばれました。「そんなことしてくれるんかえ」「こんなおばあのところへよう来てくれて」と涙を出して喜んでくれたのはずっと忘れません。

79	警察、地域生活センターとの密な協力や連携による事案の解決。
80	福祉事業者と共同でふれあい健康体操を地域の住民に参加を呼びかけ月2回開催している。毎回30名ぐらいの方々が参加して、楽しく体操をしている。
81	一人暮らしの高齢者の方に日常的な隣近所でのあいさつが大切だと思います。私はいろいろな調査報告時、上記の事を対象者に伝えています。
82	民生委員の仕事をして、健康調査で訪問させていただくと、一人ひとりの健康以外の困りごととも発見できるのできめ細かい対応ができる。
83	地域で困っていることや相談されたことを会議などで情報交換して役立てることができる。知らないことが多い中、いろんな取り組みをしている機関や場所等情報を知ることができる。
84	福祉と共同で行う食事会、配膳サービスは喜ばれている。
85	訪問連絡活動が効果的でした。
86	日常的な声掛け活動。月1回は必ず訪問。
87	地域包括支援センターと連絡を取り、いろいろな問題について対応ができた。
88	健康でみんなと話し、情報をいただきながらわいわいする日々が喜びである。感謝の日々。
89	マリーナの子供たちとの交流
90	学校の統合によって集まった地区間での合同行事により、地域のつながりに発展があったように思います。
91	地域住民地信頼関係を作り、包括支援センターへ連絡、相談することで早く解決したい。
92	地域包括支援センターに出向き、連携プレイ活動により適切な支援活動がより効果的に進み、なんでも一言聞いてよの声掛けが効果的につながっています。
93	地域包括支援センターの方がいろいろ相談、支援をしてもらい非常に助かりました。今後も連絡を密にして活動を充便させていきたい。
94	地区内は活発に行事を行っているのでありがたいと思います。
95	当地区は連合自治を中心に活発な活動を行っているのでありがたい。
96	一人暮らしの人の食事会。小学校の行事のお手伝い。
97	状学校児童の見守りを通してコミュニティスクールの有様を考えさせられている。
98	地域福祉はまず地区の人を知ることであると思う。民生委員の他に地区の町おこしの活動が効果的である。
99	学校でのあいさつ運動実施。登下校時の見守り。

所属：公民館

No	内容
1	コミュニティスクール。学校・幼稚園との連携が、より深くなった。
2	本年度より、公民館長を勤めさせてもらって、多くの地域の人々とお目にかかり、接触できました。
3	公民館館長2年目です。地域住民の幅広い多くの人々との交流の場を提供すべき活動をしていいますが住民の多くの皆さんの賛同得る取り組がまだ出来ていません。効果的な活動の発表できますよう今後とも取り組んでいく所存です。

4	地元社会福祉協議会と共同して毎年5月一人暮らしの高齢者を招待して「ふれあい演芸会」を開催し、幼児から高齢者まで交流しいえます。演者と出席者で約500人が集います。
5	地域（山口地区）の文化祭が地域の全ての団体の参加で実施されており、地域住民の交流に大変効果があると思っています。
6	行政の考案よりも自分で考えた案が正しく受け入れられている

所属：婦人会

No	内容
1	回覧だけでなく参加してほしい旨、声かけをすれば参加してくれる場合が多い。最初から決めつけしないで話してみる。
2	婦人会という立場から言うと、会員になって下さっている人が相手なので何事も協力的に参加してくれる。しかし、会員以外の方は非協力的である。多くの方々の入会こそ、そのカギを握っている。
3	出来るだけ参加し他の人にも多く声を掛ける努力が必要かと思います。
4	自治会館を利用し高齢者が健康でいられるように体操などを行っている。
5	認知症の人や障害のある人に理解ある取り組みをする。
6	去年40年ぶりに盆踊りが復活されて沢山の参加がありました。地域のつながりができて良い事だと思います。
7	一昨年より地域（自治会）の盆踊りが復活しました。それにより、自治会の各種団体の方々が力を合せ、開催されます。縦の繋がりでなく、横の繋がりも出来、みんなが力を合せ、お祭りに取り組める事が良いと思います。
8	先ず活動の内容を地域住民の皆さんに文書や口コミで知らせる事が出来た事です。つどいの家について疑問があります。自宅のある事とか10畳の広さを明記されていますが実際にそうですか？個人の家でそれだけの広さがある家はそうないと思いますが？一人暮らしの方が増えている今地域福祉こそ大切です。人が人を誘える様に呼びかけや内容を知らせる事が喜ばれました。時間を自由に、地域を限らず楽しい内容やお喋りを盛り込み地域や個人の別なく参加出来る事が有効だと思います。
9	近頃一人暮らしの人や、子育てが済み自由な時間のある人が多くなったので、日を決めて出来るだけ出席していただき、皆でおしゃべりしたり、手芸をしたりをする会を持ったのが良かったと思います。
10	防災訓練
11	健康に対する行事の場合は関心を持っている人が多く集まりが良い。効果的であった。

所属：つどいの家

No	内容
1	つどいの家会員の活動を運営するだけで精一杯です。会員の喜ぶ企画を考えるのに精一杯です。
2	つどいの家8年になりますが その間 手芸・ソロバン・花の寄せ植え・コーラス、等、集って楽しめる事を取り扱いました。今は手芸、健康体操、健康マーじゃん、草履作り等しています。手

	芸は趣味と実益で（贈り物）長く続けられます。体操、マージャンはその日その日で楽しめます。手芸等自分で余分な物は、販売の方法で王叡しています。時々食事会などして交流を計ります。（バス旅行の参加、ボランティアで何人か、婦人会、自治会等の販売など）手伝いをしています。
3	手芸などの作品完成に喜びを感じ、会員皆楽しんでいる。

所属：地域包括支援センター

No	内容
1	当所に於いては、地域包括支援センター業務を本市より受託し実施している所であり平成28年より生活支援体制整備事業についても並行して業務受託を行っており、地域包括支援センター職員と生活支援コーディネーター（SC）との連携により地域課題の抽出とその必要性等を全体的に把握する事が出来た。又、市民に接することの多い職務上、前述の連携体制により効果的な活動を推進する為活動の強化を図った。実施に当たっては、連合自治会を始めとする地縁組織、市社協を主軸とする地区社協、老人クラブ等の関係機関や市民と一体となり、特に地域住民との座談会や全戸アンケート等による市民の地域福祉に関する生の声が聞く事が出来た。問5で示す現計画、プログラムA～Fの内、概ね全体を網羅出来たように思料される。
2	一般介護予防事業の取り組み。住民や団体の予防の認識を高めると共に地域の絆や連携（ネットワーク）を図ることができた。
3	地域の活動を進めていくに対してリーダーをなる人の存在が重要であると感じています。そのためにリーダーとなる人をだれにおねがいするのが重要となります。
4	地域別地域会議で、ミニ講座＋グループワークなどを行い、介護予防体操教室のことや、地域の困りごとなどを話し合うことで、地域づくりの課題がみえてきた。介護予防体操に取り組んでいる自主グループの交流会を開催したことで、活動のモチベーションを高めたり、情報交換の場になった。出前講座を行ったり、研修チラシの配布等さまざまな機会を通じて地域の団体グループに関わることで関係性が築けてきた。自立支援型地域ケア会議の開催によって医療専門職等との関係性が深まった。地区団体の活動状況についての社会資源調査を行うことで、団体の取り組みの様子を把握すると共に関係づくりのきっかけとなった。
5	「地域の絆づくり交流会」の開催は有効的だと思う。地域課題の共有やその課題に対してどのように向き合い解決していくべきかを話す良い機会だと思う。

所属：地域子育て支援拠点施設

No	内容
1	子育てを行っているお母さん達が作ったサークル、そのサークルのお母さん達が中心になって毎年ちびっこうどう会を開催しています。その開催にあたってお手伝いを支援センターが行い。また、体育館で行うので中之島の民生の方や婦人会の方たちにも協力していただいています。
2	保健センターの検診でのチラシ配布（手渡し）専門講師の育児講座 家庭ではできない活動内容
3	インターネットなどの情報提供。子育て支援での活動や部屋開放をすること。地域での活動をすることで幅広く子育て支援を知ってもらうことが出来た
4	年に1度開催している県外出身ママ交流会の中で「和歌山に来て全く知合いのいない中での孤独

	な子育てから少し開放され地域の事を知るきっかけとなった」という声を多く頂きます。年に1度ですが、積み重ねていくことで、地域に暮らすママ達のつながり作りのお手伝いができているかな？と思っています！
--	---

所属： NPO・ボランティア団体

No	内容
1	私らの団体は健康作りを目的に活動。健康でなければ、生活できない。参加するのを楽しみにしてくれる人が多くなり会員も増加楽しく参加する、してくれるこれが第一であります。今後もこのような目的で会を継続していきたく思います。市としての健康作り（身近な）前はもっと多くあったが現在は少なくなっている。
2	私たちはボランティア電話相談の活動をしています。「誰もが自殺に追い込まれることない社会の実現を目指す」ことを目的に、365日毎日朝から夜遅くまで電話を通して「ひとりじゃないよ。話をきかせてね」と優しく寄り添って電話相談を受けています。電話数は2017年1月から12月まで、8,235件でその相談の中で自殺傾向の件数は9.5%と高い気になる数値となっています。
3	新聞、テレビ等で活動取り上げられた事（ミニコミ紙）
4	ボランティアリーダー養成講座を開設（ボランティア参加にもらえる地域の金代の方を対象としている）。友愛訪問活動出来る範囲で自分たちの力で協力し解決している。
5	まちづくり観光目的は違いますが、昨年初めてワークショップが開催されました。市と連合自治会が連携し、行われたものだと思います。地域の課題などもたくさん話が出ました。人集めを（大勢で）するのは負担になると思いますので、回覧や口コミで集まった雑多な人（少なくともOK）達で集まる機会が増えれば、今後の展開にもつながってゆくのではないかと思います。自治会に伝えると負担感が大きくなると思います。
6	他のボランティア団体と共通項で交流するとつながりが広がり深まった。
7	市社会福祉協議会さまに、当団体が個人的な継続的ボランティア活動なのですが、福祉団体として認めて下さったおかげで、長期にわたり、参加者様には無料で、音楽療法的な活動が続けられています。子育て中のママ達のストレスケアに、又、地域の方、発達障がい児等いろんな方のバリアフリーな交流の場を提供させていただいています。
8	相手、第三者を批判することは極力控えて、強み、長所を積極的にとりあげる取り組みが有効かと思いました。
9	障害者の会社的自立を目的としたNPO法人です。就労継続支援を行っています。利用者の権利を尊重し、信用を得る事によって、個々の利用者は、自分の希望した道へと進んでゆく事ができた事例があります。何よりも信用される事業所職員の育成は大切な事です。
10	公民館主催の地域の「文代の祭」に参加させていただいた事があります。地域の皆さんに私達の活動を紹介し、生きがいつくりの一助になりました。又、地区社会福祉協議会の活動にも、市社会福祉協議会からの紹介で参加させていただきましたが同上の効果があったと思います。
11	当事者が話をする事
12	単独での公開研修での一般一民への呼びかけ
13	あゆみの会の目的は「障がい者の外出介助と施設等行事の手伝い」となっていますが、会員数が

	昔と比べ少なくなっていますので十分な活動が出来ていないのが現状です。
14	私達の協会（和歌山市パークゴルフ協会）は高齢者が対象で（平均年齢約 72 歳）です。月一回のコンペ開催をメインに会員相互の親睦深めると共に健康維持に努めています。また、一般の方への指導を実施し、会員の輪を広げる取り組みをしているところです。
15	養護施設を出た子供たちへの居場所づくり。昼まわり活動として子供たちが居る公園等を訪問しての交流活動。夜 10 時過ぎに児童指導員より入電で児童が家出した、捜して欲しい一報。丁度夜廻りをしていた私達団体が捜索にあたり 23 時過ぎ自宅へ戻ったとの知らせ。電話でのネットワークがそしてたまたま夜廻りの日であった為行動できた。無事の知らせを聴き、皆安堵し帰路についた。
16	被災地でのマッサージボランティア、バリアフリー映画上映会、出前出張落語、社会見学

問 10	地域福祉を推進するにあたり、具体的なご意見やご提案などありましたら、自由にお書きください。
------	---

所属：地区社協

No	内容
1	地域各団体、組織の役員、世話人達のための友好活動の感があり、一般住民の参加空気（気分）が少ない。役員・リーダーのための活動となっている。
2	民、協でも同様のアンケートがあり、同一人物が同じアンケートをするというのはいかかなものかと。社、協にあたっては副会長にとか。数合わせ的なことは。数字が残ればいい的なことの実態とは。
3	専門的な指導者が不在。
4	最近の当地区は特に高齢化が進んでおり、60～70 歳くらいの中堅若手が少し、老人クラブでも 80 歳が平均的な数に近づいてきている。また、まじめに地域の役員を受け持って活動しているのも高齢の方が多く、自治会の役員も 1 年で交代する地区が多い。65 歳くらいの若い人材をいかに育てていくか地域全体で取り上げて取り組まなければ将来がますます苦しくなるのではと心配している。
5	市民相互の理解が必要ではないか？
6	福祉の思いは個々に千差万別であり、方向性、体制等の基礎は行政で形を示してほしい。
7	松江地区も高齢化が進み、高齢者の生活が苦しくなっている。地区中央に加太線が通っているが高齢者の移動が難しい。デマンドタクシー、移動スーパー、青空市場等導入できないか。
8	上古の意見交換の件で、定期的に場を設け交流し、地域だけではなく行政の方々との意見交換の場を設けて頂きたい。
9	地域住民の福祉に対する認識に差がありすぎるので福祉の推進に理想に走りすぎるように思われる。

所属：老人クラブ

No	内容
1	地域福祉といっても取り組むべき事項は限りない。その中でも近年特に重要なこととしては災害に対する防災・減災と思います。福祉面からいえば、支援が必要な人をどう支えるか、一つの団体・個人だけでは不可能で、各々の組織がどう連携し合うか、どの人をだれがどう支援するか、具体的な取り決めがなければできないと思います。これには「福祉計画」と「防災計画」の整合性が重要で、現実に照らした計画づくりが必要と思います。
2	地域の子育て支援として、0才～3才児の子供・保護者の集会を毎月しているが、活動が活発化するにつれて、資金不足となってきた。地区の社会福祉協議会や民生委員から援助をいただいているが、赤字の時が多いので困っている。市や県、他の団体から支援者をお願いできたら良いです。
3	地域の事業者の方々の協力が必要と思います。マンションの建設等に当たり、市当局から自治会活動に協力（自治会に加入促進）するような施策をお願いしたい。〔行政区と学区の解離〕新南地区は新南小学校の生徒の半数以上が宮地区（北出島方面）になる為、生徒を持つ若い世代が少ない。〔個人情報〕国が民生委員への守秘義務を認めているのに、市は個人情報を盾に情報開示がされない。
4	民生委員として要援護者との接し方がわからない。災害時に救助に出向くことが不可能です。
5	民生委員の高齢化、後継者不足により、高齢者、一人暮らしの見回り、生活弱者見回り、児童委員としての義務等、民生委員として大変な負担になっています。出来れば、今までの経験、人脈等を生かし若者たちの支援、和歌山の活性化に力をそそぎたいと思っています。現在、東京で活動している優秀な人材ですが、海外への出張も多く、閑空に近い利便性を考え、和歌山を拠点に計画しています。本社も和歌山に登記済みであり、建物も当方で用意し、将来は、地方活生を目標にしています。出来れば、民生委員を辞し、力をそそぎたいのですが。
6	個人情報じゃまをしていて、人に聞いたりするのもだめだったり、知りたい情報が、わかりにくいです。
7	初めは多く参加するが、中だるみ。迎えに行っている。よく話を聞いてあげる。ぜったいに「ひてい」しない。良い話をえらんでしてあげる。トイレの手ふきをたびたび新しいきれいな布に。
8	NPOや団体に所属され、様々な取り組みをされている方が、地域内のどこにおられるかわからない。看板、標札、シールなど（自治会等の役や、民協のような標札などわかるものを玄関やカベ等にはる。協力可能な方でよい。）で協力、相談できる家であることがわかるようになれば、身近な所でのネットワーク（個人的及び団体間）ができる元になっていくのではないかと。
9	小地域見守り活動の強化 要援護者に限らず高齢者への見守り体制の充実。〔近年の超高齢化に伴い、足・腰の悪い人が増え、外出が億劫、又出来ない人が増えている。〕
10	個人中心になり 他と関わりを好まない人が多く、孤立が多くなっている。生保者・ひとり暮らし 自然と集まれる たまり場作りが小さな単位が必要。
11	専門機関との交流を年に1、2度設けてほしい。担当地区の状況等を知りたい。
12	ご本人の意識が大事だと思う。啓蒙が浸透していない感があると思います。（うわべだけの啓蒙活動）

13	各種集会を行う会場の不足（会場が取りにくい）
14	行政～自治会との情報交換
15	現状の民生児童委員は、高齢者が大半であります。いつ病気になってもおかしくない。いつ認知症になってもおかしくない。正直、自分の事で精一杯。そんな状態の人達が地域の人達の為にできる事は限られていると思います。生活保護、子供の虐待、高齢者の一人暮らし等々あります。現実無理があります。負担が重すぎます。民生児童委員の活動が年々幅広くなっていないでしょうか？本来、行政がメインするべきであり、民生児童委員はサブであると思います。原点に戻り、考える事が重要だと思われまます。
16	地区住民の防災、老人会の活動の中で①健康寿命を延す活動を積極的に進める②在宅で暮らす要援護者の方を地域住民で支える活動を推進する。
17	災害時に支援が必要な人を支える取組みの充実をお願いしたい。
18	住宅、土地の販売時に購入者に対してその地域での自治会活動の内容を知らせ地域活動に参加することを納得して購入して頂きたい。若い世代の自治会離れが進んでいる為、また市への転入届が提出された時にどこの自治会に属するかを教えてあげていただきたい。
19	各団体との情報交換が必要と思います。
20	都市としての最低限度のインフラ整備（例：下水道の完備）も地域福祉充実の重要な要素である。この点で他の県庁所在都市に比べ劣後している。
21	知らない事も多いので、もっとPRしたらどうでしょうか！！
22	自治会活動等、各地域の諸団体との連携強化
23	地域福祉を推進するにあたり、何かあったときには助け合える地域コミュニティの形成が望まれています。人間関係が益々希薄化している現代社会の中で、それに反する様な助け合い社会を形成する為には、巨大地震の予想ビデオのように、「助け合い社会を形成しなければこの様になりますよ」的な予想ビデオを作成し、人々に危機感を持ってもらうことも必要かと思う。また、小学生等子供の福祉教育の充実を図れば、その子供たちが大人になった時、自然と助け合い社会が形成されるのではないかと思う。
24	住民が互いに絆を深めるために地区皆での何か行事が必要ではないでしょうか、災害が起きた時にも隣近所のおつきあいがなければ、共に活動する事ができません。年に1度は、皆が集まれる、行事をしてほしいと思います。
25	今回の台風21号の時を例にします。避難準備情報が出された時、一人世帯の車イスの方が、今の内に避難をしたい、連れて行ってほしいと言われる。でも自治会でどうする、とか決っていないので、たのまれた方が避難場所まで車で送って行ったそうです。小さい事ですが、早急と決めることかなと思いました。
26	1、各団体や福祉事務所、学校、医療機関等の関係者が集まる協議体で、地域のしくみ作りや問題解決策を話し合うことで、強い地域作りが出来る。2、地域活動する単位と、学校区は完全に、一致させるべきである。和歌山市ではかなりずれている。3、国の基準であるかも知れないが、地域の活動単位を人口で割らずすべて小学校区にすべきである。地域包括支援センターの単位は広すぎる。
27	地域の意見が全く聞きいられていないので一つの団体では何をしても無理。市の関係者がもっと

	地域の各団体と意見交換をすべき。今までもアンケートの結果が何にどう生かされたのか不明で全く無意味。
28	独居高齢者の孤立やひきこもりが増えてきている。足腰が弱く自力で外出できない。必要な介護を受けていない。近所との付き合いがなく疎遠である。近くに身内や日常生活を支援してくれる者がいないことから。病院や銀行への付き添い。買物の依頼等を身近な民生委員にすがる傾向がある。本来の任務ではないが、むげに断る訳にはいかず支援するケースがある。各地区の自治会等を巻き込んだ「見守り隊」等の体制づくりが必要であると思うが、難しい課題である。行政の立場としての検討をお願いします。
29	民生委員の立場にたつて話すと、ごく少数ではあるが 65 才以上の一人暮らし調査をする時、民生委員証を首にかけ失礼のない態度、言葉で接してもあたまから” お前らに何故一人暮らしがどうか答えなくてはいけないのだ 他人のことにかまうな” と手を振り上げる人もいる。そんな時、私は落ち込んでしまう。たった一人か二人の事でも何の権利もない私たちが、やって良い事なのか？また、お金がないから病院ではなくなった家族を車で焼き場（斎場）まで送れとか、それをことわると私たちにはそういう事が出来ないとことわると、私の家のものをこわして立ち去るとか、私には想いもよらない反応がある。民生委員ってなんだろうと思う時がある。
30	一人暮らしで高齢の方を集いのなかに連れ出すのがたいへんです。
31	仕事が多すぎる
32	地域において、リーダー的な人が必要だと思います。
33	個人情報に壁により詳しい情報がない。
34	個人情報が出てこない時代のため自治会や趣味の会で世代を超えて集まれる機会をもっと増やしていけたら良いと思うが具体的な策には至っていない。
35	もっと一般市民への行政よりPRしてもらいたい。マンション住まいの人は顔が見えないので、住民の理解が必要である。地区への団体の補助金を増してもらったら色々な事業展開ができると思います。地域でのイベントへの住民の不参加が多いので、市民講座をおもしろい内容で開いて、一人でも多くの住民の参加をお願いします。
36	第2層生活支援体制整備事業を地域住民に周知、案内を徹底して多くの人に関われる様に行政が主導して行く必要があると思います。
37	何事もお互いに連絡を取り合い、(早めに)準備を整えばスムーズに行くと思っています。
38	管理人が不在の中程度(20世帯から40世帯くらい)の集合住宅は周囲の付き合いもなく、本当に孤立してしまう場合があります。ドアの(ドアを開けてくれない)内側で何が起きてもわからないという状況になる危険を近年身にしみて感じます。地域福祉推進のため、貸家・アパート・ハイツと一般に呼ばれる住宅に目配りできる専門の部署を立ち上げていただければ、ありがたく思います。
39	子育て支援協力者の方が高齢になり人手不足が今後の問題であります。若い方は職があり難しい、他の地域で良い方法があれば有れば教えて頂きたい。
40	1人1人が、地域の福祉に感心を持つ事だと思います。地域の行事にもっと参加すべき!
41	地域で三世代交流の取り組みがあります。祖父母、父母、子供の三世代が集まり責任団体が食物、遊びなどのお世話をするのですが、食物は本職でない者が作るのと責任が重いのと体力もいりま

	す。本職の飲食店などの協力を得てできればよいと思います。
42	なかなか近所同士の顔もわかりづらいので、難しいと思いますが何かをきっかけに知ることができると良いとは思っています。
43	南海地震など大震災に備えて高齢者及び弱者の方の避難準備等を（若い方、中学生を含む）方々に参加してもらえそうな組織造りを考えて頂ければ安心出来ると思います。
44	中心になる団体から1つの他の団体に声をかけ一緒に活動出来る仕組みを作ってほしい。
45	出来る人から少しでも役に立つ力になればと考えています。
46	まずは65才以上の1人暮らしの方を訪問し状況を把握すると共に我々や行政に何を希望するか？意見を聞くのも良いのでは。
47	地域コミュニティとの繋がりを深める。各種団体、単一自治会と関わりを持つことが大切である。但し、個人情報の守秘に充分注意すべきである。
48	自治会とのコミュニケーションが必要だと感じます。※連携の方法があれば教えて欲しい。（他自治会との）
49	連携・・・地域活動は地域が主体となるべきだと思います。ひとりのカリスマな人が中心になって動くこともありますが、そんな人の出現を期待するのは無理だと思います。地域にはいろいろな団体（自治会、公民館、民生等）がありますが、それぞれの責任者同士の会合はあるものの親睦会のみで、いろいろな課題について話合っている様子がありません。（責任者でないので詳細は不明ですが、動きが感じられません） したがって私の所属する団体では、何事においての担当者のできる範囲で活躍するというのが方針のようです。ひとりで活躍できることは限界があります。特に災害については。 チームで動くことは行政からの依頼、過去からの活動（子育てサロン）のみ。これもチーム単独です。 どうも体制はできていますが、縦割感が強く、責任者の意識も問題だと思います。
50	高齢者にやさしい町作り バリアフリーやトイレの問題・交通機関の充実 等々もっと考えて行きたいし、考えて下さい。
51	路線バスが廃止、駅まで遠い。 買物等に出かけるにはタクシーしかない。コミュニティーバスがあればと感じます。
52	向こう三軒両隣 遠くの親せきより近くの他人 自助、共助、公助の充実 皆が、いい意味でのお節介おばさんおじさんになってくれると心あたかな地域になれると思います。
53	向こう三軒両隣を大切にしたい。
54	災害時要支援者名簿の有効的な活用方法を策定する必要があるのでは？（全市的に活用方法を要検討）
55	連合各自治会もとリーダーシップを
56	自治会リーダーして
57	高齢者のことはほぼ日常的に対応しているので情報も入り、関係機関との交流も密なのですが児童に関しては専門機関との連絡は何かなければあまり連絡する機会がないので児童の専門機関との交流機会が欲しい。そして地域の情報をできる限りの範囲で教えて頂きたい。
58	行政のPR活動を充実
59	子育て支援推進の為、他市の様に新生児（地区）の情報を保険所と共有したい

60	つどいの家等が地域にないので、行政等はずっと押し進めてほしい。コミュニケーションの場所がないので、高齢者の集う所がない。ない原因は、費用の面がどうするか、悩んでいる。維持管理費がネックになっている。
61	東南海地震がいつあるか知れないが、地域として危機意識を持ち、訓練の実施、その他についてもっと活動を進めて行ってほしい。防災無線の放送が全く聞こえない。何とかしてほしい。
62	ホントに必要とされる方がひとりでがんばっておられたり、「もっと甘えていいんだヨ」の言葉を。反対に「甘えてんじゃないわよ!!」と明るく言える、住みよい和歌山市、県、日本に・・・と、拡散。
63	地域の各団体と連携し取り組み同じ方向性で協力する。
64	各種団体との横のつながりが大切である。地域により、縦のつながりのみの活動が目につきます。
65	災害の場合などがある場合、協力してもらいたい
66	災害時要援護者登録制度についての件ですが、名簿提供先を組織・団体等に徹底してほしいです。
67	我地区では、地域福祉とは何んやという方が多いと思う。関係機関のPR活動をお願いしたい。
68	民生委員をしております。子供の虐待に関係する時、保健所、児相、民生のつながりがほしいです。65才以上の名簿もいただいています。玄関まで体の不自由で出られないけど、電話だと大丈夫というお年寄りもおられ、電話番号が載せてあると助かります。
69	地域行事等にみんなで参加する事。一声掛け運動などにて、地域の連帯感、一体感を持たせる。
70	今の行政は過剰サービスです。限界をこえており、余裕はありません。基本は住民の自助で、自分でやることです。地震や台風など、災害対策も同じです。私達夫婦は、地域で最も福祉活動に従事していますが、皆に同じことは期待していません。自主活動ですから、やる人だけでよいのでは。税金で収入を得ている人は、会議ではなく、現場に出るべきです。
71	福祉を推進する上で福祉に甘えている人が見受けられる。市として指導も必要ではないか。
72	自分の好きな事をきっかけに始める。団体に所属すると活動しやすくなる。
73	行政が主体にもっと発信をして頂ければと思います
74	高齢者の認知症が多くなってきている。これらの人との付き合い方をどうすればよいか。
75	地域福祉を推進する地域の人たちが高齢化し、推進力とはならなくなってきている。古い地域では過疎化がさらに進むことが推察される。そのような地域については特別区を考え、税制度等での見直しを考慮し住みよい地域づくりも必要ではなからうか。
76	個人情報の緩和、各団体への情報一元化を望みます。
77	福祉を求めながらも受け身や、待ちの態勢が強く感じられる。まずは本人が近隣の人との交流ができるよう「自ら進んで挨拶をする」「悪口を言わない」「家に引き込まらない」等の本人の前向きな心構えが必要だと思います。福祉施設の充実も必要でしょうが、何よりも本人の自覚とやる気を促さなければならぬと私は感じています。
78	推進しようにも対応してくれる世帯が少なく、顔を見ることができない為、市より対応してほしい。
79	自治会、婦人会、民生委員との連携があればいい。
80	皆が気楽に集まれる場所があればいいと思う。一人暮らしの老人などが増えているので孤立しやすい。

81	民生委員の活動への認知度と職務権限の低さにより、踏み込んだ調査や活動ができない事。
82	地域の各種団体ともっと意見交換をして、お年寄り、子どもの情報を把握する必要があると思う。
83	高齢化の進む今、自治会での近所同士のつながりやコミュニケーションの強化に力を入れて、まずは身近なところから助け合いの精神をみんなが持つのが大事なことだと思う。若い人も仕事で忙しいとは思いますが自治会の一員としての協力を求めていくことも大切。育児をしていく中でも、お年寄りの協力で助けてもらえることも多いと思うので、お互い様という自覚をみんなが持てたら住みよいと思う。
84	各種団体が共同して協力をもっと深くする。
85	地域の社会福祉協議会の活動があまり見えてこない。
86	地域の子育て支援や自治会の活動に65歳から75歳の方の力を貸していただけたら地域も活性化出来、人のために役立てることが生きがいに繋がると思います。
87	他地区の各種団体との交流ができればと思っている。
88	地域充実はご近所のつながりが大切である。自治会他の団体でのつながりを日常生活から生まれる地域にみんなで声を掛け笑顔での会話が大切である。ありがとうと言える近所作りに取り組んでいます。お互い様の気配りをスマホも良いが電車に乗ってもどこに行っても話してない。このような人間で良いのか心配である。市、行政、もっと個人、人は一人で生きられません。もっと思いやり、助け合いがあって、生きている生かしてもらっている事を思いでして。
89	現在、災害時要援護者共有名簿を特定の団体代表及び民生員が保管しているが、昨今の災害では想定外が多くなっている。今後は福祉団体の各人が共有すべきであると思います。今後、助けられる方も助けられない場合が多く発生する可能性があります。
90	いまだに介護保険を知らない人がいる。理解困難な様子。
91	個人情報保護法によって個人的な部分を開示してもらえないので、活動がスムーズにできない現状がある。
92	高齢化が進み、先行き不安である。
93	地区内に高齢化が進み心配だ。
94	行政の縦割の弊害と重複をなくすこと
95	児童の減少に対し地域全体の課題として考える必要性。
96	雑賀崎地区は階段が多くお年寄りが増えているため駅のような黄色いペンキを階段に塗ってほしい。災害時には水が大切になるから各所にある井戸を掃除し、いざという時、皆で使用できるように整備してほしい。雑賀崎の漁港に自転車置き場の線引きをしてほしい。地域に車で売りに来る業者を作ってあげてほしい。地域バスを推進してほしい。
97	児童福祉に対する施策が老人福祉に比べてあまりにも劣っている様に感じる。将来を見据えた細かいプログラムを住民全体で認識できるように行政に希望する。
98	住民が気兼ねなく集まれる場所の確保が難しい。例えば、支所、文館の使用条件が明確でなく、気軽に使用できない。情報は待ち受けるのではなく、自ら収集するのが本来であるが、住民の方は社会福祉をしている人より関心が薄く、地域福祉の情報の広報のやり方を一考することが重要である。
99	高齢者を抱えている家庭における支援を具体的にパンフレット等で説明してほしい。

所属：公民館

No	内容
1	昨今は、情報保護が最優先されていて地域福祉を推進していく上で困難が多い
2	色んな団体・個人等の連携が必要だと思われる。
3	地域福祉について、少しずつ勉強させていただきます。
4	地域福祉の具体取り組み各種団体とのつながりなどもっと深く理解し参画していきたいと思いますがそのプロセスがもうひとつ理解できていません。そのような学習の場があれば良いと思います。お願い致します。
5	社会福祉協議会の1つ1つの活動はわかるが、全体活動や方向性がはっきりわからない。地域福祉推進の中で地区公民館の役割もあると思うが地域の社会福祉協議会の中で他団体とのお互いの位置関係を確認し合う中で、公民館活動も地域福祉推進の1つの力になるものと思います。
6	立派な南コミセンを作ってくださいました。もちろんありがたいことですが地域の中心、中核としての支所、連絡所の役割が大きいと思います。地域福祉推進のためにも支所、連絡所を活用していきたいものです。
7	各自治会活動の最小単位「班」の班長さんは、その地域住民と密着した活動をしてくれる人達です。そして、その各班の住民・家庭のことを日頃からおつきあいで、よく知って、よく事情もわかってもらえる人達だと思います。災害等の時には、小さな単位で声掛け合って助け合うことができます。「班」の活動のすばらしさを、市当局より市民に呼びかけて頂き、最近の「班長さんバナレ・ケイエン」を、くい止めてもらいたいと思います。
8	福祉関係は当り前の事ですが、市の行政は私も含め市民から観てあまり信用していません。自分達に都合の良い行政をしても市民は何も感じませんもっと信用を得られるように努力することが大事市職員は福祉行政を勉強なさい！強く感じます。アンケートの前に自分達が改めなさい！
9	地域委員会を設立し、地域福祉について地域が必要な取り組みを具現化する仕組みを検討頂けますと幸いです。各団体の意見を集約し、必要な予算の獲得と実行を委員会が行うことがニーズの実現に寄与すると考えられます。(他の行政で試験的に行われている様です)
10	福祉に関する地区への援助をお願いします。

所属：婦人会

No	内容
1	横のつながりを大切にし、日頃からあいさつ等で、親しくなる。
2	意見提案ではありませんが、地域内の一団体の中でのボランティアグループです。今回のアンケートに適していない様に思われますが、分かる範囲で記入させて頂きました
3	困りごとや、悩みをご近所の人には、言いたくない、知られたくないと思う方が、高齢者の中には見受けられます。自治会、婦人会、老人会等で、何か気がつけば、直接アプローチするのではなく民生委員の方や、関係機関に知らせるのが良いのではないかと思います。
4	地域福祉を推進することは非常にむずかしい問題である。色々な種類の間人があり、役職にある人間を頭から信用しない人間も、ごく一部だがいる。民生委員として 17、18 年経験している私

	でもつらい体験がいくつもある。65才以上の独居を調べる時民生委員証を首にかけ失礼のない態度で調査したつもりだが「おまえ達になんで答えないとイケないのだ」とか今にも殴りかかるようにうでをあげる。また病院で亡くなった妻を焼き場まで送れとか、お金がないからお前の仕事だろうとか。
5	認知症の人や障害のある人にやさしいまちづくり。2015年に生活保護を受給する手前の人を支援する生活困窮者自立支援法が施行されましたが社会的に孤立した人達が情報を得られず、窓口へ行かれないどうしたらすぐえるのか広報のやり方が問題です
6	地域での催し事等に参加してくれる人を増やしていきたいです。公民館活動等もきまった方々しか参加してないように思います。
7	会議や研修会等で色々勉強することも大切だと思いますが、積極的に取り組んで下さっていた担当者が途中で変わってしまったり（仕方がないのかもわかりませんが）、変わってきたばかりの人がリーダーになっていたり仕事として本当に大変であると思いますが、地域の方々には逃げられない状況で頑張っておられるのもっと地域に密着して進めていただけるようお願い致します。
8	まずは地域住民同士のつながりを深めて行く事が大切ではと思います。自治会に加入していないアパート、マンションの住民の方との交流をどうすればいいのか。
9	地域福祉とは個人情報に関わることもあると思いますので行政以外はタッチしにくいと思います。同時に地域福祉に関係している方々を地域住民は知らないと思いますので両方で共有共存出来ないのではないのでしょうか。福祉の充実こそが市民の生活の基本ではないかと思います。行政の関わり方を考えてください。組織に所属している方だけの活動では多くの方の賛成を得られないと思います。
10	「地域福祉」ということ事体、一般市民にとっては、とらえにくい言葉だと思います。「現計画」というものを、この機会に読んでみましたが、わかりにくい、とらえようがない、私の頭が悪いせいなのでしょう。広報のあり方を考えて頂いたらよいのではないのでしょうか。

所属：つどいの家

No	内容
1	地域福祉を推進するという立場で考えたことがありませんので提案はありません。
2	つどいの家のメンバーさんにはいるのですが、ライオンズマンションに住んでいて、21号の台風の時、電気が止まれば水、コンロ、風呂、トイレ、エレベーターすべて止まり、足の不自由な人は尚更1歩も出られず。隣の友達とも連絡も薄く情報交換もなく 今更ながら地域の連結の大切さ、縦線と横線をつながり。をおもいらされましたが、では今からどうすればいいか、喉元過ぎればの例えにならないか。
3	質問に対する判断が難しかったです。
4	建物が老朽化して修理を会費で補っていますが、費用額により補助があればと思います。活動できる場所の紹介など。

所属：地域包括支援センター

No	内容
1	地域住民や各種団体長等と協議を進める中で、多く聞かれた声として当局の様々な部局並びに担当課より所属団体を通じて同種の施策、特に「地域福祉」や「支え合い」、「助け合い」等のキーワードについての事業関係依頼や案内について個々に通知が来る為に、団体長の認識としてはこの間も同じような事業についての依頼があった、今回の依頼事業と何が違うのか？等の質問が多く、色々な所から同じ様な事を言って来て地域が混乱していると厳しい声も聞かれました。団体長は地域の窓口である支所、連絡所に聞くが詳細が分からず、担当課の自治振興課に聞いても分からないと言われ担当課が改めて当該地域役員に対して説明に行かなければならない状況があり担当課以外の合議の必要な案件についての取扱いについては庁舎内委員を主として特に部局横断、連携等の活動が必要であると考えます。
2	アンケートの結果を集計し、その結果をどう地域に反映できたかということ住民にわかりやすくして欲しい。(という住民の声をよく聞きます。)
3	市からの委託が多くなっており、すべて委託先まかせになっていて行政(市)がもう少し先頭に立ち市民等への啓発活動を行って頂けると委託先も協力しやすい。その上で市民が中心となり様々な地域福祉活動をより積極的に考え、行えるのではないかと思います。
4	地域福祉を推進するには住民どうしのつながりや色々な機関とつながっていくことが重要だと思います。交流会等に積極的に参加したいと思います。
5	一時的に活動が活発化することはあったとしても、その活動を継続していくにはどのように取り組んでいけるか各団体にまかせていても限界があり、やはり行政も団体の活動が続けられるような協力を積極的に行っていただければと思いますし(協力の内容は各団体との話し合いにより考えていければと思います)
6	まずは行政の各課・関係機関での情報共有、横のつながりをしっかりと行い、共同して取り組むようにしてほしい。(同じようなアンケートや研修会、交流会が重なって実施されたりすることがある)例えば、今後第二層が各園域で立ち上がると、貴課で行われている今回のようなアンケートや絆づくり交流会、担い手育成講座などと主旨や機能、参加対象がかぶると思います。そのため、地域福祉づくりに関係する機関が集まって、実施することの内容を整理して役割分担して、効率的に行えるようにする必要があります
7	様々な団体、機関、行政など各々の役割をしっかりと位置付けし、市民も含め皆がそれを把握しておくべきだと思う。

所属：地域子育て支援拠点施設

No	内容
1	支援センターは就園前の子供とお母さんが利用できる施設なのですが、年齢があがり小学校に行く様になると夏休み等、子供の遊び場や行く所が少ないのでほしいという声をよく聞きます。
2	市や団体などだけでなく市民も一緒にもっと協力しながら活動していけたらと思います

所属： NPO・ボランティア団体

No	内容
1	ボランティア・NPO・住民参加はとても大切なことで大賛成ですが、基盤を支えるのは「公」だと思います。専門性・継続性が必要な部分までボランティアや非正規職員に依存するのは社会保障ではありません。予算と法的根拠でもって地域福祉を組み立てないと、支える側が疲れるばかりで、持続不可能です。今年のように災害が増えてくると、尚更そう思います
2	まず人と人との人間関係（自分勝手な人が多い）住民どうしの支えあい作り。住民どうしのつながりがよくなり、団結がよくなると思う。
3	やはり貧困の方が増えているのが気になりますので、地域の方々が支え助けあえる体制があればと思います。
4	行政だけで地域福祉の推進は大変やりにくい。もっと福祉関係機関との横つながりの交流を密にしてもらいたい。
5	元気で時間がたっぷりある高齢者が地域貢献しやすいような機会や環境づくりが出来れば良いと思いますが、公民館活動は手芸活動がほとんどのように思います。地域の課題などが活かせるような気楽な機会（茶話会など）もつくり、課題解決に一步踏み出すような活動も出来ると良いと思います。
6	私達の団体は地域福祉の向上を旨として活動しているわけではないので、今回の質問には非常に答えにくかった。
7	公民館の利用をどのようにするか、誰もが気楽に入れるコミュニティの場所として活用出来るとよい。老人のいこいの場所（スーパーやデパートでたむろしている特に男性が多くみかけられるため、あまりスーパーやデパートに行きたくない。
8	地区社協さんの動きが見えづらく感じます。住民ではない一般のNPO等になかなか情報が届かない(市報なども届きませんので)点がなにか改善できないものかと思います。
9	福祉事業の経費が内容とくらべると非常に割あてが少なく苦勞してきました。⑥本当にしっかり支援のできている事業所とそうでない事業所との見分けをはっきりさせて内容の良い事業所をのぼし利用者を利用するような事業所は閉所させていただきたい。その後は内容の良い事業所が引き受けてゆくのだと思います。
10	老健施設や各種イベントに参加しているボランティア団体のひとつですが参加回数増とともに費用負担も増加しています。一定以上の費用（例：年間〇〇円等）を要する場合への公的助成措置があれば助かります。
11	各ボランティア団体が何をしているのか広報してほしい（今、どこが、どんなボランティアが欲しいかなど）ボランティアしたくても、初めの一步が難しいようです。
12	専門分野に関しての行政の研修等の取り組みの推進
13	和歌山市にパークゴルフ場の開場を期待しています。
14	“支援を必要とする人を早く見つける為のネットワークづくり。母子手帳から介護保険までのつなぎを切ったとすること。健康長寿の取り組み。元気で長生きすることの活動。ますます高齢化社会となり独居老人が増え、近所で孤独死で発見された老人がいました。発見したのは翌日。週2回生活面のお手伝いの為のヘルパーでした。以前より地域ボランティアで独居老人宅への話し

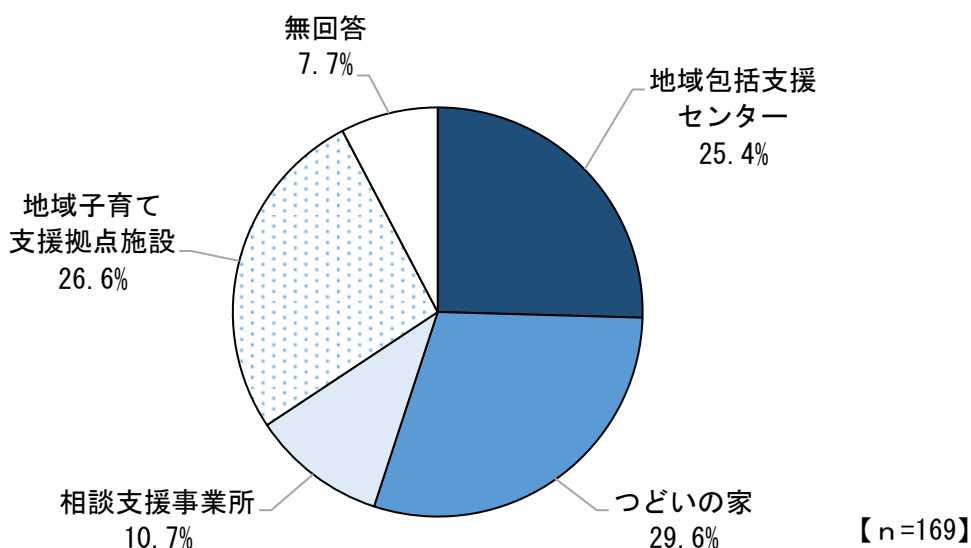
	相手として自宅へ伺ってはと自治体へ申し出たのですが縁切れになりました。身元のしっかりしたボランティアを派遣訪問できるようなシステムを是非!!
15	このアンケートが始めて地域福祉のネットワークが現実になると嬉しいです!!よろしくお願いします。”

(2) 地域の居場所や福祉の相談窓口の利用者へのアンケート調査結果

問1 利用された場所はどちらですか。

○は1つ

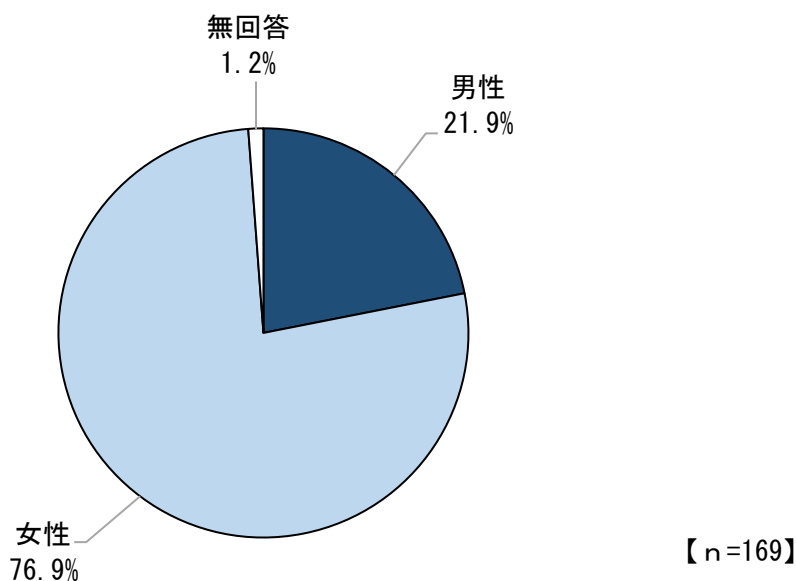
利用された場所について、「つどいの家」が最も多く 29.6%、次いで「地域子育て支援拠点施設」が 26.6%、「地域包括支援センター」が 25.4%、「相談支援事業所」が 10.7%となっています。



問2 性別はどちらですか。

○は1つ

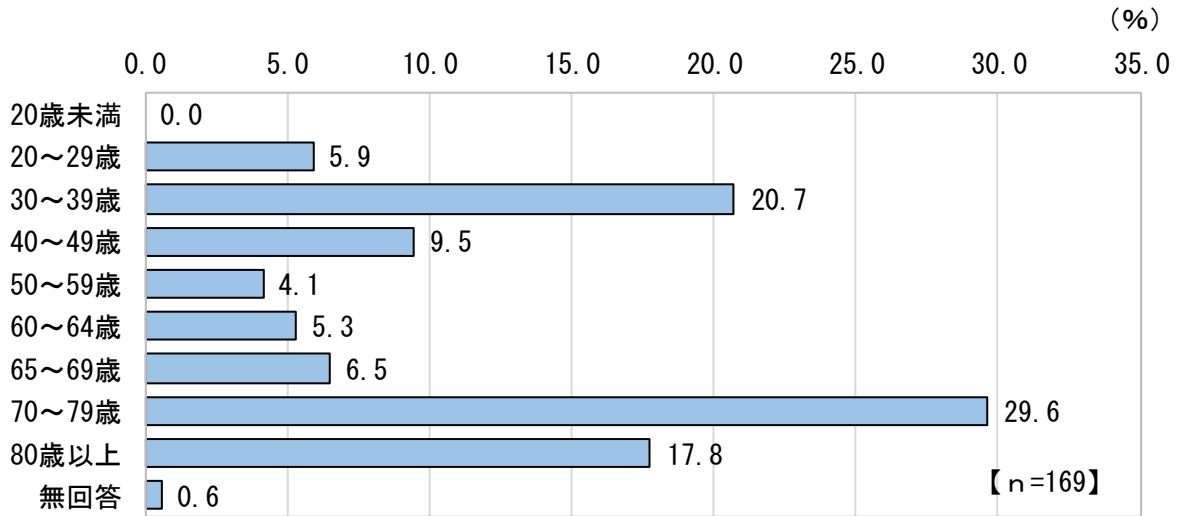
性別については、「男性」が 21.9%、「女性」が 76.9%となっています。



問3 年齢について教えてください。

○は1つ

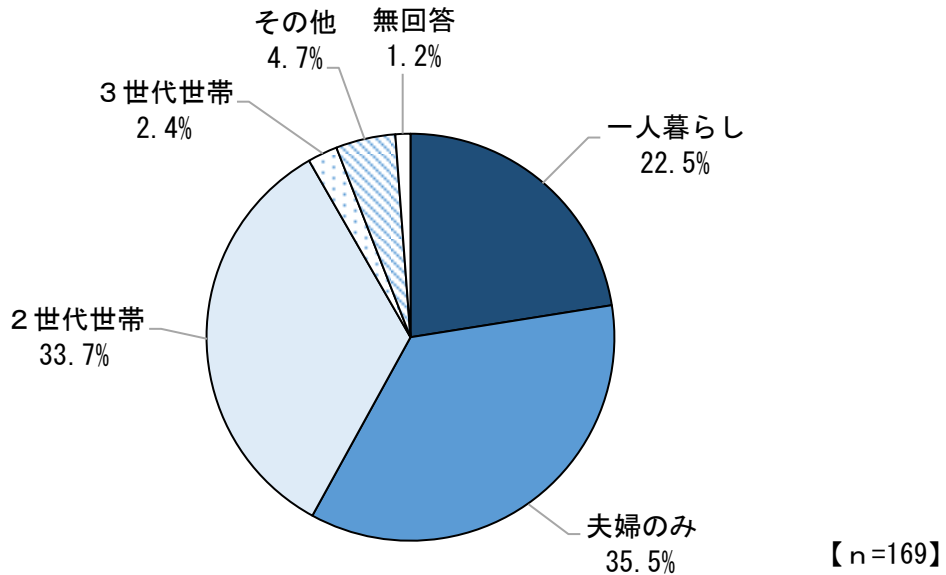
年齢について、「70～79歳」が最も多く29.6%、次いで「30～39歳」が20.7%、「80歳以上」が17.8%と続いています。



問4 家族構成について教えてください。

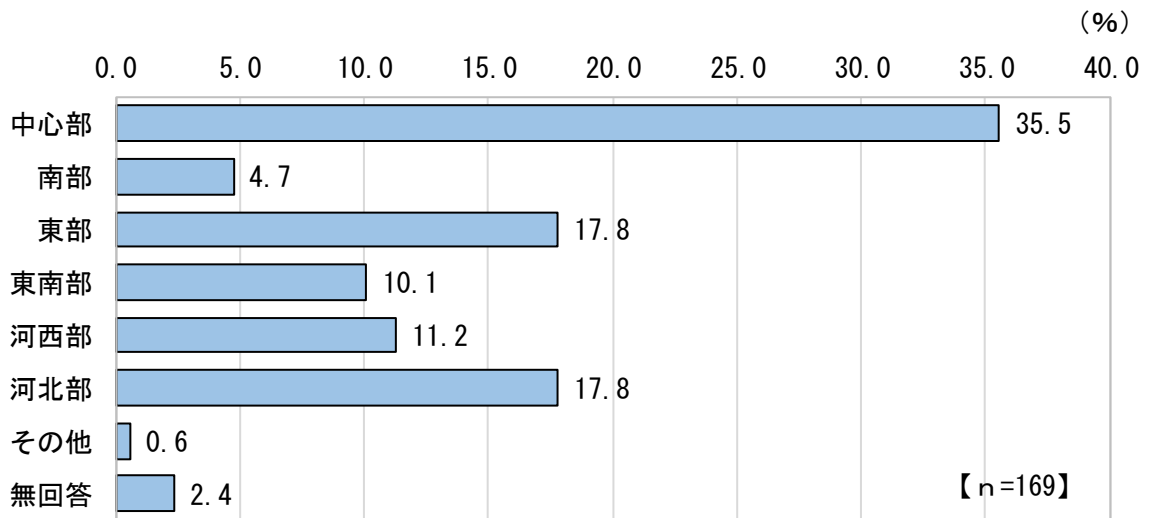
○は1つ

家族構成について、「夫婦のみ」が35.5%、次いで「2世代世帯」が33.7%、「一人暮らし」が22.5%と続いています。



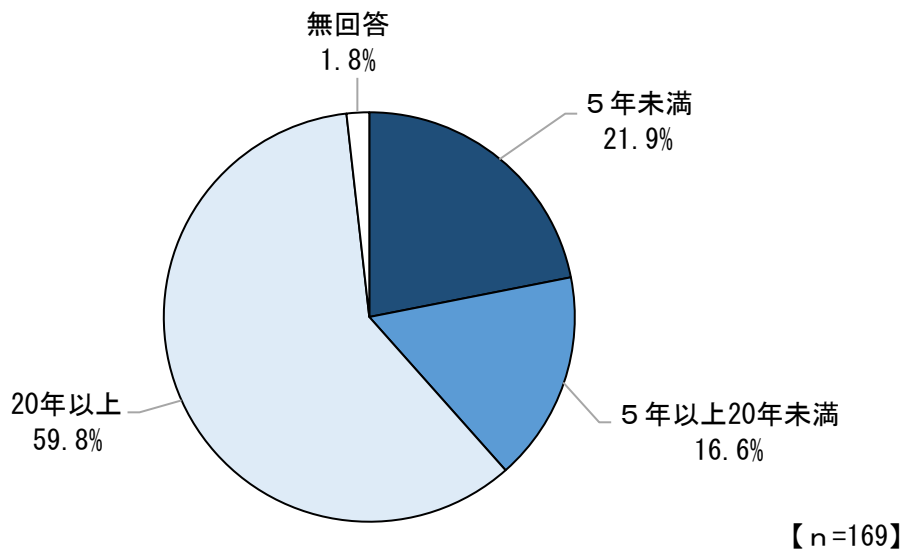
問5 どのエリアにお住まいですか。 ○は1つ

お住まいのエリアについて、「中心部」が最も多く 35.5%、次いで「東部」「河北部」が 17.8%、「河西部」が 11.2%と続いています。



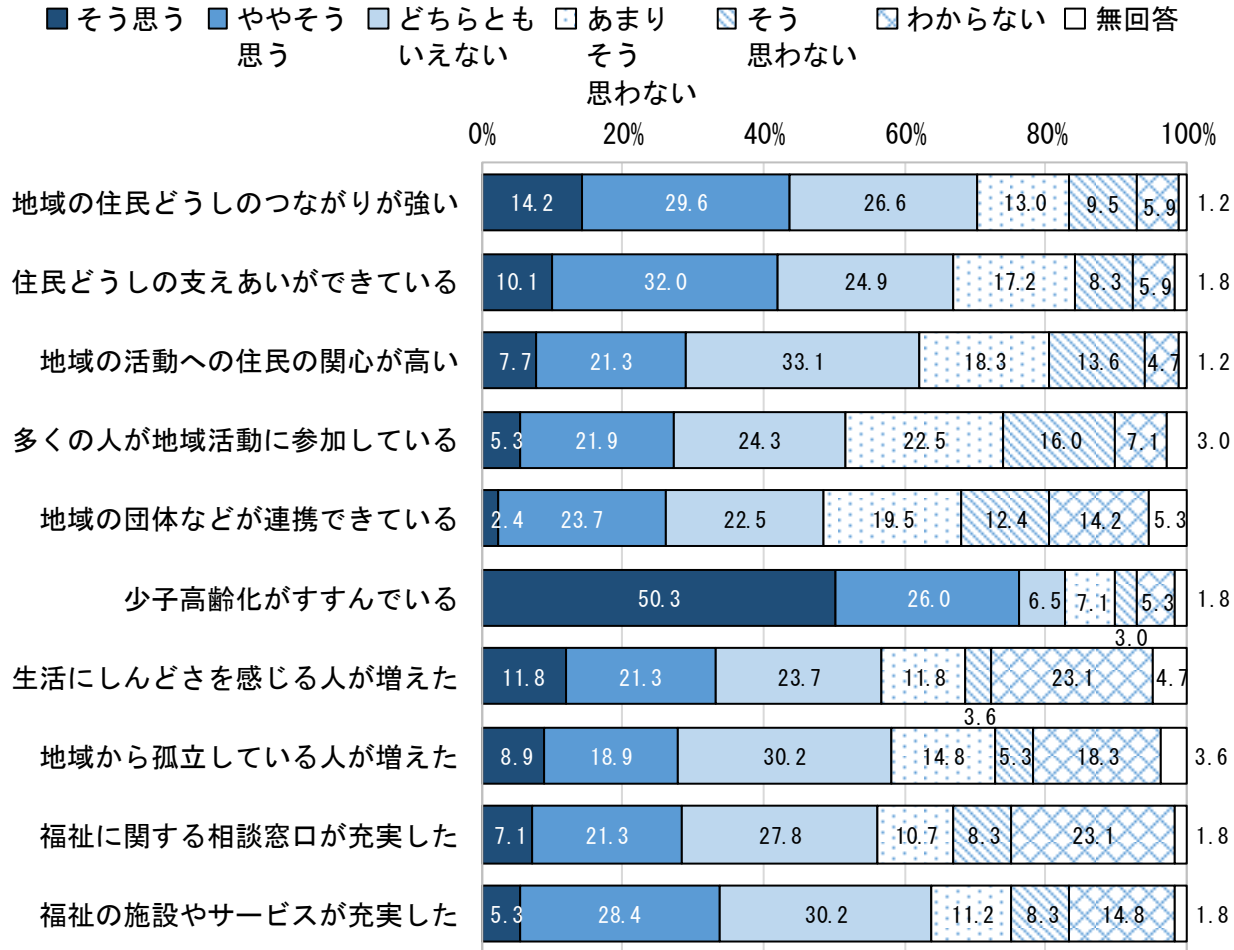
問6 お住まいのエリアに通算で何年お住まいですか。 ○は1つ

お住まいのエリアに通算で何年住んでいるかについて、「20年以上」が最も多く 59.8%、次いで「5年未満」が 21.9%、「5年以上20年未満」が 16.6%となっています。



問7 お住まいのエリアの状況を、どのように感じていますか。 ○は1つ

お住まいのエリアの状況について、『そう思う』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）では、「少子高齢化がすすんでいる」が最も多く 76.3%、次いで「地域の住民どうしのつながりが強い」が 43.8%、「住民どうしの支えあいができている」が 42.0%と続いています。



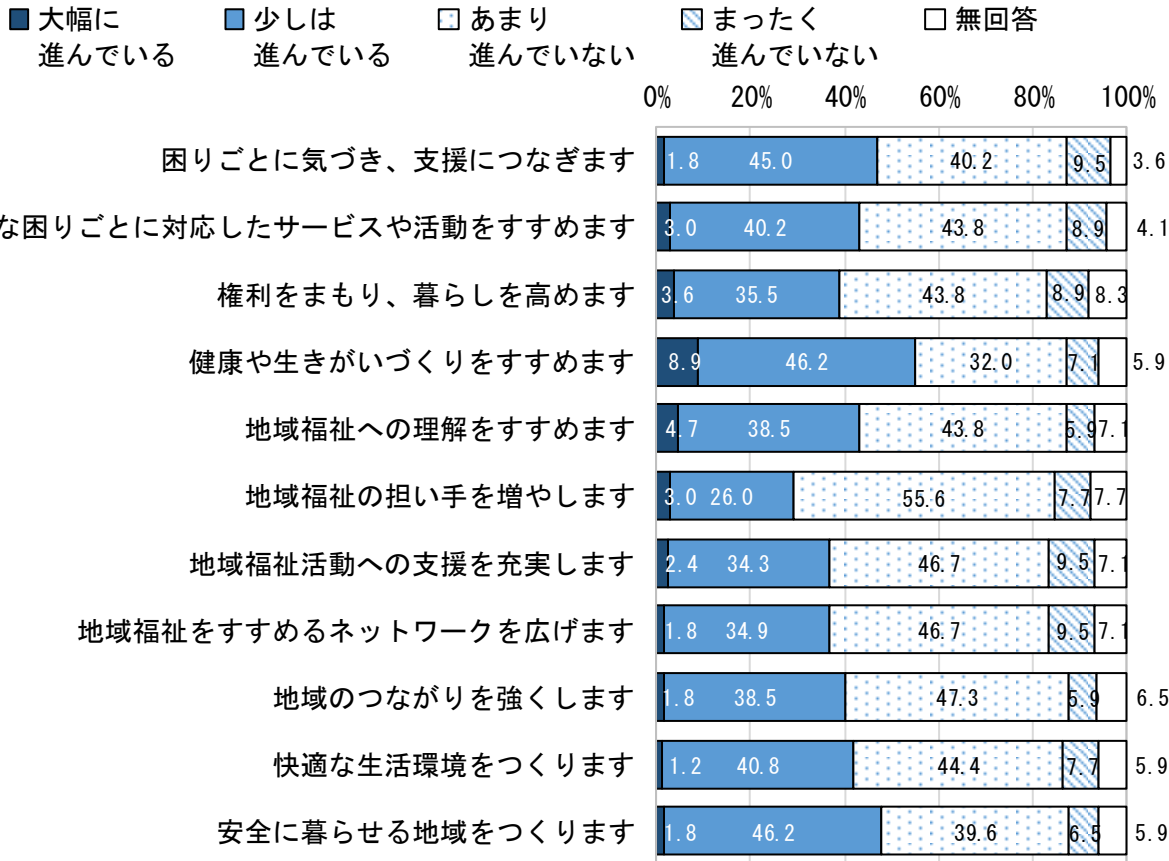
【n=169】

『そう思う』 （「そう思う」+「ややそう思う」）		n	地域の住民どうしのつながりが強い	住民どうしの支えあい	地域の活動への住民の関心が高い	多くの人地域活動に参加している	地域の団体などが連携できている	少子高齢化がすすんでいる	生活にしんどさを感じる人が増えた	地域から孤立している	福祉に関する相談窓口が充実した	福祉の施設やサービスが充実した
全体		169	43.8	42.0	29.0	27.2	26.0	76.3	33.1	27.8	28.4	33.7
利用場所	地域包括支援センター	43	46.5	37.2	25.6	23.3	27.9	79.1	51.2	41.9	44.2	55.8
	つどいの家	50	52.0	50.0	26.0	32.0	32.0	88.0	36.0	24.0	32.0	32.0
	相談支援事業所	18	11.1	22.2	11.1	16.7	22.2	66.7	44.4	38.9	22.2	33.3
	地域子育て支援拠点施設	45	40.0	37.8	35.6	22.2	17.8	62.2	15.6	20.0	13.3	15.6
エリア	中心部	60	33.3	33.3	20.0	21.7	21.7	81.7	30.0	30.0	20.0	30.0
	南部	8	62.5	50.0	25.0	12.5	25.0	87.5	37.5	37.5	25.0	37.5
	東部	30	60.0	56.7	43.3	53.3	30.0	86.7	33.3	23.3	23.3	36.7
	東南部	17	64.7	52.9	35.3	23.5	41.2	47.1	23.5	11.8	35.3	35.3
	河西部	19	26.3	26.3	21.1	15.8	10.5	52.6	10.5	15.8	10.5	15.8
	河北部	30	43.3	43.3	33.3	26.7	33.3	83.3	50.0	33.3	63.3	53.3

「第3次和歌山市地域福祉計画」（以下「現計画」という。）では、地域福祉を推進していくために11の柱をたて、それらを市民、団体、事業者、市・関係者等が役割を分担しながら協働して進めていくことが書かれています。

問8 これらの11の取り組みの進み具合について、あなたはごどう思いますか。 ○は1つ

取り組みの進み具合について、『進んでいる』（「大幅に進んでいる」と「少しは進んでいる」の合計）では、「健康や生きがいをづくりをすすめます」が最も多く55.0%、次いで「安全に暮らせる地域をつくります」が47.9%、「困りごとに気づき、支援につながります」が46.7%と続いています。



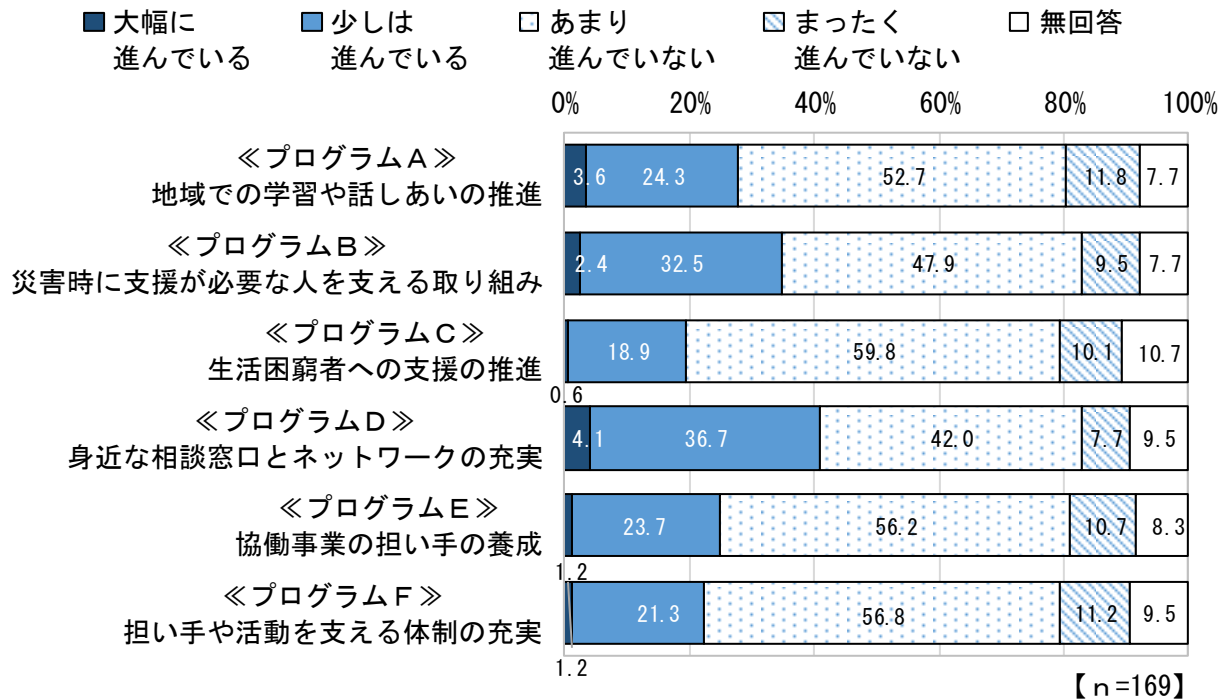
【n=169】

『進んでいる』 （「大幅に進んでいる」+ 「少しは進んでいる」）		n	な 困り ごと に 気 づ き 支 援 に つ な が り ま す	多 様 な 困 り ご と に 対 応 し た サ ー ビ ス や 活 動 を す す め ま す	権 利 を ま も り 、 暮 ら し を 高 め ま す	健 康 や 生 き が い づ く り を す す め ま す	地 域 福 祉 へ の 理 解 を す す め ま す	地 域 福 祉 の 担 い 手 を 増 や し ま す	地 域 福 祉 活 動 へ の 支 援 を 充 実 し ま す	地 域 福 祉 を す す め る ネ ッ ト ワ ー ク を 広 げ ま す	地 域 の つ な が り を 強 く し ま す	快 適 な 生 活 環 境 を つ く り ま す	安 全 に 暮 ら せ る 地 域 を つ く り ま す
全体		169	46.7	43.2	39.1	55.0	43.2	29.0	36.7	36.7	40.2	42.0	47.9
利用場所	地域包括支援センター	43	46.5	41.9	32.6	60.5	39.5	25.6	37.2	34.9	32.6	32.6	39.5
	つどいの家	50	44.0	40.0	34.0	58.0	46.0	18.0	28.0	26.0	34.0	42.0	46.0
	相談支援事業所	18	55.6	44.4	55.6	61.1	61.1	38.9	44.4	55.6	61.1	55.6	61.1
	地域子育て支援拠点施設	45	46.7	48.9	44.4	46.7	40.0	37.8	40.0	42.2	44.4	48.9	55.6
エリア	中心部	60	45.0	50.0	43.3	53.3	41.7	31.7	41.7	40.0	35.0	41.7	46.7
	南部	8	37.5	37.5	37.5	50.0	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5
	東部	30	36.7	40.0	30.0	56.7	40.0	20.0	36.7	23.3	43.3	40.0	53.3
	東南部	17	64.7	47.1	58.8	58.8	52.9	35.3	35.3	41.2	52.9	52.9	58.8
	河西部	19	36.8	36.8	26.3	42.1	31.6	21.1	21.1	26.3	36.8	31.6	36.8
	河北部	30	53.3	36.7	30.0	60.0	46.7	30.0	36.7	43.3	36.7	40.0	43.3

現計画では、地域福祉の推進について、特に次のA～Fのプログラムを先導的に取り組む事項として設定し、市民、団体、事業者等にも協働を呼びかけています。

問9 先導的に取り組む事項の進み具合について、あなたはどのように思っていますか。 ○は1つ

先導的に取り組む事項の進み具合について、『進んでいる』（「大幅に進んでいる」と「少しは進んでいる」の合計）では、「≪プログラムD≫身近な相談窓口とネットワークの充実」が最も多く40.8%、次いで「≪プログラムB≫災害時に支援が必要な人を支える取り組み」が34.9%、「≪プログラムA≫地域での学習や話しあいの推進」が27.8%と続いています。

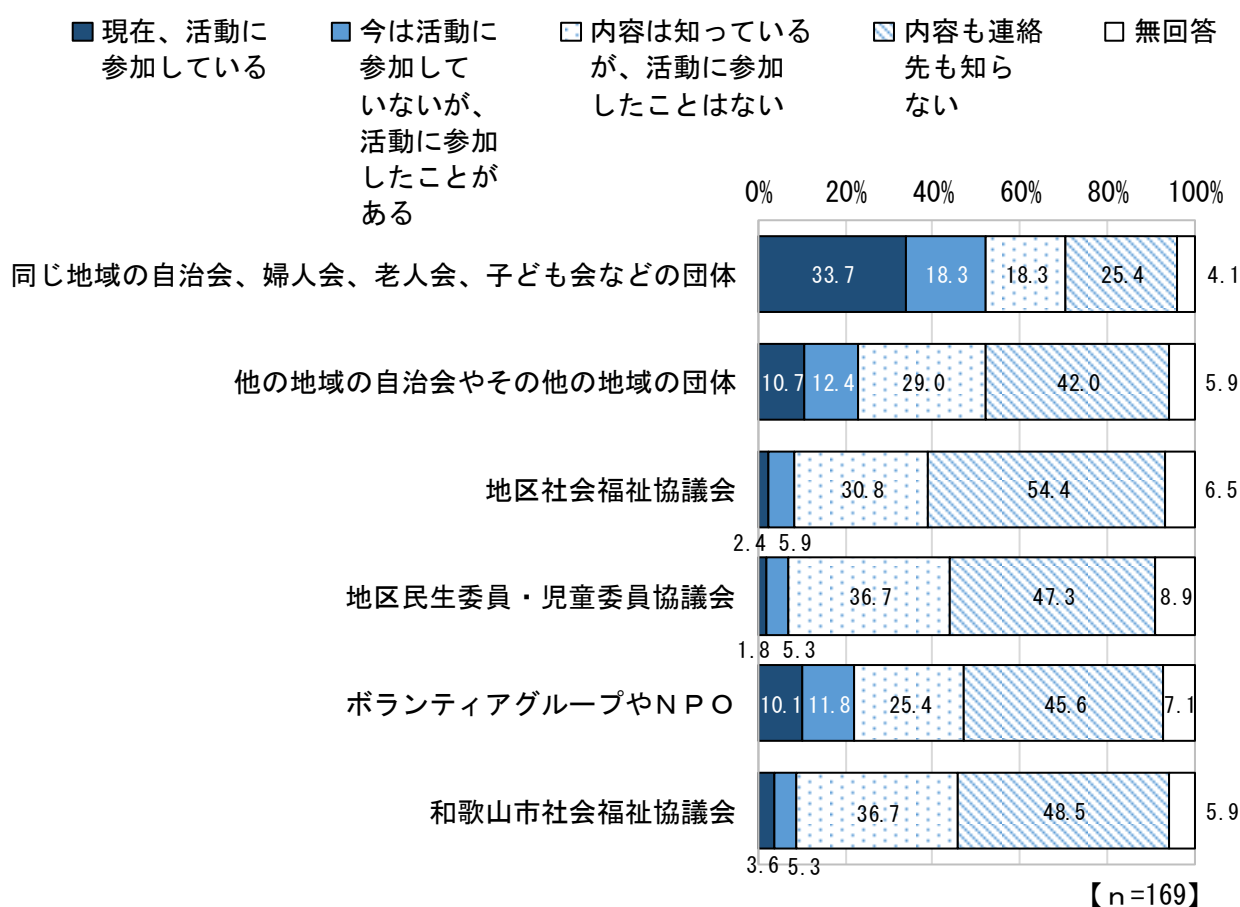


『進んでいる』 （「大幅に進んでいる」+ 「少しは進んでいる」）		n	≪プログラムA≫ 地域での学習や話しあいの推進	≪プログラムB≫ 災害時に支援が必要な人を支える取り組み	≪プログラムC≫ 生活困窮者への支援の推進	≪プログラムD≫ 身近な相談窓口とネットワークの充実	≪プログラムE≫ 協働事業の担い手の養成	≪プログラムF≫ 担い手や活動を支える体制の充実
全体		169	27.8	34.9	19.5	40.8	24.9	22.5
利用場所	地域包括支援センター	43	27.9	34.9	20.9	48.8	11.6	11.6
	つどいの家	50	18.0	20.0	10.0	28.0	24.0	20.0
	相談支援事業所	18	22.2	38.9	22.2	27.8	22.2	22.2
	地域子育て応援拠点施設	45	37.8	51.1	28.9	55.6	37.8	37.8
エリア	中心部	60	33.3	48.3	35.0	55.0	25.0	31.7
	南部	8	25.0	25.0	12.5	50.0	25.0	25.0
	東部	30	26.7	26.7	13.3	26.7	23.3	10.0
	東南部	17	23.5	35.3	11.8	35.3	29.4	29.4
	河西部	19	5.3	15.8	5.3	21.1	15.8	10.5
	河北部	30	40.0	30.0	13.3	46.7	33.3	23.3

現計画では、市全体の地域福祉を推進していくための取り組みを市民、団体、事業者、市・関係者が役割分担しながら協働して展開していくことになっています。

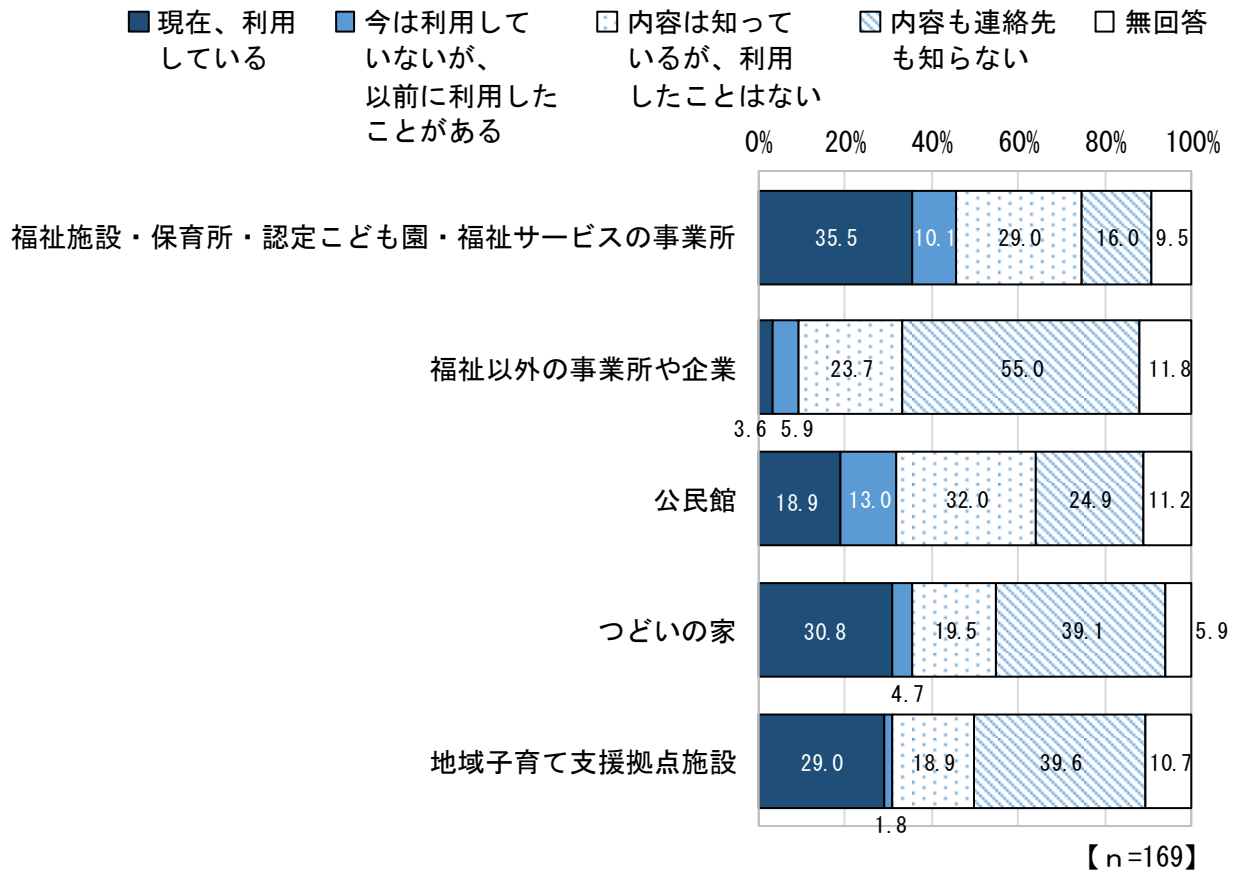
問10 (1)	どのような団体の活動に参加していますか。	○は1つ
------------	----------------------	------

参加している団体について、「現在、活動に参加している」では「同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体」が最も多く 33.7%、「今は活動に参加していないが、活動に参加したことがある」では「同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体」が最も多く 18.3%、「内容は知っているが、活動に参加したことはない」では「地区民生委員・児童委員協議会」「和歌山市社会福祉協議会」が最も多く 36.7%、「内容も連絡先も知らない」では「地区社会福祉協議会」が最も多く 54.4%となっています。



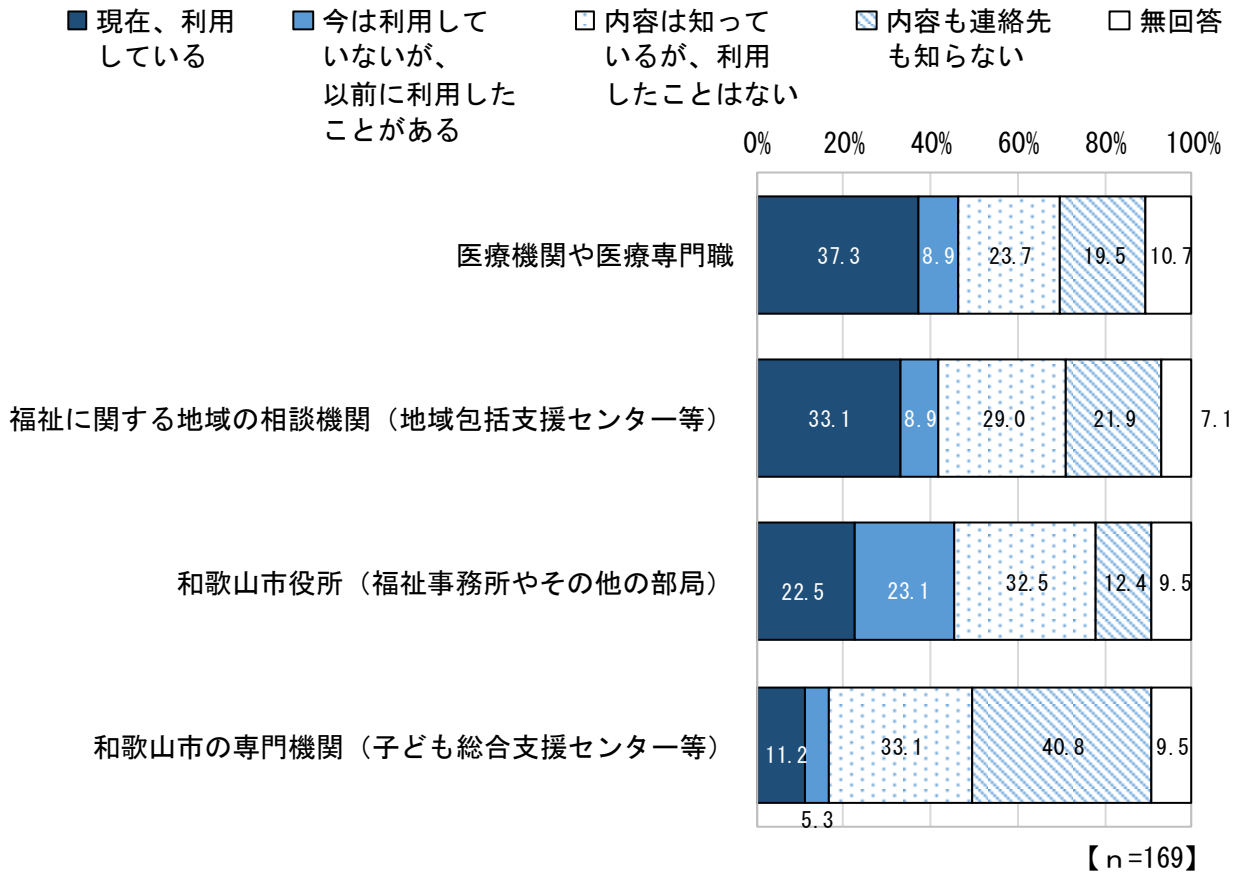
問10 (2)	どのような事業所・施設等を利用していますか。	○は1つ
------------	------------------------	------

事業所・施設等の利用について、「現在、利用している」では「福祉施設・保育所・認定こども園・福祉サービスの事業所」が最も多く35.5%、「今は利用していないが、以前に利用したことがある」では「公民館」が最も多く13.0%、「内容は知っているが、利用したことはない」では「公民館」が最も多く32.0%、「内容も連絡先も知らない」では「福祉以外の事業所や企業」が最も多く55.0%となっています。



問10 (3)	どのような市・関係機関等を相談窓口として利用していますか。	○は1つ
------------	-------------------------------	------

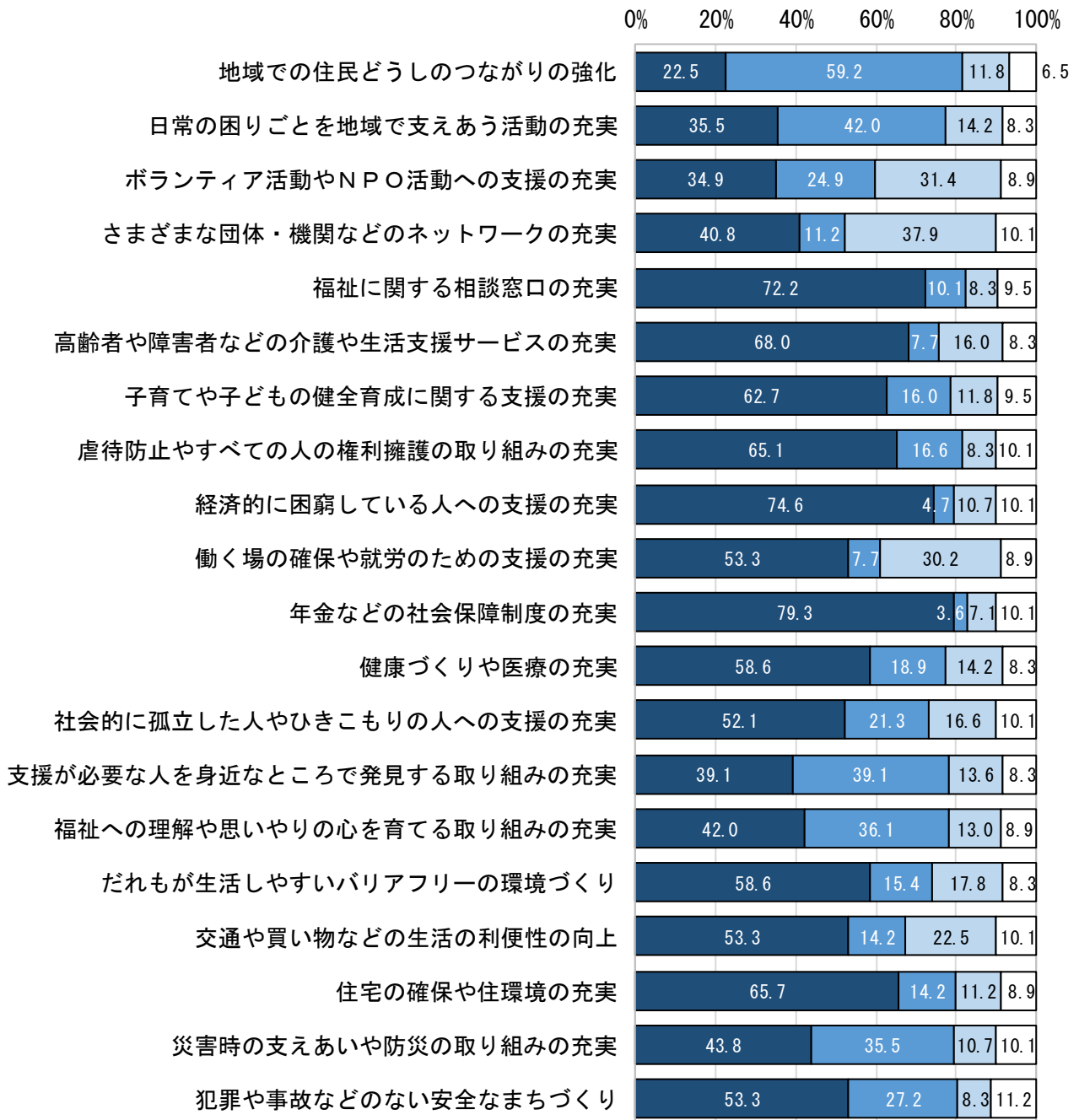
利用している市・関係機関等を相談窓口について、「現在、利用している」では「医療機関や医療専門職」が最も多く 37.3%、「今は利用していないが、以前に利用したことがある」では「和歌山市役所（福祉事務所やその他の部局）」が最も多く 23.1%、「内容は知っているが、利用したことはない」では「和歌山市の専門機関（子ども総合支援センター等）」が最も多く 33.1%、「内容も連絡先も知らない」では「和歌山市の専門機関（子ども総合支援センター等）」が最も多く 40.8%となっています。



問 11	地域福祉を推進するため、次の①～⑳についてどのように取り組んだ方がよいと思いますか。	○は1つ
------	--	------

地域福祉を推進するための取り組みについて、「市・関係機関が重点的に取り組んだ方がよい」では「年金などの社会保障制度の充実」が最も多く 79.3%、「市民がもっと主体的に取り組んだ方がよい」では「地域での住民どうしのつながりの強化」が最も多く 59.2%、「団体・事業者等がもっと積極的に取り組んだ方がよい」では「さまざまな団体・機関などのネットワークの充実」が最も多く 37.9%となっています。

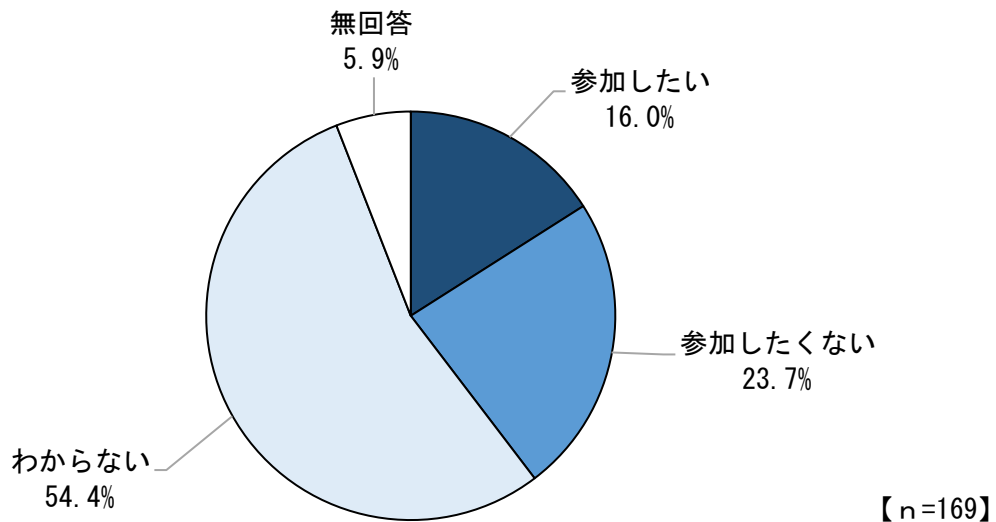
■ 市・関係機関が重点的に取り組んだ方がよい
 ■ 市民がもっと主体的に取り組んだ方がよい
 □ 団体・事業者等がもっと積極的に取り組んだ方がよい
 □ 無回答



【n=169】

問 12	この調査の結果や統計データなどをもとに、「地域の絆づくり交流会（本年10月～12月頃）」を開催する予定です。この会議に参加したいと思いますか。	○は1つ
------	---	------

地域の絆づくり交流会への参加希望について、「参加したい」が16.0%、「参加したくない」が23.7%、「わからない」が54.4%となっています。



問 13	地域福祉を推進するにあたり、具体的なお意見やご提案などありましたら、自由にお書きください。
------	---

利用された場所：地域包括支援センター

No	内容
1	地域福祉を推進するよりも、やはり現場で活躍するヘルパーや福祉職員の賃金をもっと上げるべきだ。
2	和歌山市では体操など住民に勧めていると聞きました。企業たとえばオオクワ・マツゲン等にお願ひし場所を借りるとか、〇〇スーパーは△△△円以上購入すれば自宅に配送してくれるなどの情報を市報に載せてほしい。
3	城北ですが今は集まる場所がなく困る。もっともっと気軽に集合出来る場所があれば今より活動出来る。残念。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・名草支援センター 担当者の方は大変親切でした。ありがとうございました。 ・市やセンターの担当者 訪問、調査、確認など人件費がかなり、要していると感じました。 ・介護支援制度についても6月のリーフレットでようやく理解することができ、申請をしました。→一般市民へのPRをもう少し、積極的に推進して頂きたい。
5	地域の事業所、施設等を利用している人はある程度何をしているか理解していると思うけれど市、事業所の呼びかけもまだまだ必要ではないかと思う。自分の自治会の平均年齢が70歳を過ぎているので何かに参加するというのは難しい。声をかけても二の足を踏む人がほとんどである。自身も80歳を前に、できることは少ないと思う。

6	自治会内にも組織というか役割分担はありますが、あまり機能はしてないと感じます。自分がその立場になったとき何が出来るか(何をすればいいのか)は分かりませんが、名前だけ頂いて1年間何もせずにすぎてしまいそうです。人が変わっていても継続的につながっていく仕組みはあるのでしょうか？役所の掛け声が末端まで届いていないように思います。
7	東部和佐いつもよくして頂いています。今後もよろしくお願ひします。頑張ってください。
8	内容が難しくて分かりにくいです
9	私は週3回日赤科和佐之山医療センターで透析を受診しています。地震災害などで非難が必要になった際には日赤血液浄化センターから指示を受けることになっています。しかし避難所など安心、安全に対処できるかふあんがあります。福祉避難所などの設置、収容力、支援人員などの具体的施設を公表する必要があると思います。
10	地域の事も福祉の事も何も分かりません。皆さんいろいろしてくれているのに。交流会で勉強したいと思います。

利用された場所：つどいの家

No	内容
1	見たことも聞いたこともない言葉や表現が多い。選択枝がいろいろあるけれど「考えたこともない」「コメントしようもない」というものばかりでした。
2	今は、つどいの家でカラオケ、健康体操、料理等婦人会にも参加させてもらいわからない事等も皆さんに聞いて充実して生活しています。
3	市、関係機関の方々の責任感のある仕事に期待するところです。立ち上げを提案して頂き、市民の方に持ち掛ける体制を充実して頂き、お互い協力しあうことがより一層の地域福祉の向上に必須と考えます。
4	鳴神団地の集会所でほかの地区の人も我が物顔で利用するのがちょっと納得しません。(問題に関係ないのですが、不満の話ですみません。)
5	今年初め位から子ども食堂に毎月卵100個提供させて頂いております。会場は天理教紀の川分教会を使わせてもらい、お手伝いは若い方がボランティアしてくれていますが、食材肉野菜等どうしているのだろうとよく考えてみると我々主婦の方が出しあっています。それを聞いて私も毎月5,000円を出しています。この間も信愛短大の土井有美子先生の勉強会で共食という言葉が出てきましたがまさしくこれだと思いました。昔、園部のカレー事件があってから、どこでもというわけにはいかず天理教をお借りしていますが、私も天理教の信者でもありません。我々だけでは限界があります。是非、市からの大々的な資金援助をお願いしたく思います。一人暮らしの方にもお弁当が普及されている現在ですが、手頭栗の温かい安心安全な食材をみんなで食べるという共食が意義あると思います。是非、協力ください。
6	地域住民を対象にした多数の地域活動を行っているが、後継者不足が大きな課題。アンケート回答の回収期日後にアンケートが配布された。

利用された場所： 相談支援事業所

No	内容
1	障害を持っている方の仕事への参加に対しての理解を深めてほしい。

利用された場所： 地域子育て支援拠点施設

No	内容
1	子育て世代に対する対応が悪すぎる。頑張ってる生活している状況なので、地域福祉にまで感心が向かなくなっている。子育て世代のような行動も出来、パワーがある世代を大切にすることで、地域福祉も活性化していくのではないかと。何をしてもまず、市民の声を大切にしたい。現状を知らない人達だけで物事を決めようとすると、的外れになる。
2	このアンケートをとって市がどうしてくれるのか、どう進めていくためのアンケートなのか意図が分からないような質問が多く、期待できないと感じてしまった。
3	有田市にある子育て活動支援センターのような新しく、子供と親などが楽しめる大きなあそび場を新しく作ってほしいです。そこで手あひ歌などすると人が集まると思います。
4	もう少し子どもの遊べる所などを増やしてほしい。
5	アンケートの内容が抽象的で分かりにくいです。地域子育て支援センターで用紙をもらいましたが、介護については経験も知識もなく答えられないので、もう少し対象をしぼってほしいです。子育てについては、支援センターや保健センターなど、支援や相談の場があって助かっています。ただ、保育園が市の北部に集中していて、中心～南部だと入りにくいように思うので、(特に2歳児)不安があります。
6	国は「高齢者に手厚い支援を」と、力を入れていますが、(言葉は悪いですが)死にゆく人間より、これから国を支える人間への支援『子育て支援』を充実させて欲しい。子供を育てるのに和歌山は優しくないです。公共の施設にオムツ交換台があるトイレがなかったり、ベビーカーに乗せたままトイレに入れなかったりします。大人(健常者)用トイレにチャイルドシートがついていても、首や腰が座っていないBabyを座わらせられず、ベビーカーのまま入りたくても入れず、大変なことが多いです。子育てしやすい地域には、人が集まるはずで、少子高齢化のスピードは緩むのではないのでしょうか。和歌山の人口減少も改善するのでは?「子育てについて悩みがあるなら市役所に来てくださいね。14階の食堂にはキッズスペースがあるし、保育士が2人いるよ」というような役所だとママ友会ついでに市役所で相談とかしやすいのでは。そんな地域になってほしいです。
7	子連れで気軽に参加できる場が増えてほしい。オムツ替えシートや授乳スペースがふえてほしい。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・市営の広い子供のあそび場をつくってほしい(コミセンのホールをだれも使ってないときに開放する等でも可)。 ・通勤族で賃貸に住んでいるからか、地域の活動等の情報が入ってこないで、そういった家庭にも情報が来るようにしてほしい。 ・未就園児の間はいろいろ遊ぶところがあるが、保育園ようち園へ行くとあそび場なくなる(未就園児のみOKのところが多い)。園児も来てOKなあそび場をつくってほしい。

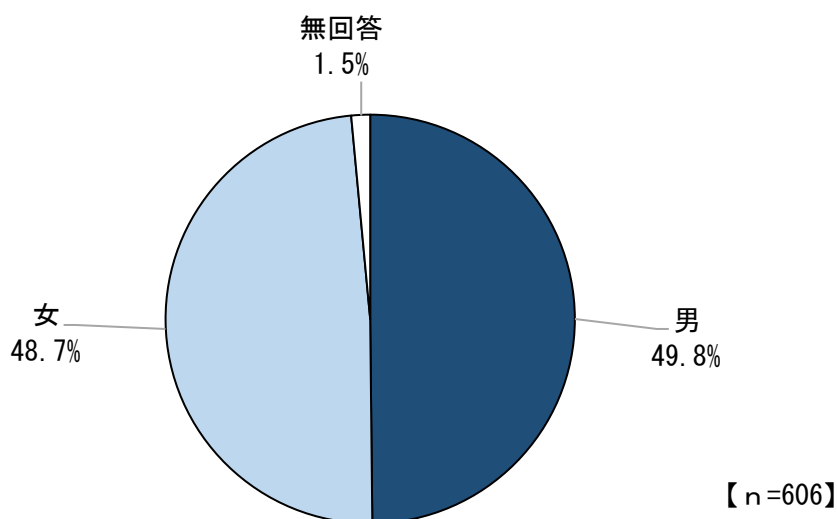
	・幼稚園や保育園の情報を個別にあつめるのが大変なので就活のように合同説明会を開いてほしい。
9	現在、乳幼児を育てていますが、こども園や地域子育て支援拠点施設を始め、市役所の子育て窓口や保健所にはとてもお世話になりありがたく感じています。また身内が介護保険等で、介護などで包括支援センターの方にとっても良くしていただきました。ただこのことも、たまたま人に教えていただいたので利用できたのであって、もっとこういうことがあるという情報を前もって知っていたらなあと感じ、実際に友人（30代～40代前半）に伝えても知らないという意見ばかりでこれからはますます高齢化社会になるのでこれらがもっと身近に浸透すれば良いと感じます。はっきり言って納税をしているので、もっと必要な人がちゃんと受けられるようにして欲しいです。
10	若竹学級の受け入れを高学年になっても受け入れてほしい。姉弟で上の子だけ受け入れてもらえないと姉弟それぞれが別々に待っていないといけないと困る。
11	市報を町内会に入っていないなくても、マンションのポストに入れてほしいです。
12	現在0歳児の子育て中です。和歌山県外から来たのですが地域のつながりがあまり感じられず、保育園、子ども園も不足しているように思い、生活がしにくいなと思っています。若い人たちが和歌山から出てしまうのはなんだか仕方がない気がします。幸い、近くに子育て支援拠点キッズステーションがあるため、子を持つお母さん同士で話したり、スタッフの方に育児相談することができているので助かっています。市報をよく読んでいるのですが、もっとNPOや子育て支援団体等と連携して内容を載せることはできないでしょうか？せっかく団体や取り組みがあるのにここに情報を収集しないといけないので。これまで大阪市に住んでいたのですが、大阪市の区民だよりは読んでいて面白かったですし、イベントなどもたくさんあり、PRも上手でした。これから定年まで和歌山市民でいるつもりです。是非より充実した地域福祉を推進させてください。楽しみにしています。

(3) 小学生アンケート調査結果

問1 あなたの性別は、どちらですか。

○はいくつでも

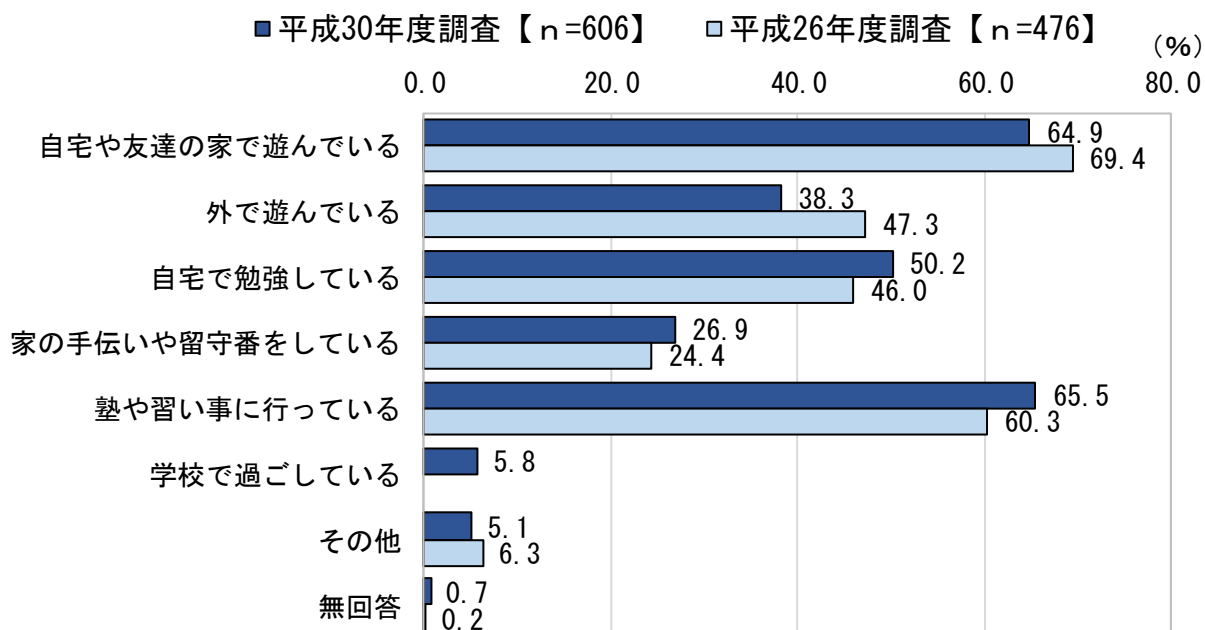
性別について、「男」が49.8%、「女」が48.7%となっています。



問2 あなたは、放課後、何をしておこなうことが多いですか。

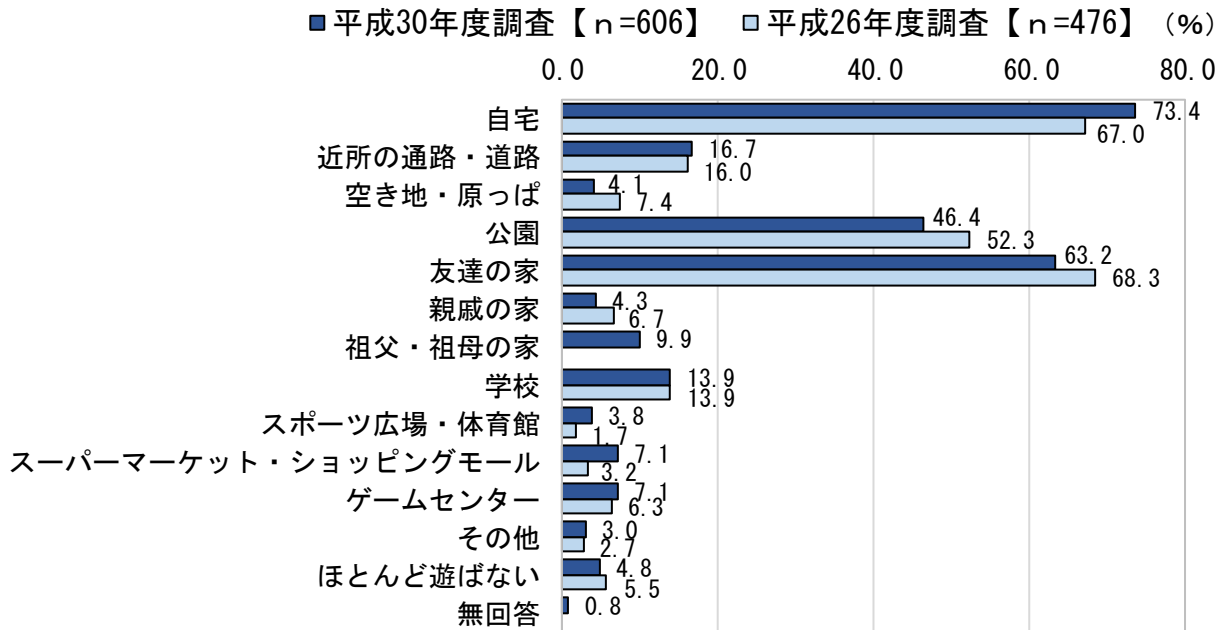
○はいくつでも

放課後の過ごし方について、「塾や習い事に行っている」が最も多く65.5%、次いで「自宅や友達の家で遊んでいる」が69.4%、「自宅で勉強している」が50.2%と続いています。また、平成26年度調査結果と比較して、「塾や習い事に行っている」が5.2ポイント増、「自宅や友達の家で遊んでいる」が4.5ポイント減、「自宅で勉強している」が4.2ポイント増となっています。



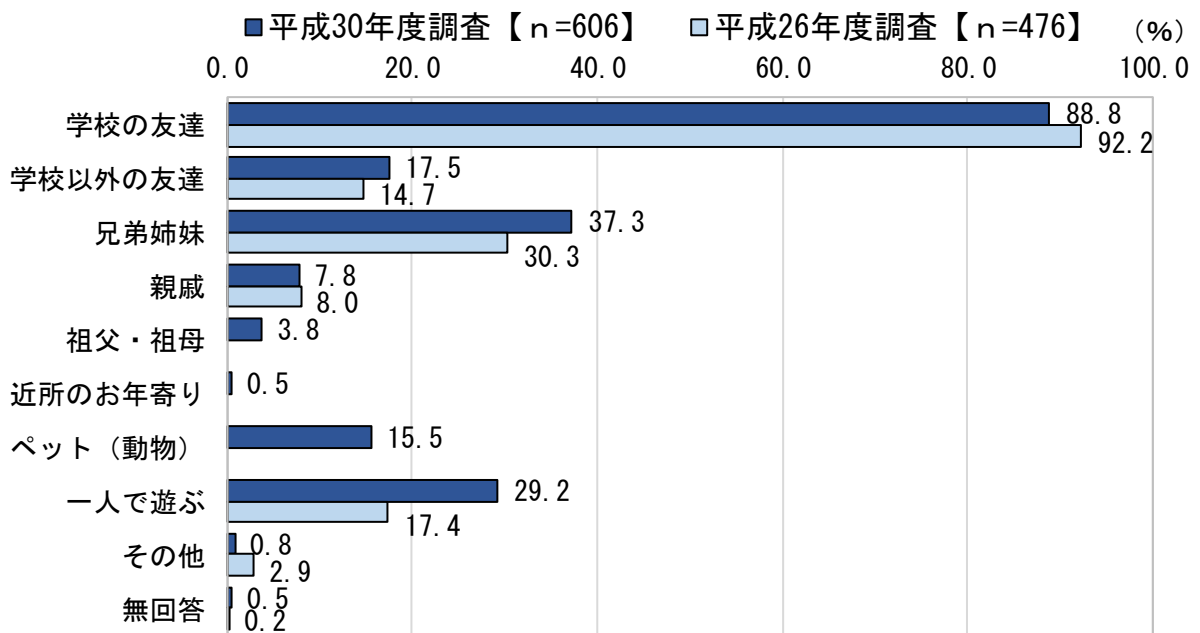
問3 あなたは、どこで遊ぶことが多いですか。 ○はいくつでも

遊び場所について、「自宅」が最も多く73.4%、次いで「友達の家」が63.2%、「公園」が46.4%と続いています。また、平成26年度調査結果と比較すると、「自宅」は6.4ポイント増、「友達の家」が5.1ポイント減、「公園」が5.9ポイント減となっています。



問4 あなたは、主にだれと遊ぶことが多いですか。 ○はいくつでも

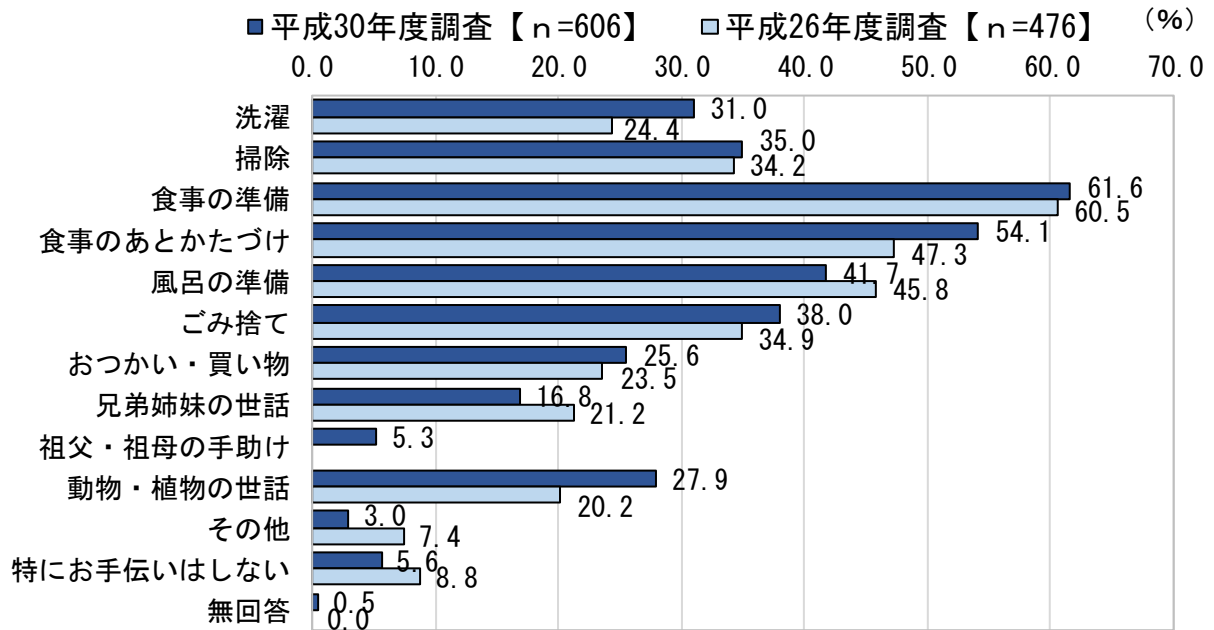
主な遊び相手について、「学校の友達」が最も多く88.8%、次いで「兄弟姉妹」が37.3%、「一人で遊ぶ」が29.2%と続いています。また、平成26年度調査結果と比較すると、「学校の友達」は3.4ポイント減、「兄弟姉妹」は7.0ポイント増、「一人で遊ぶ」は11.8ポイント増となっています。



問5 あなたは、家でどのようなお手伝いをしていますか。

○はいくつでも

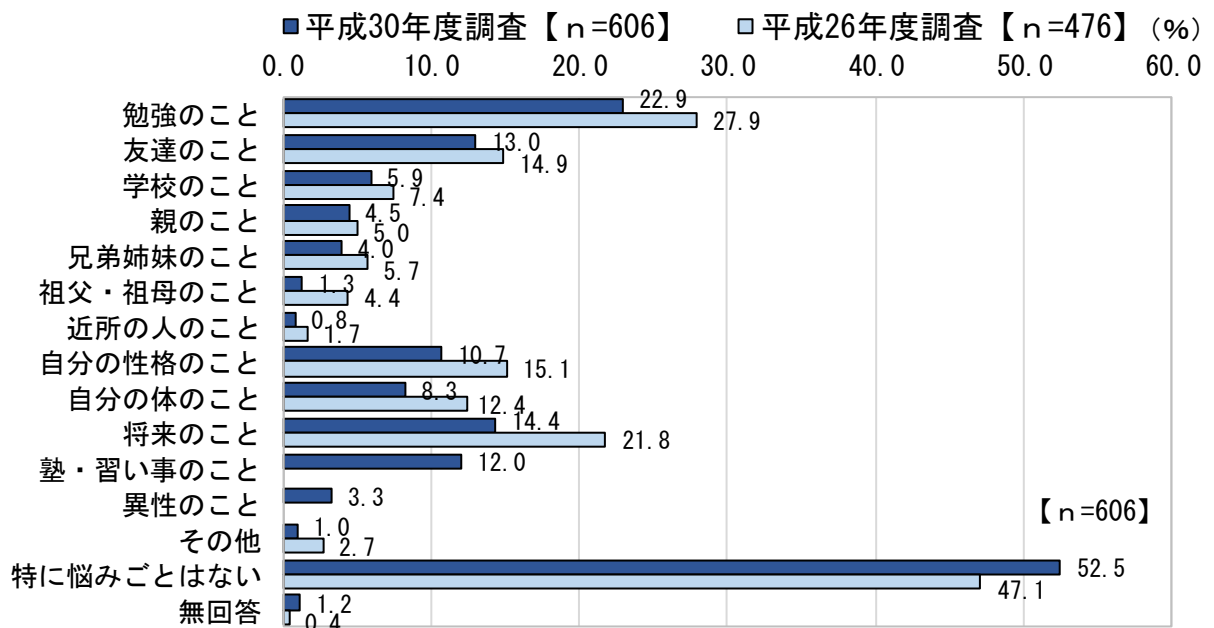
家の手伝い内容について、「食事の準備」が最も多く61.6%、次いで「風呂の準備」が41.7%、「食事のあとかたづけ」が54.1%と続いています。また、平成26年度調査結果と比較すると、「食事の準備」が1.1ポイント増、「風呂の準備」が4.1ポイント減、「食事のあとかたづけ」が6.8ポイント増となっています。



問6 あなたは、最近どのような悩みをもっていますか。

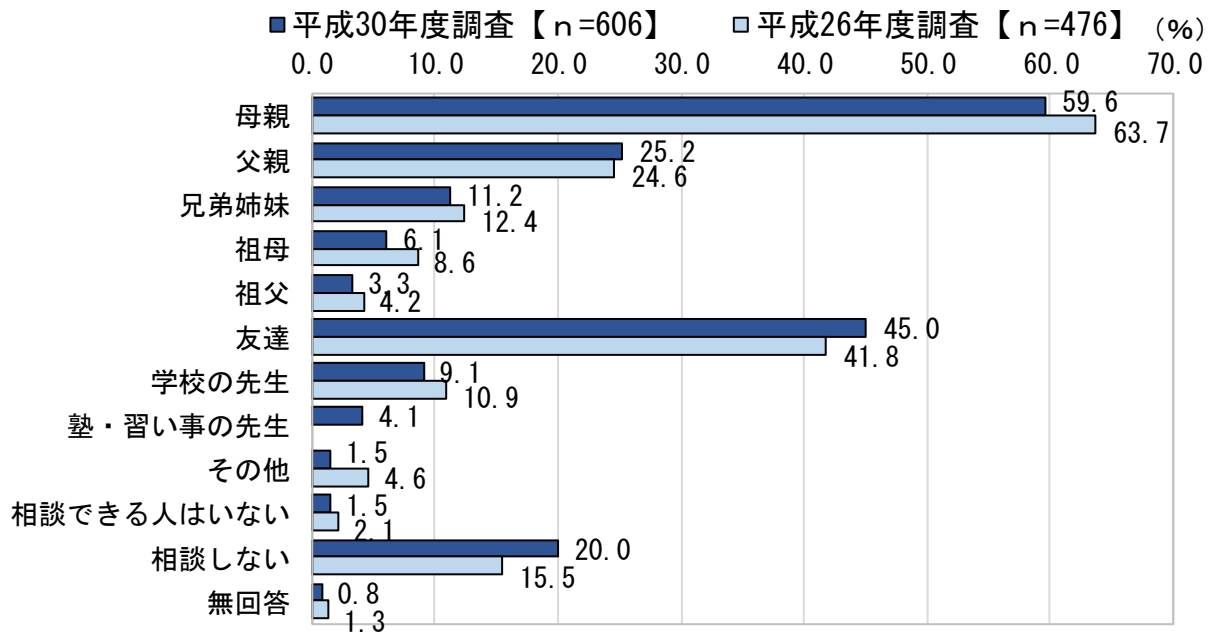
○はいくつでも

最近の悩みについて、「特に悩みごとはない」が最も多く52.5%、次いで「勉強のこと」が22.9%、「将来のこと」が14.4%と続いています。また、平成26年度調査結果と比較すると、「特に悩みごとはない」が5.4ポイント増、「勉強のこと」が5.0ポイント減、「将来のこと」が7.4ポイント減となっています。



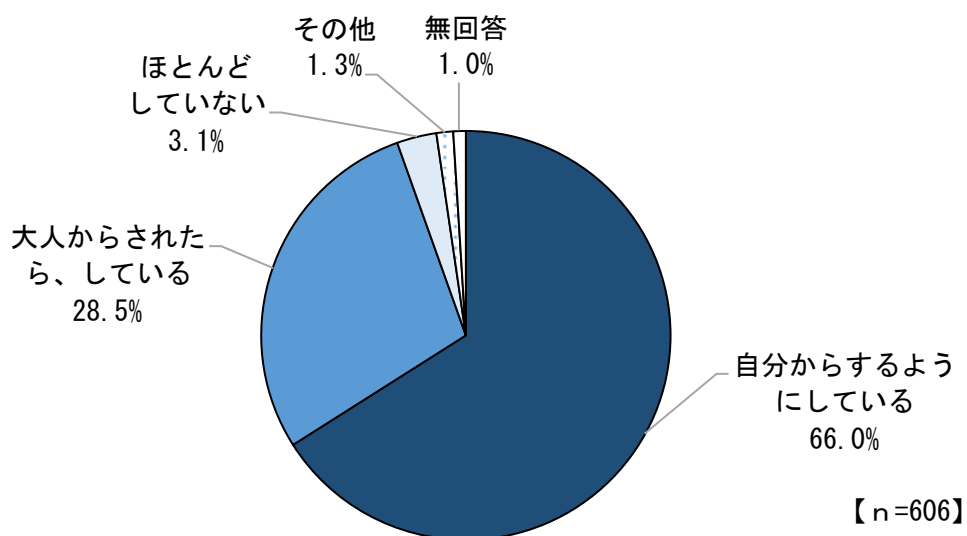
問7 あなたは、悩みがある場合、主にだれに相談しますか。 ○はいくつでも

主な悩みの相談相手について、「母親」が最も多く 59.6%、次いで「友達」が 45.0%、「父親」が 25.2%と続いています。また、平成 26 年度調査結果と比較すると、「母親」が 4.1 ポイント減、「友達」が 3.2 ポイント増、「父親」が 0.6 ポイント増となっています。



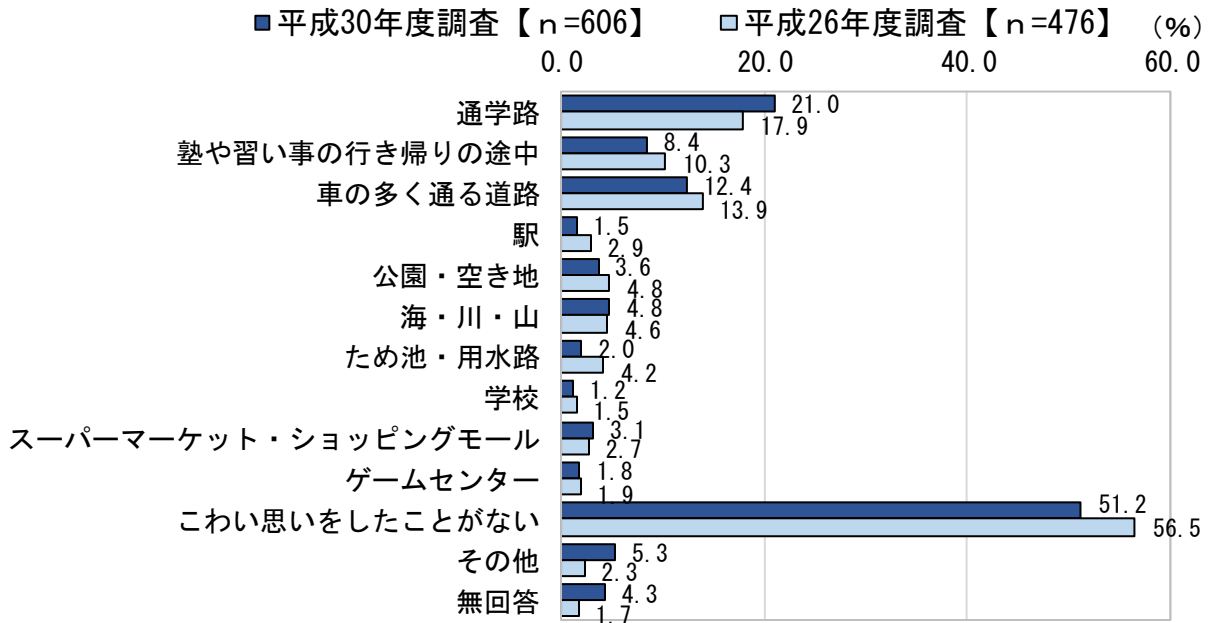
問8 あなたは、近所の大人の人たちと出会ったとき、あいさつをするように心がけていますか。 ○は1つ

近所の大人とのあいさつについて、「自分からするようになっている」が最も多く 66.0%、次いで「大人からされたら、している」が 28.5%、「ほとんどしていない」が 3.1%となっています。



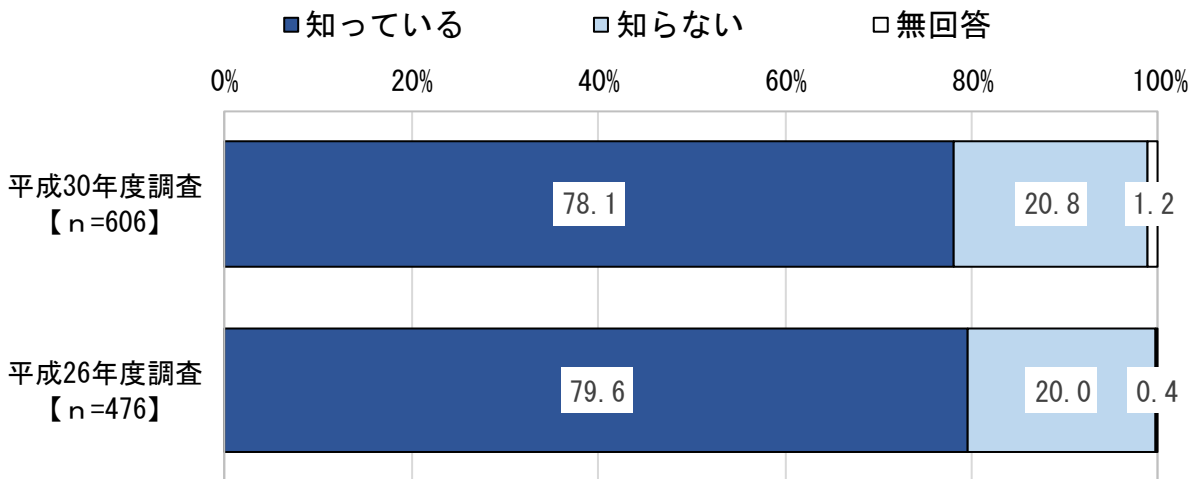
問9	あなたは、事故（交通事故や水の事故など）にあいそうになったり、不審な人物を見かけたりするなど、こわい思いをしたことがありますか。あった場合、それはどのような場所でしたか。	○はいくつでも
----	---	---------

事故や不審人物などの危険を感じたことのある場所について、「こわい思いをしたことがない」が最も多く51.2%、次いで「通学路」が21.0%、「車の多く通る道路」が12.4%と続いています。また、平成26年度調査結果と比較すると、「こわい思いをしたことがない」が5.3ポイント減、「通学路」が3.1ポイント増、「車の多く通る道路」が1.5ポイント減となっています。



問10	あなたは、近所の「きしゅう君の家」を知っていますか。	○は1つ
-----	----------------------------	------

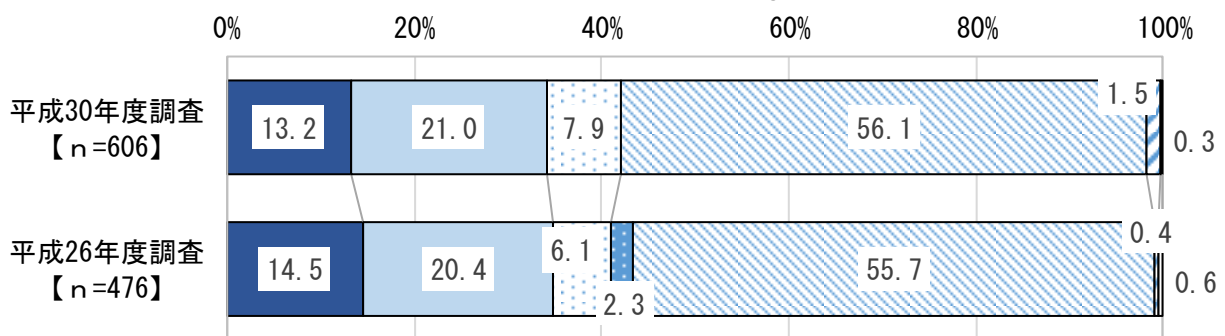
近所の「きしゅう君の家」の認知度について、「知っている」が78.1%、「知らない」が20.8%となっています。また、平成26年度調査結果と比較すると、「知っている」が1.5ポイント減、「知らない」が0.8ポイント増となっています。



問 11	あなたは、バスや電車、階段などで、高齢者の方や障害者の方に席をゆずったり、荷物を持つなどの行為をしたことがありますか。	○は1つ
------	---	------

高齢者や障害者に席を譲ったり、荷物を持った経験について、「そういう場面にあったことがない」が最も多く 56.1%、次いで「たまにしている」が 21.0%、「している」が 13.2%と続いています。また、平成 26 年度調査結果と比較すると、「そういう場面にあったことがない」が 0.4 ポイント増、「たまにしている」が 0.6 ポイント増、「している」が 1.3 ポイント減となっています。

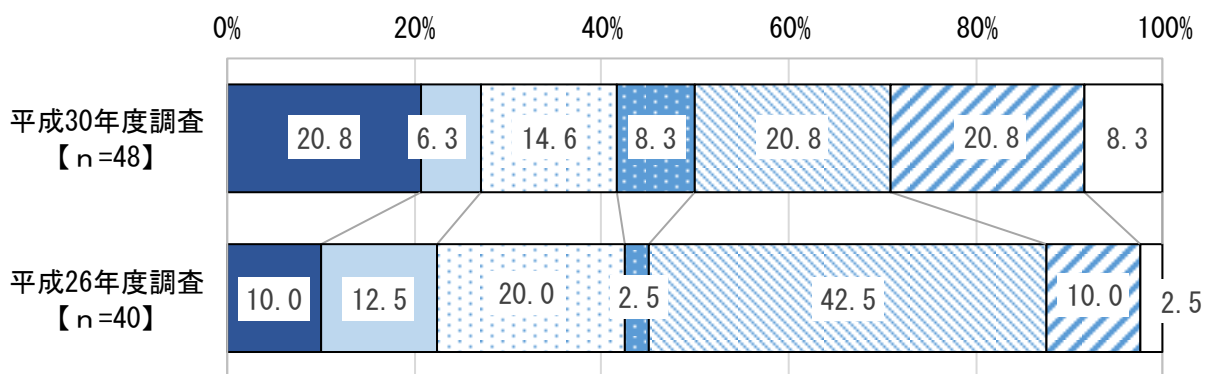
■している □たまにしている □していない ■しない □そういう場面にあったことがない □その他 □無回答



問 12	(問 11 で「していない」を選んだ方にお聞きします。) その理由は何ですか。	○は1つ
------	---	------

高齢者や障害者に席を譲ったり、荷物を持った経験をしていない人に、その理由について聞いたところ、「はずかしいから」「どのようにしてよいかわからないから」「その他」が最も多く 20.8%、次いで「特に理由はない」が 14.6%、「おせっかいになるような気がするから」が 8.3%と続いています。また、平成 26 年度調査結果と比較すると、「はずかしいから」が 10.8 ポイント増、「どのようにしてよいかわからないから」が 21.7 ポイント減となっています。

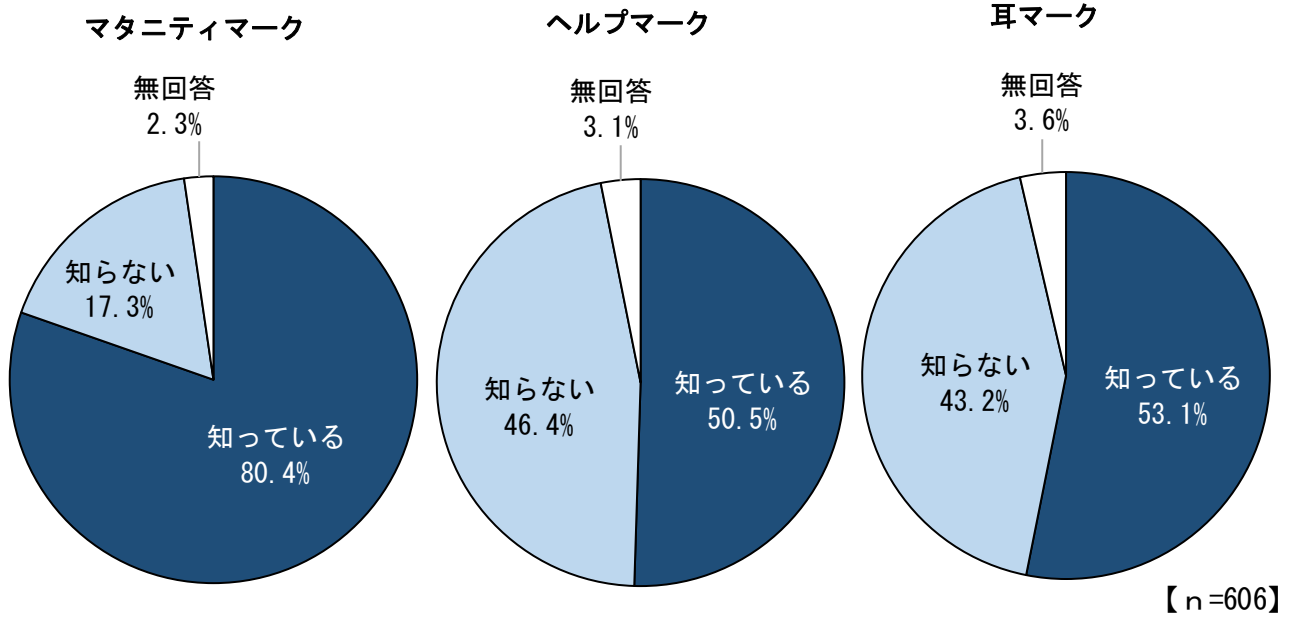
■はずかしいから □面倒だから □特に理由はない ■おせっかいになるような気がするから □どのようにしてよいかわからないから □その他 □無回答



問 13 あなたは、以下のマークを知っていますか。

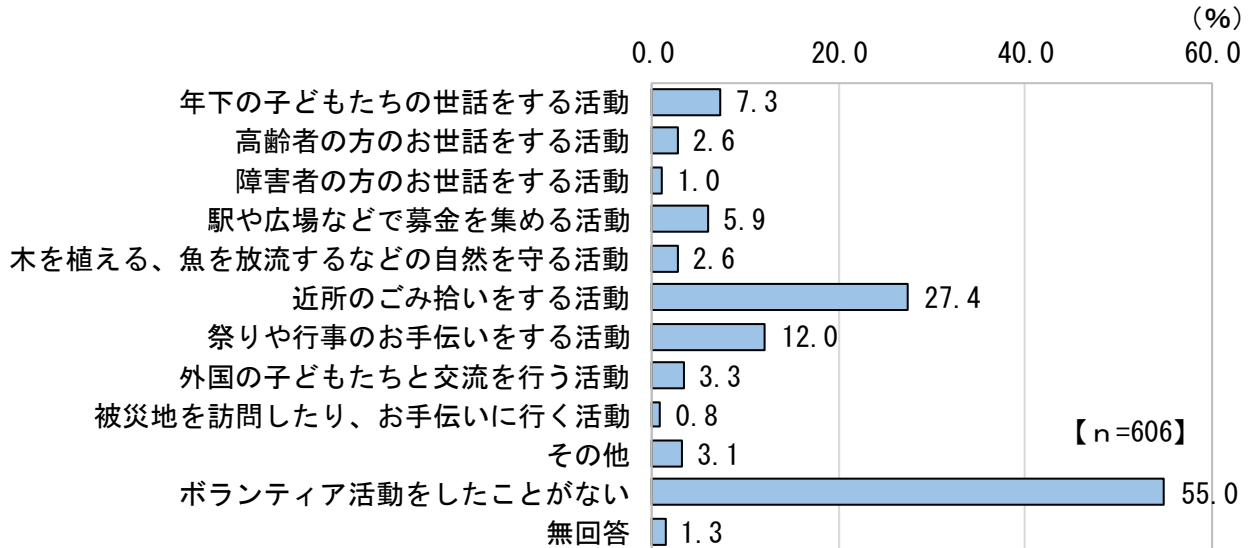
○は1つ

マタニティマークの認知度「知っている」が80.4%、ヘルプマークの認知度「知っている」が50.5%、耳マークの認知度「知っている」が53.1%となっています。



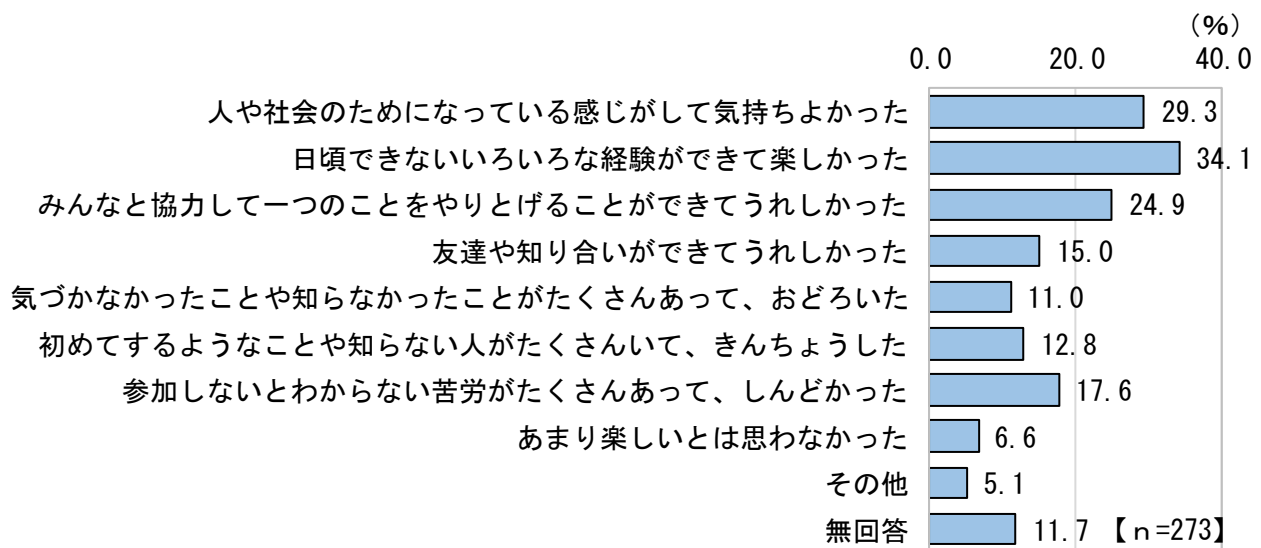
問 14 あなたは、どのようなボランティア活動をしたことがありますか。 ○はいくつでも

ボランティア活動への参加について、「ボランティア活動をしたことがない」が最も多く 55.0%、次いで「近所のごみ拾いをする活動」が 27.4%、「祭りや行事のお手伝いをする活動」が 12.0%と続いています。



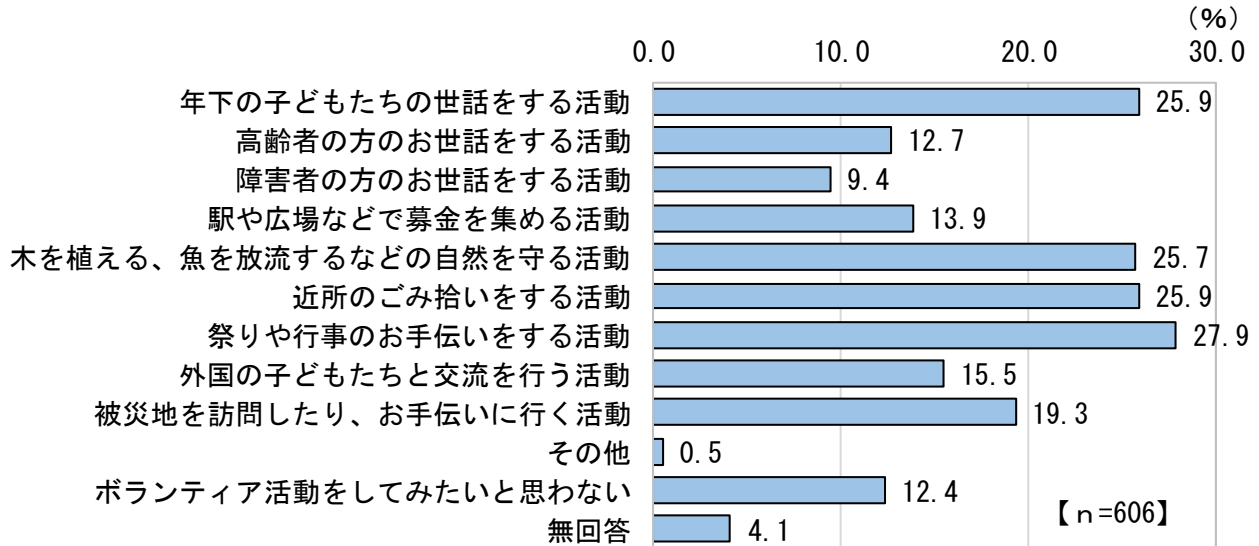
問 15 (問 14「ボランティア活動をしたことがない」以外を選んだ方にお聞きします。) ボランティア活動をしたとき、どんな気持ちになりましたか。 ○はいくつでも

ボランティア活動をしたことがある人に、ボランティア活動をしたとき、どんな気持ちになったかについて聞いたところ、「日頃できないいろいろな経験ができて楽しかった」が最も多く 34.1%、次いで「人や社会のためになっている感じがして気持ちよかった」が 29.3%、「みんなと協力して一つのことをやりとげることができてうれしかった」が 24.9%と続いています。



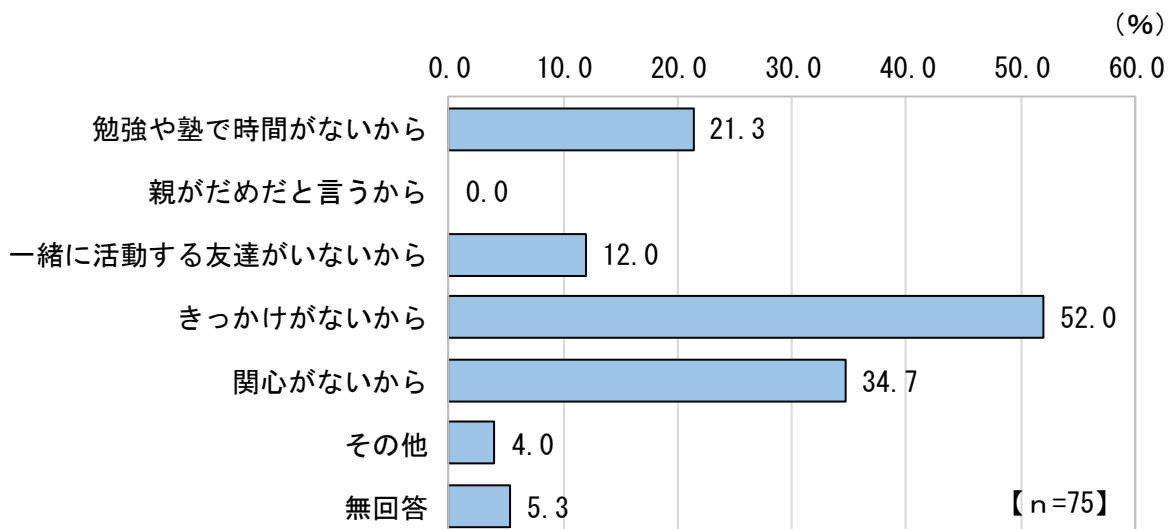
問 16 あなたは、今後どのようなボランティア活動をしてみたいですか。 ○はいくつでも

参加してみたいボランティア活動について、「祭りや行事のお手伝いをする活動」が最も多く 27.9%、次いで「年下の子どもたちの世話をする活動」「近所のごみ拾いをする活動」が 25.9%、「木を植える、魚を放流するなどの自然を守る活動」が 25.7%と続いています。



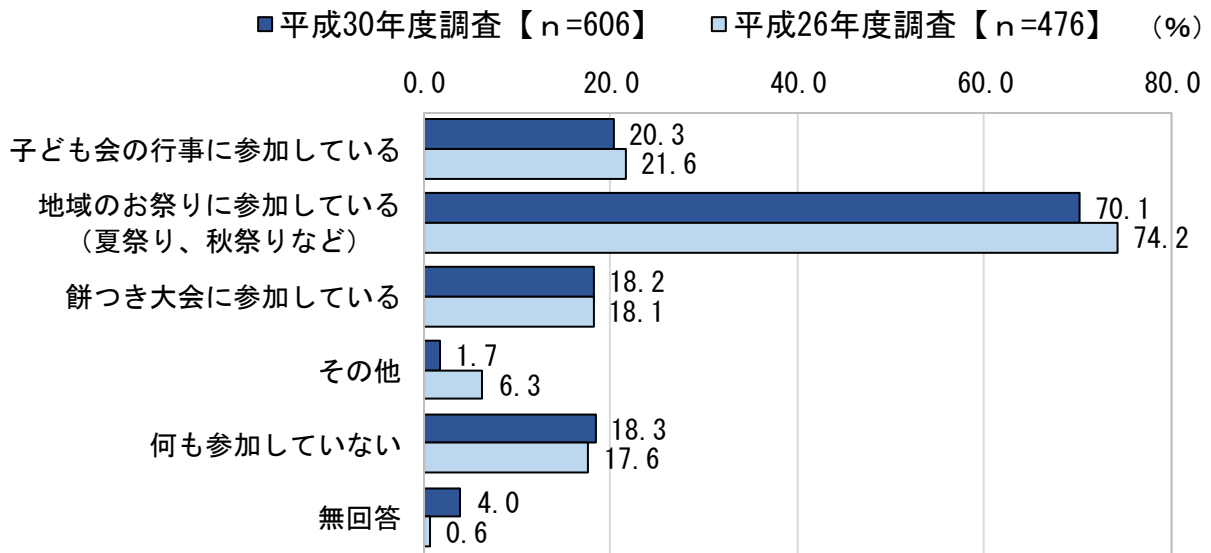
問 17 (問 16 で「ボランティア活動をしてみたいと思わない」を選んだ方にお聞きします。) その理由は何ですか。 ○はいくつでも

ボランティア活動をしてみたいと思わない人に、その理由について聞いたところ、「きっかけがないから」が最も多く 52.0%、次いで「関心がないから」が 34.7%、「勉強や塾で時間がないから」が 21.3%と続いています。



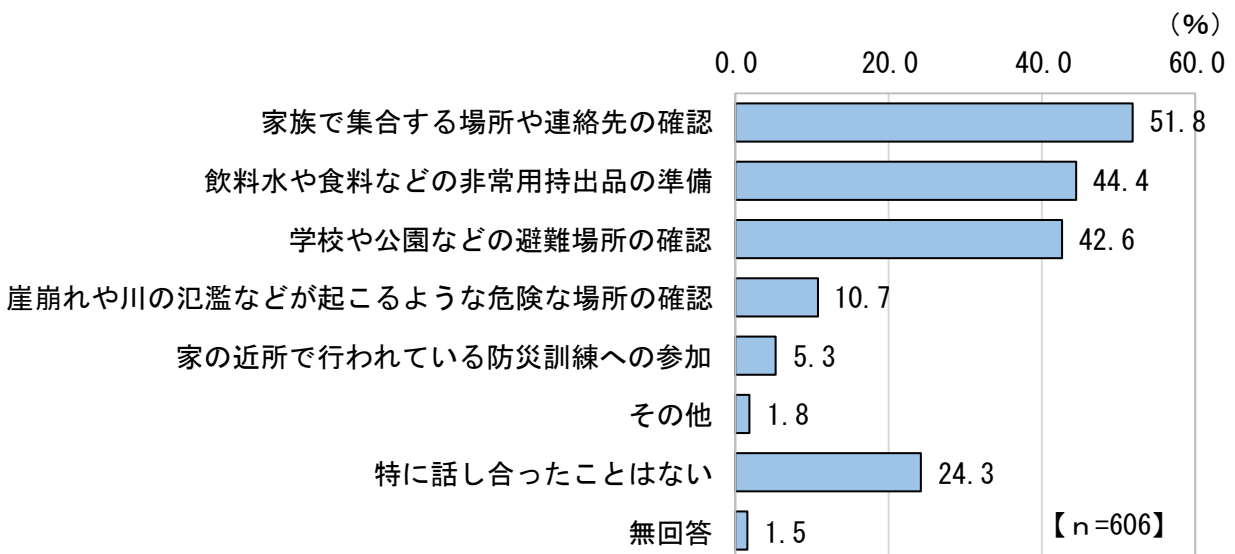
問 18 地域での子ども会やお祭りなどの行事に参加していますか。 ○はいくつでも

地域での子ども会やお祭りなどの行事への参加について、「地域のお祭りに参加している（夏祭り、秋祭りなど）」が最も多く 70.1%、次いで「子ども会の行事に参加している」が 20.3%、「何も参加していない」が 18.3%と続いています。また、平成 26 年度調査結果と比較すると、地域のお祭りに参加している（夏祭り、秋祭りなど）」が 4.1 ポイント減、「子ども会の行事に参加している」1.3 ポイント減、「何も参加していない」が 0.7 ポイント増となっています。



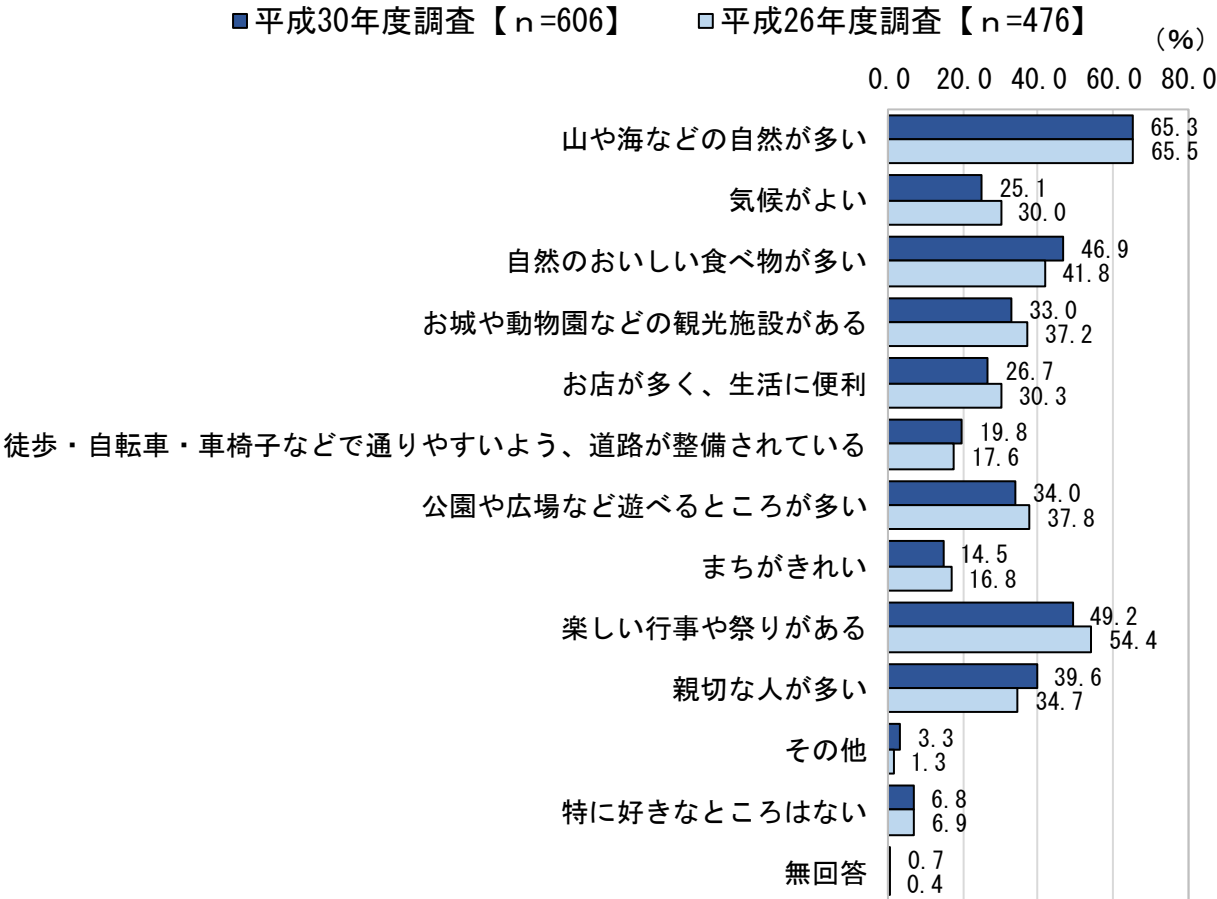
問 19 あなたは、防災について、家族で話し合ったことはありますか。あった場合、どのような内容ですか。 ○はいくつでも

防災についての家族との話し合いについて、「家族で集合する場所や連絡先の確認」が最も多く 51.8%、次いで「飲料水や食料などの非常用持出品の準備」が 44.4%、「学校や公園などの避難場所の確認」が 42.6%と続いています。



問 20 あなたは、和歌山市のどのようなところが好きですか。 ○はいくつでも

和歌山市の好きなところについて、「山や海などの自然が多い」が最も多く 65.3%、次いで「楽しい行事や祭りがある」が 49.2%、「自然のおいしい食べ物が多い」が 46.9%と続いています。また、平成 26 年度調査結果と比較すると、「山や海などの自然が多い」が 0.2 ポイント減、「楽しい行事や祭りがある」が 5.2 ポイント減、「自然のおいしい食べ物が多い」が 5.1 ポイント増となっています。



問 21 あなたの住んでいる地域のすべての人が、今よりもっと幸せに生活するためには、これからどんなことをしていってほしいと思いますか。あなたの考えを自由に書いてください。

性別：男

No	内容
1	不自由そうな年よりや小さい子を見つけたらどうしたんですか？やどうしたの？などと声をかけてみんなで助けあうことのできる町にしていってほしいと思います。そのために自分たちで助け合うことのできる町にしようなどの名前でポスターなどをつくり、それをいろんな人がきているところにはっておけば少しでも助けようとする気持ちをもつ人がふえるんじゃないかなと思います。ポスター以外もいろいろあると思うのでそこらへんを考えてよりよい町にしたいなと思います。
2	お年寄りに優しい町にしたらいと思う
3	みんながボランティアが参加するようにする。

4	ボランティア活動に子どもが参加し大人と交流を深める。
5	道にごみをすてないきれいな地域。
6	色々な人がボランティアにさんかして町をきれいにしたしてかんきょうがよい町作りをして今よりもっと楽しい行事を行ったりして外国の人や日本各地の人に楽しいことできてもらえるような町にしたらいいと思う。そして高れい者やしょう害者などとすごく楽しいことで色々な人ところりゅうして日本で一番たのしい県にしたいです。
7	ごみを少なくし道路を美化していくともっと和歌山市が幸せ（かがやいているような）市内になるし、和歌山のしょうきゃくろをあまひつかわずいけるから。さらに世界で言うと地球温だん化を少なくすることもできるからですから美化をすすめていきたい。
8	自分には、よくわからないけれどきんじょとかの人たちが仲良くしたらいいと思います。理由は、そうしたらケンカ、いいあいなどがなくなると思うからです。
9	もっと行事を増やしたい
10	もっとげんきよくあいさつをしたり、こまっている人てつだったりしたらいいと思う
11	公園の木など川を整理する。ゴミなど多いからそうじする。
12	あいさつをしたらよいと思う。
13	もっとしぜんをふやす。
14	地域の行事にせっきよくてきに参加する。
15	高齢化が進んでいて、介護しせつ等を増やし、「高齢者手帳」のようなものを作り、日々の生活から三食や体温などを書くようなものがあると便利になると思う。
16	被災した時にみんなで協力する。
17	人と人がだけの会
18	道とかにゴミがおちているからきれいにしたほうがいいと思う。
19	ゴミをゴミ箱にすてる
20	こまったひとをみつけたらすぐに助けてあげる。自分でなにかしようと思う。
21	まちをきれいにしたらよいと思う。
22	かかわりあってくこと
23	毎月、定期的に地域でゴミ拾いをする。自分からあいさつをする。
24	自分が親切にしたら幸せにくらせると思う。祭りや行事をもっとふやして交流したらいいと思う。
25	かんこう地をふやして子どももあそぶ所をつくってたのしくしたらいいと思う。イベントをふやす。
26	子どもたちのために、バスケットゴール(あみのやつ)などの遊び道具をつけたり、川や海、山などの自然をこわさないこと。
27	もう少しみんなで遊べるところを多くつくってほしい。もう少し山のほうが暗いのももう少しあかるくしたい
28	ボランティア活動や町をきれいにするところがありました。
29	コンビニ等の店を出したほうがいい

30	公園をふやしてほしい
31	まちのごみをきれいにしたい。こうえんなどをふやしてほしい。あと、かんたんに犬やねこなどをころさないでほしい。しょうがないと思って、ころさないでほしい。もちろん、人もおなじです。心からのおねがいです。
32	みんながあつまれる場を作ってほしい（たとえばショッピングモール）
33	悪口やぼうげんを言うのをなくしてほしいとかそのべ公園にアスレチックやへやを作ってほしい（すずしい）（クーラーついでる）学校に3がいを作ってゲームセンターを作ってほしい
34	もっとボランティアかつどうをする。ルールなどを守る。
35	もうちょっと観光する所をふやしてほしい。
36	もっと警官を置いたらいいと思う。理由信号むしやシートベルトをしていなかったりスマホをしながらうんてんしている人をよく見かけるから。
37	タクシーをもっとふやして、高れい者の人たちを助けてあげる。宙にうけるようにする。
38	車をつかう人をへらしてじこをなくす。
39	このままでいい。
40	観光地を増やす。
41	このままでいいと思う。
42	悪いことをする人を少なくしたり、ゴミをポイすてする人がいなくなったり、かんきょうに良いことと、事故をへらしたりする。ゴミひろいや安全運転する人を増やす。みんなが協力できるようにする。
43	道がきたないのでもっときれいにしてほしいです！もっと行事やお祭りなので増して楽しくすごしたい。
44	高れい者の方々や、障害を持っている人、体の不自由な人でもすごしやすいような活動を多くすること。
45	もっと道をきれいにしてほしい。
46	徒歩や自転車をもっと走りやすいように道を整備したほうがいいと思いました。わけは、ぼくが通る通学路がポロポロでガタガタで、歩く人の道が小さく、とても歩きにくいし、友達の家に行くときに、自転車で行くときに道がガタガタして、走りにくいし、道が小さく、ガードレールもないので、車にぶつかりそうになったことも少なくはないからです。この意見を読んで少しでも道が整備してくれるとぼくはとてもうれしいです。
47	ゴミのポイすてをしないでゴミ箱にちゃんとすてる。募金活動をしていれば募金をする。
48	殺人をやめてほしい。
49	今のまがが一番平和
50	みんながボランティアや、募金を集めたりすると、今よりももっと幸せになったり豊かな生活をおくれるし、不自由をしらせるマークを使ったり、はい気ガスがすくない、ハイブリッドカーや、はい気ガスが出ない電気自動車を多くするといいと思います。
51	川などへぼいすてをやめて川などをきれいにする、あいさつをする。
52	道ばたに木を植えたりして自然を増やしていくと良いと思います。江戸時代の人や、植物の下などですずんでいたといひます。こんな風に、自然が身近な場所にあれば、心もなごむし、エアコ

	ンなどよりも気持ちよく感じると思います。もっと自然の事を考えるようにすれば、私たちのくらしも変わるんじゃないでしょうか。
53	今よりももっといい環境や自然を増やしていきと思いました。
54	まず、人と人が心をよせあえるよう、幸に、できるよう、自がなにお、どうやったら、人が幸になるかを考て、こうどうをすれば、どう、取ってくれるかをかんがえる。
55	地域の人がボランティアかつどうに参加したらいいと思いました。
56	木をうえたりして自然を増やして守っていくと自然あふれてよい町になると思います
57	楽しいことをぞんぶんにすること。やりたいことをすること。みんなにやさしく接すること。
58	たばこやカンのぼいすては、やめたほうがいい
59	地域のたばこのはいがらや道におちているカンなどのごみそうじをしていったらよいと思います。
60	助け合ったりしたらいいと思います。
61	みんながあいさつをして楽しく暮らし、地いきの活動にも参加して、知り合いを増やして、もし悪い人などにつかまっても、知り合いがいると、助けてくれるかもしれないので、そんな笑顔がいっぱいの町にすると、今よりも、もっと幸せにくらせると思います。ぼくは、そう、努力します。
62	虫をふやす
63	こまっている人がいたらせっきょくてきに助けていけばよりよい生活になると思います。
64	ごみが少し多い様な気がするので自分で工夫してリサイクルなどの1人1人が大切にしていくと幸せに生活できると思う。
65	電車の席をゆずるなど、障害者や高齢者に優しくし、みんなで楽しく生活できればよいと思う。自然を大切にし、車や水、火などの事故をできるだけ減らす事ができればいいと思う。そのためにはみんなが、普段から心がける事が必要だと思う。地域の交流を大切にし、自分の町をよりよくすれば、みんなが楽しく過ごせると思う。
66	犬のフンをひろう。みんないっしょでする。公園をきれいにする。
67	みんなで町をきれいにする。
68	みんないっしょにいること
69	みんなの事を考える
70	みんながボランティア活動などにもっと積極的に参加する。
71	タバコや犬のフンなどをほったらかしにせず、もっと環境を良くしたらいい。
72	さいがいのときにみんなできょうりよくすれば生活がしやすくなるとおもいました。
73	事故を減らしてほしい。
74	この辺に、ゲームセンターがほしい。
75	どぶとかの、落ちやすい所を、なるべく、落ちにくく、さくとか、どぶの上をあみでふさぐなどして、落ちるようなことをなくしたい。
76	犬のふんを持ちかえる事などのマナーを大切にしていける事が必要。あいさつはしっかりとて地域の活動にもすすんでやっていく事も必要だと思う。
77	みんながルールを守る。

78	今のままだが一番幸せだ。
79	エコを一人一人心がけていくことが、いいと思った。
80	みんな一人一人自分からあいさつをする。そうしたら自分たちが笑顔になって住みやすくなるそんな所にしたい。
81	元気でいたらいい
82	道に落ちているゴミを拾う。
83	ポイすてなど、かんきょうをよごさないようにする。
84	みんないっしょにいること
85	地域での行事などもっと増やして、みんながせっきょく的に取り組めそうなことをすすんで行う。
86	祭り等を増やし、顔見知りを増やす。
87	近所の人との交流を深めればいいかな。
88	みんなが笑顔でせつし今のような幸せな生活がいい
89	ゴミを減すと幸せになれると思う。
90	もう少し行事を増やす。
91	らくがきをしたいことそしてゴミを捨てないこと
92	しょうがい者向けのせつをたくさん作ればいい。
93	もっと大きなお祭りを開く
94	アレルギーで、ものを食べれない人がいるので、同じあじでアレルギーしょうじょうが出ない食べものをつくったりしたり、あじのせつめいをする。(アレルギーの人に)
95	みんなそれぞれがエコして生活を、らくにしていこう。
96	地域の人とのこうりゅう
97	おじいさんやおばあさんのやくにたつことをしたらいいと思う。
98	地域のごみ広いをする。
99	バスなどで年よりの人などに席をゆずってあげたりしたい。
100	町をそうしたらいいと思う。
101	道路をほそうしたり、和歌山のみりよくをふやし、全体的にビルなどをたてる。
102	もっと行事を増やしたらいいと思う(祭りなど)。平和な暮らしをつづける。
103	学校や道路などの改良、停電時や断水時の対応を早くすること。治安を良くしたり、犯罪をできるだけ減少させる。経済面での和歌山県全体の成長をすることぐらいですかね。
104	もっとしあわせにするには、きんじょやいろいろの人にはなしたりすることですわけはもしもなんかいとらふきよだいじしんがきたとき、いろいろの人がたすけあいながらやるとぎせい者がすくないと思ったからです。
105	あいさつをしたり、まつりの回数を増す。地域の人とはばひろく交流する。外国の人と協力する
106	和歌山市には公園が少なかったり、公共の施設が少ないのもっと増やしていきたいと思う。地域の人との交流がこれによって増えたらいいと思いました
107	GWなどの日曜日などに防災フェスティバルみたいなのをやったらいいと思う

108	ポイステをしない。ちゃんとゴミのひにもっていく。わるいことをしないようにちゅういする。
109	道路のわきにある木を増やして緑を豊かにする。高いビルをあまり建てないようにしてほしい。バリアフリーの施設を増やしてほしい。
110	みんながみんな笑顔になっていつも楽しい暮らしをするのがよいと思います
111	空き地や空き家を公園などの子供の遊べる場所にしていくこと
112	みんな親切に犯罪のない世の中きしゅう君の家をもっとふやす。ポイ捨てなどをしない。きしゅう君の家やのにだれもいてないのにきしゅう君家がまぎらわしいから、とってほしい。
113	ぼくが住んでいる高松では細い道が多いから、大きな道を作りたい
114	差別をなくしていじめもなくすこと。
115	もっとビルなどをたくさんたてて、都会風にして、もっとスーパーなどもふやしていきたい。わけは、ビルが多くなると、きぎょうなどが増えて金もうけができるから。
116	ポイすてなど、そういう環境に悪くすることなどをなくす。
117	防災意識を高め災害で亡くなったりするかたがいないように防災バックなどをつくれればよい
118	公園や広場をもう少し作ってもらって自分たちが家でゲームをするだけではなくもっと外で遊べる風にしたい。自分からあいさつをしたり、親切心をもって、相手に毎日のように接することが必要であると思います。
119	あいさつをそっせんして行うといいと思います。
120	ゴミひろいをする。わけは、今でもたくさんのゴミがあるから。道ばたにおちているゴミなどを拾うと少しでも、ゴミを減らせる事ができ、空気をよくすることができるから。
121	ごみひろいをしてきれいな町にしたいです。
122	ゴミひろい。災害がおきても、ふじゆうのない便利な地いきになったらよいと思う人々が、みんなのためにやれる仕事があればいい。
123	ガードレールを作る高松とゆうところはあまりガードレールがないから
124	地域や市が計画したり準備する祭りを多くする。市が計画すると規模が大きいたくさんの人が集まれる祭りになると思う。また、地域の人たちが準備することで、協力する大切さや名前をおぼえられ、仲良く暮らせると思うから。そうすることで、次の祭りも地域の人たちが協力し、よりよい祭りにしようとする気持ちがうまれ、地域に活気があふれると思う。
125	自分は、まずゴミをだすりょうをひくくしたらたいへんなきもちがやわらかくなるとおもいます。
126	・車のガソリンの値段を下げしてほしい。
127	小さい子から高れい者までたのしめるしせつ(交流ができるところ)。いろいろな人がどんな人に対しても笑顔であいさつをする。地いき全員でのイベントなど
128	一人一人の人がおたがいが困ったときには、助け合い、常に「あいさつ」などのコミュニケーションをとるように志がけるといいと思います。そうすることできんじょ(地域)の人たちで支え合って生きていけるので幸せだと思います。
129	いろんなお手伝いをする
130	100円ショップを増やして行事を増やしたらいいと思う。自ぜんを大切に。
131	和歌山市の清そう活動を増やしたりしてよりいっそうきれいにしたらいいと思う。あまり風がな

	いときに暴風けいほうがはつれいされてびっくりしたからもうすこし気象に関することもしっかり確認したほうが良いと思う。ほうそうがこだましてきこえにくいのでそこを工夫したほうが良いと思う。
132	ごみ拾いや清そう活動、地域の人たちがきもちよくなれるボランティアをしていきたい。
133	点字ブロックを増やすなどして、障害者でも安全に生活できるようにする。
134	ぼくは祭りがすきだから、祭りをもっとふやしてほしい
135	川をきれいに
136	目の不自由な人車いすに乗っている人もくらしやすいように道路を整備したりかいだんの横に、スロープをつけたり、子どものボール遊びが制限されている所が多いので近くにボール遊びが可能な公園などを作ってほしい。
137	川にごみがいっぱいあるからそのごみをそうじしたら川は、きれいになるからいいと思う
138	地域にはゴミ捨て犬ねこ殺処分になる動物にふくめてないように協力しあったら幸せになると思いました。
139	川がきたないから、もっときれいにした方がいいと思う。ホテルとか、きれいな所にすむ魚たちがすめる川にしたい。
140	きょうりよくしてBBQ や小さな大会をひらくとおもしろくなってみんなたのしめる
141	自然をふやせばいいと思う
142	ボランティアに参加してゴミのないきれいな町にしたらいいと思います
143	介護し設の増加や、子供の遊び場のかくほ、町での防災活動、地域交流の場の増加などを積極的に行い、町の人々に町の行事へ興味をもってもらうことで、楽しくて幸せになれる市や県になっていくと思います。
144	福祉をもっと強化して、安心してくらせるような、和歌山にする。
145	もっと、川をきれいにしたり、森を増やせばいいと思う。
146	ゴミをすてたりしない。
147	しぜんをもっとたいせつにする。
148	もっと今の社会にとけめるようなかんじでやっていたらいいと思います。(ネットか)
149	それぞれの地区や団体で1ヵ月に一回ぐらい高齢者や子ども達、大人でいっしょに歌を歌ったり折り紙やレクリエーションで遊んだり、交流をする機会を増やしたらよいいと思います。
150	災害などに備えて、きちんと話し合ったり、計画をたてておくことで、それほど災害に気を張らず生活することができるし、多くの人と交流できたりする地域の祭りを2ヵ月に一回ぐらいに増やして、楽しみがより増えるようにしたりと、安心した幸せな生活をおくれるためのことをどんどんしていったらいいと思う。
151	信号無視が多い。川や用水路がすごく汚い。自転車スマホまたは歩きスマホが多すぎる。用水路にふたをしたほうがいい。道が汚い。
152	遊べる所を多くする。夏休みを前の長さにもどす。
153	遊べる所を多くする。ほうりつをもう少しきびしくする。
154	こうつうルールを守ってきそく正しい生活をする。
155	公園を多くしてほしい。夏休みの日数を多くしてほしい。

156	もっと楽しい地域のお祭りを増やしていくこと。
157	病院をもっと整備し、道路も整備する、不審者の取り締まりを強化する、交通標識をもっと分かりやすくする、地域の人交流する機会をもっと増やす。
158	公園を増やして子どもが遊べる所を増やす
159	夏休みを長くしてほしい。公園ふやしてほしい。
160	不審者が出てもすぐにつかまえるように、警察を強化する。そうでなければ、一昨年の発砲事件のように、容疑者が自殺するような事が起きないようにしないと、町の人々が不安になって、安心して暮らせない。ある程度大きな公園をいっぱい建てる。
161	みんなあいさつをしたらいいと思う。森林をできるだけばっさいしない。
162	夜に、ねている時、クルマやバイクの音がうるさいので、うるさくしたら、ばっきんせいにする。
163	たくさんある空き地や空き家をうまく使えるようにする。税金の使い方を見直して、いい使い方をする。全国から観光客に来てもらえるように観光スポットをつくったり、きれいにしたり、PRしたりする。そして、人口を増やしてみんなが楽しく生活できるようにしたらいいと思う。
164	楽しく観光できるようにアスレチック温泉などを増して、和歌山市を盛りあげる。あき地をりょうして、公園などを作る。テレビなどのこくこ読売テレビなどで、流して、和歌山市のよいところを自まんする。頭のいい学校や中学校高校などを増す。
165	みんな新せつになってごみを拾うと言うボランティア活動や色いろな、ボラティア活動や飲食店で英語がしゃべれる人をやとってほんやくしたりすると、外国人も安しんして来ることができるから、またいろんな国から来てもらうために、その国のしゅうきょうのしせつをつくったりしたらいい
166	観光に力を入れて、新しい店を増やして、そこで和歌山の特産物を売って、PRすればいいと思う。和歌山に新しい航空を作って外国人にも来てもらえるようにする。空き地を利用して公園を作ったり、和歌山市が発展するような店をたくさん作ればいいと思う。新しいテーマパークを作ったり、有名な温泉を作る。テレビで有名な場所を映してもらったり、それができるようにする。
167	行事を、もっと多くしていきたい。仕事場を、もっと多くして、店も多くしたらいい。空き地を使って、便利な店や、駅を使ったらいい。空き家があったら、つぶして、便利な、建物や楽しい建物を作ればいいと思う。そしてロイヤルホテルを、いっぱい作ればいいと思う。ビックカメラも作ればいいと思う。駅前に、店をいっぱい作ったり、商店街も、いろいろ、行事をすればいい。
168	デパートなどをつくる。新しい仕事場所をつくる。駅や空港などを作ればいいと思う。つくるお金がなくても、ラジオなどでぼ金活動をしていますなどの事を全国放送すれば、すぐお金が集まると思う。駅や空港は人が多く集まるので、また、お金がたまるので、そのたまったお金で、デパート、仕事場などを増やせばいいと思う。あと、外国などの交流を増やせばいいと思う。
169	はん罪をしない。近所どうして助け合いをする。駅を造って移動を便利にする。はたらくところをふやして人を集める。子ども達が体を動して遊べる場所をつくる。
170	すごく大きい空港を造る。すると、外国人の観光客が増えると同時に、和歌山県がさかえる。もちろん空港だけでは人はこないの、観光スポットをいっぱい作る。つまり、観光に力を入れるということ。他にも、山の上にカフェを作ったり、サイクリングコースや、ロードバイク用のしせつを造れば、自転車好きの人も来るし海にも力を入れ、キレイにすると、サーファーもくると

	思う。すると、みるみる和歌山市はさかえ、楽しいキレイで幸せなところになると思う。
171	外であそばなくなっているから公えんをつくる
172	あきちをかつようして町の人がよろこぶところをつくり町の人とのこうりゅうをする。
173	空き地を活用して、いろんなことをできるようにしたり、公園や仕事などを、いっぱい増やす。人を呼びよせれるものをかい発する。今の和歌山は、すごい会社などが無いのでゲームの会社をつくったりするだけで発展するのではないかと思う。こんな田なかにそんなすごいものができたらすごいと思った。それに、仕事もいっぱいできて仕事も増えるし、大会などを開けば、国中から人も呼びよせられるからだ。ぜひ、和歌山にもそんなものができてほしいなと思った。
174	もっと駅をつくり、電車を多くする。和歌山市の山の一部をくずして大きな空港をつくれればいいと思う。関空が使えない時にやくに立つ。テーマパークを作る。大きな会社をつくる。ポイすてやふほうとうきをしたらばっ金にする。
175	ゴミをひろう。空き地を使って大人も子どももたのしめるビルや遊園地などを造ったりゴミしよりじょなどを造ったり楽しくきれいな町にする。
176	大年川、土入川をもっとキレイにしてほしい。
177	山が多いから、車で山道をわたる時にガードレールがなかったり、道がせまかったり、道がくずれているところとかがあるから、なおせたらいいと思った。
178	たくさんの人が使えるような大きい公園を作るとよいと思う
179	障害者に声をかけてしんせつにしてあげる。川をきれいにしてほしい。
180	楽しくごはんを食べて、お金をふやして、電気をこまめにつかい、問題をかいけつしてもらえようような人がいい。
181	店などのバリアフリーをして、車いすの人なども生活しやすいようにする。
182	もっと行事を増やす
183	街にごみがあると拾う。もう少し子供の遊び場を作ってほしい。
184	障がい者が楽に利用できる施設を増やす
185	自然を増やす。ごみを拾う
186	道路の整備をして街を便利になるようにする。綺麗な街にする。
187	生活を楽にさせるロボットを作ればいい。
188	動くのがつらい時に手伝いをする。
189	遊具が多い公園とお花畑がほしい
190	大会やお祭りなどの機会を増やしたら幸せになれると思います
191	バリアフリー
192	道端にポイ捨てるのをやめたら町が綺麗になり、いまよりもっと幸せになると思います。
193	ごみ拾いをする
194	他の人に親切にする
195	助け合い
196	自動車などが通りやすいように道路をもっと整備したほうがいいと思う。ごみを減らして街をきれいにする。

197	街をきれいにする。堤防を作り街が安全なようにする
198	困っている人を見つけたら助ける。自然を増やす。
199	不審者が出た時の緊急メールが来る速さを早くする。飼い主のいない動物を減らす。台風の時、シャッターを閉める呼びかけをする
200	困っている人を助ける
201	眼や耳の不自由な人やお年寄りを助ける。支え合う。
202	ボランティア活動をしてきれいにする
203	どんな人にも挨拶をする。
204	挨拶をする。マークの意味を知る。募金をする
205	町おこしをする。
206	いろいろな人と話をしたり、交流を深めるべきだと思います。そうしたらこの市だけでもいろいろな人とのつながりを得ることができると思います。つながりを得ることで助け合いができるからです。
207	夫婦喧嘩など喧嘩をしない。人任せにしない。楽しいお祭りを増やす。
208	公園などにだべる場所を作ったり、コンビニなどの 24 時間営業のお店を作ったり、お祭りなどを多く開催してほしい。
209	今後ボランティア活動などがあれば参加したい。ボランティア活動をすれば交流が深まるし、周りの人も助かると思いました。
210	外灯をつけてほしい。コンビニやスーパーを増やしてほしい。地域の人たちが楽しめる公園を作ってほしい。
211	困ってる人が居たら助けるボランティア活動をしたい。自然を大切にする。
212	まず自分からボランティア活動をするべきだと思います。思いやりを持つ。
213	皆がポイ捨てをしない。困っている人を見たら声をかける。危険なことをしている人が居たら注意をする。時間がある時はボランティア活動をする。
214	高齢者のために、近くのスーパーまで送ってあげるようなサービス。高齢者専用の買い物ができるところがあればいいと思う。マンションやスーパーに車いすを置く。みんなが参加できる行事をする。
215	街を綺麗にする。高齢者の人の話を聞いたりお手伝いをする。
216	いろんな設備を整えればいいと思います。バリアフリーにするといいと思います。災害ボランティアで被災地にもっとたくさんの方が助けに行けばいいと思います。
217	いじめをなくし、施設に入っている子供たちに欲しいものを買ってあげたり、地震が来て家がつぶれた人のための募金をしてあげたら地域に人たちが幸せになれると思う
218	もう一回災害で逃げるところを確認したほうがいいと思う。和歌山は地震や津波で逃げ遅れて亡くなる方の数が上位だからです。全国でいまだに行方不明者が何人もいることから、早めに災害時に逃げる場所を確認していったらいいと思う。
219	体の不自由な人や病気の人をみかけたら道案内をしたりして、交通事故や体に関するけがを減らしたり、不審者を見かけたらすぐに通報するなどして街の人たちに知ってもらおう。
220	和歌山市にもっと公園を増やしてほしいと思います。高齢者や目が耳が不自由な人のための道路

	を作ったらいいと思います。思いやりの心はとてもいいと思いますが、たまに挨拶を返してくれない人もいます。ですが和歌山市はとてもいいところと思っています。もっとボランティアの協力の声をかけてくれたらボランティア活動に興味がある人が出てきてくれるような気がします。
221	街の人たちがボランティア活動をしたり、不審者や犯罪をしている人を捕まえてくれたり、環境やエコをする活動をしたりすると有害なガスが発生したり、不審者や犯罪者を怖がらずに元気で不安がなくなり、今より幸せになれると思います。
222	綺麗な街にしたい
223	みんなの笑顔で活躍したい
224	公園を手入れしてほしい
225	電気が早く復旧するようにする。
226	税金を減らす
227	自然を増やす。
228	子どもを産んだ人に特産品などをあげて、子どもをたくさん産もうと思えるようにしたらいい。高齢者の事故を減らすために免許の返納の年齢を確定する。
229	もっといろんな人と一緒にできるボランティアを作って、参加したらいいと思う。
230	沢山の人が仲良くなれる地域の行事を作ってほしい。災害時の設備を増やしてほしい。
231	もっと花壇や植物を道路に増やしてきれいにしたり、観光できる場所を作ってほしい
232	街全体をきれいにしたい
233	子供から大人まで参加できるようなお祭りを増やしたらいいと思う
234	公園を増やしたり、広くしてほしい
235	お祭りや行事を増やすと街がにぎわいそう
236	若い人が高齢者を助けたらいいと思いました。高齢者の皆さんを元気にしてあげたい。
237	税金を減らす。暴力反対運動
238	仲良くする
239	高齢者や障害者のお世話をしあげる。和歌山市の為になるボランティア活動を増やす。
240	皆で協力しあうことでみんな幸せになると思う
241	小さい子から高齢者の人まで楽しむことができる祭りや行事を増やす
242	地域の人と関わり、地域の人と一緒に考えればいい
243	ボランティア活動に参加していく
244	障がい者も楽しめる施設を増やす。
245	挨拶をする。困っていたら助ける。
246	誰とでももっと助け合えばいいと思う。声掛けをする。
247	ごみ拾いをすればいい。綺麗な街になればたくさんの方が来てくれる
248	和歌山の自然を守りたい
249	ごみ拾いの行事を多く行う
250	ごみを減らして街を綺麗にする
251	挨拶などのコミュニケーションをとる。ボランティアに参加する。

252	車の安全運転をお願いする運動をしてほしい。
253	街のごみを拾う。緑を増やす。
254	一人一人が協力し合い、初対面の人とでも仲良くすればいい
255	助け合いの活動をする。

性別：女

No	内容
1	もっと地域などの関りや、活動をふやしたり、いろんな人とふれあう時間を増やす。また、地球温暖化を防ぐために、森林などの植物を大切にし、緑を増やす活動をもっと多くとり入れる。例えば、森林の中に捨てられているごみを拾うなどと協力できるもの。
2	大人の人とかでも、自分から「おはようございます！」とか元気にあいさつすると、親しくなると思います。(近所の人とか知ってる人とかに)
3	もっと公園を増やしてもらって、その公園でみんな集まって交流会を開いたり、また、小さい子たちも遊べるため、その親たちも話すことができ、自然とむきあって過ごす時間を増やしたらよいと思う。そして、運動不足も公園を増やせばなくすることができると思う。
4	ごみが落ちていたら、拾ってゴミ箱に捨てたり困っている人を助けたりしていけば、良いと思います。ごみは目の不自由な方や歩いている人(または車で走っている人)のめいわくになり、事故になりかねないし、後は(例えば)道に迷っている人に教えてあげないと目的の地に着けなくなってしまい、重い荷物を持っている人などを手伝ってあげたら、笑顔になると考えたからです。そうやって人と協力し、誰かのさまたげとなるものを片づけておくことで地域の人たちは今よりもっと幸せに生活できると私は思います。
5	自分から、ボランティアに参加しようと思ったり、地域の人とより深くかかわれるようにと勢力したいです。そして、ボランティアに参加することが、私は時間があまりないのでガールスカウトの集会にできるだけ参加して、すこしでもボランティアかつどうに参加しようと思いました。
6	ボランティア活動にせっきよく的にさんかするなどし、ちいきの交流を深める→まちに知っている人が多くなるから、友人も増えて、そこで住むことが楽しくなる。
7	ゴミとかをとったり街をきれいにするといいと思う大変そう(荷物をもってる人とか)な人を手伝ったりするといいと思う。
8	あぶなそうなところは、しゅうりをしたり、くらい場所にはでんきをつける
9	道をきれいにせいびしたり、コンビニをもっと色々な所においたり、ポイステをへらすために色々な所にゴミ箱をおいたりするとポイすてする人がへったり、かいぜんすると思う。ほかにも、私の近くではお祭りが全然やってないので、お祭をふやしたらもっと良くなると思う。
10	自分がされて嬉しいことや、相手が喜ぶような事をする！人の気持ちをまず考える！自分が先に親切にしたり、協力すると返ってくるから、何事も自分からしたらいいと思う！
11	こまってることがあったら、たすけてあげる。
12	しょうがいをもっている人たちにも、やさしく声をかけてお手伝いをしてあげたりしたり、しらない人でも、あいさつをされたら元気よくあいさつをしたりする。外にゴミがあつたりしたら、

	ごみをひろって捨てたりするのがいいと思う。
13	きしゅうくんの家（コンビニ以外）見たことがないので、増してほしい。習い事から帰るとき、道がくらい時があるから、もう少しがいとうを増してほしい。ていでんした時、もう少しはやく電気をふっきゅうするようにしてほしい。
14	もっと積極的にあいさつをする。
15	ボランティア活動をしたりして、町をきれいにする。あいさつを元気よく大きな声でする。
16	あいさつをしっかりとすると、元気になる。
17	ゴミが落ちていることをよく見かけるので、ポイ捨てのないように取り組むと良いと思う。少し、夜になると暗い所があるので、明るくすると良いと思う。
18	みんなに、こんな事をする、幸せになるよってゆったらいい
19	たくさんの方がボランティア活動に参加する。
20	お互いのことを考えて、困っている人がいたらたすける
21	まちに、ごみなどが落ちていることが多いから、キレイに拾ったほうが良いと思う。ブロックベ-が、たかい所が多いのでたかいブロックベ-をくずして低くしてほしい。園部公園のトイレを、もっとキレイにしてほしい。
22	有功地区は、公園やあそぶところが少ないからあそべる場所がほしいです。どぶ川が汚すぎてちよつといやです。公園の草が多いです。道の車いすの方がつかえるスロープ？がほしい。
23	お店をふやしてほしい。公園のそうじなどをしてほしい。園部に遊べる所を作ってほしい。（有功東とかお店あるのに）
24	あいさつをする
25	近くの公園が1つしかないから、もっと増やしてほしい。
26	お店をふやす。ゆうえんちせつりつ、夜でもあかるくする。宿題をへらす。花火もつこ？かにつ祭りをふやす。公園をふやす。
27	町をきれいにしていくこと。
28	ボランティア活動でたくさんの人たちといっしょに、もっともっと和歌山に安全、安心にすめるよう、1つのことをするとよいと思いました。まず1つめは、「ブロックのへい」が高い所を安全になおしたらいいと思います。
29	町をもっとキレイにしたり子どもやおとしよりが集まれる所があるといいと思いました。自然をもっとふやしてほしい。海や川などもっとキレイにしたほうが良いと思った。公園のトイレをキレイにして使えるようにしてほしい
30	ごみとかを、道路にすてずに、ゴミばこに捨てたり、すてられているゴミも、捨てるようにする。
31	通学路の危ないところに信号をつけてほしいです。
32	今よりも、地域の人に会ったら、声をかけてみる。
33	困った事があつたら、それにあつた便利な機械などを使用してもらおう。ボランティアをする。
34	お墓がイノシシなどにたおされることが多いので、さくを設けるなどの工夫をしたい。お寺で行われる行事をふやしたい。池などにもさくを設ける。高齢者のためにももう少しスロープなどをふやす。もう少し道をキレイにする。ガードレールを増やす。移動スーパーなどで地域をまわる（週に1回ほど）。カーブミラーをもう少し増やす。地域でひなん場所を作る。

35	やってはいけないことをする人を増やさないように注意書きのポスターをはる。
36	すれちがったら、あいさつをしたりする→できなかつたら、頭を少しさげたり、次できるようにする。近じょつきあいをよくする。
37	自然のものをかってにとったり、ゴミをすてたりして、自然をよごさないこと。
38	森とかを自然ほうかいするのではなくあいているところをみつけてつくったほうがいいと思う。ソーラパネルをねんのためつくる。ひなん場所を多くしてひなんできる人(命)を1つでも守る。
39	地域の人たちが集まる機会を増やし、全員の人と交流したり、顔見知りになれば、楽しく過ごせるような気がします。
40	自然を増やす。道にポイ捨てしない。
41	みんなの通る通学路が道のきれいなところとがたがたなところとか、だんさのあるところがあるから、道をきれいにしてほしい。
42	店が近くにないから、すぐいける店をふやす。
43	みんながえがおになるように、こまっている人がいたら、手伝ったりしたらいいと思います。このアンケートで知らないマークがあったので、一度みんなで、マークの授業をしてもいいと思います。マークを知っていると、その人が、どんなことをしたら、つらいか、どんなことをしてほしいかが見ただけで分かるから、助けを必要とする人が、今よりもっと幸せになると思います。このごろ、不しん者が子どもを連れさるなどの事件が多いので、不しん者などを少なくする事も大切だと思います。きしゅう君の家というのが、私の地区には、どこにあるのか、全然分からないので、どんなところに、きしゅう君の家があるのかのマップも作ってみたらいいと思います。ボランティアをしようという人が少なく感じるので、ボランティアは、いい事だよなど伝えていくのもいいと思います。地いきの行事などを、知らな人もいると思うので、行事はこんなことあるよと教えてあげて、次の人にも受けつぐようにして、みんなが祭を楽しめたらいいと思いました。
44	親切な人をふやす。
45	ポイ捨てとかしている人がいたら注意して、自分もポイ捨てをしないでおこうと思います。高れい者の方とかに、席をゆずってあげたりする人がもっと増えたらいいと思います。
46	びんやカンをリサイクルをしてくうきをきれいにしたらいいと思います。あと、できるだけ、はんざいが少なくなると緑がふえたらいいと思います。
47	もっと和歌山をきれいにしてちいきみんなでごみ拾いをしたり、もっと自然を増やしたり生活していくためにより、自由で、海か川やそれを知ってもらうために、もっとのうぎょうか、お米をもらうところをふやしたい。もっと、みんながかいてきにくらせるよように、もっと広びろつかえるあきちか公園、大きな公園みんながきょうもたのしかつたなあと考える町、そしてやっぱりみんながハッピーで、笑顔がみられる。きょうもいえに、ただいまとかえる町にしたい。もっとコンビニをなんてんぽかふやしてかいてきにくらしたい。
48	助け合い協力し合い相手のきもちをしろうとすればいい。
49	他の人とかうりゅうする。
50	ゴミを道などにすてないこと。そして、落ちてしているとだれがすてたゴミでもひろってゴミ箱にすてること。

51	くらしやすい町にしていく。
52	人があるくところに、線があるけど、消えていたりしてあぶないので線を引きなおしたり、ガードレールをしたりして安心を持てるようにしてほしい。とう校するときにもっと見守もってくれる人がほしい(少ないので、何かあったときに話できる人がいない)。 magariかどでカーブミラーがないところがある。「一時ていし」がないので、あぶなくて、とおれないみちがある。
53	もっとみんなが遊べる場所をつくったり、高れい者などと交流したりするばしょをつくる。地球温暖化などで、台風など色々こまることがあるので、みんなで緑を増やす。スーパーやコンビニなどのお買い物のができて、お年よりの人もこまらないようなし設をつくったらいいと思う。
54	すべての人が、なかよくしてくらせる場所。(例)たとえば、バスのとき、こうれいしゃに席をゆずってあげる。
55	こまっている人がいたら助ける。
56	自分からお手つだいをしたり、地域の人に会ったら元気よくあいさつをしたらいいと思います。
57	いろんな行事をもっとふやして(地域の人もよんで)みんなでなかよくやっていく。あつたら、あいさつをしたり、話したりする。
58	道路にごみが落ちていることがあるので、ごみを落とさないようにすること。
59	としよりの人がかんたんに料理ができるきかいがあつたらいいと思います。
60	大人がたばこをポイすてをやめたらいいと思う。理由は火のついたままのたばこをすてる人が多いから
61	タバコなど落ちていたら拾う。
62	誰かに会ったときは笑顔であいさつをしたり、こまっている人がいたら助けてあげたりしたらいいと思います。前、ある子がみぞに自転車が落ちて必死で自転車をあげているときに見知らぬ人が手伝ってあげていてやさしいと思ったのでこまっている人を見たら、助けてあげたらいいと思いました。
63	一人一人がポイ捨てしないこと、勝手なことをしないこと。地域との交流や避難訓練をして、災さい意識や人の大切を感じとることだと思ふ。みんなでがんばろう！
64	地域のイベントなどをふやすこと。
65	みんながルールやマナーを守る。
66	雑草は、見通しが悪く危ないので定期的にかつてほしい。人の住んでいない空き屋や、住んでいるが今にもくずれそうな家は撤去してほしい。水路の臭いをなくしてほしい。
67	バリアフリーのものを、どんどん増やしていき、高齢者でも不自由なくすごせる社会にしてほしい。公園をもっと使いやすくしてほしい。道を広くしてほしい。(自転車)
68	みんなが仲良くしたら、みんなが幸せになれると思う。
69	公園などのゴミを拾ったりして使う人みんなが気持ちよく使えるようにする。
70	点字ブロックをもっとたくさんおくといいと思う。ちょっとした公園をつくるといいと思う。
71	ペットのフンやごみをごみ箱に捨てる。せっきよくてきにボランティア活動に参加する。あいさつをする。
72	道路をもう少し広くしたら、おとしよりの人がとうりやすくなるから。
73	そうじやゴミひろいをしたいなあと思いました。今みたいに幸せが続いてほしいです。

74	ゴミを捨ったり、川をよごさないようにすること。
75	いまが幸せです。
76	すべての人がもっと幸せになるには、ゴミをちゃんと捨てたりして、空気、かんきょうを良くしたらいいと思う。
77	公園や遊び道具・校区内で楽しくすごせるところを作る。
78	もっと、みんなができる行事を増やす。
79	行事をもっと増やしたらどうですか。
80	もう少し、人と会話をしたり、高れいしゃたちと接っしたいです。
81	お店がかたまっているのでばらばらにしてほしい。
82	1人1人が人をおもうこと。
83	ポイ捨てのないようにしたいです。もしあったら、すぐにごみをごみ箱に捨て、自然環境のよいようにしたいと思いました。
84	地域の人交流できる行事によく参加することだと思います。
85	こまっている時は助け合う。
86	みんなでもっと交りゆうできるようなものを作る。
87	体が不自由な人のマークや高れい者など見かけたらすぐに手伝いや助けあげたらみんないっばんじんでも不自由な人でもびょうどうな幸せな生活ができると思う。
88	私は小さい子のためにも公園を増やしてほしいです。最近公園が少なくなってきていて遊ぶところが少ないからです。緑の自然をずっとたもってほしいです。
89	こまっていたら助けて、また、としよりがかいだんとか登れていなかったら、助けてあげる。そう思います。
90	近くに公園が少ないので、公園などをふやして地域の人との交流場所にしたらいいと思う。
91	交通道路を広くしてほしいのが多々ある。近所の人とコミュニケーションをとって、きんきゅうじ、こえをかけあえる関係をつくること。
92	ごみすて場のごみがカラスにあらされていたら、進んで片づければいと思います。
93	たがいに協力し合い、意見がちがうと相手の話をきき、相手の意見知ってみんなでするといいと思うし、きしゅうくんの家を地域のすべての人が知っとくべきであると思います。そうすることによってもしも不しんな人物に会った時、ひ害なく、くらせるのではないかなと思いました。
94	地域のお祭りなどのイベント。高れい者や小さい子もいっしょに楽しめるようなイベントや、地域の人たちが、いっしょになって何かに取り組んだりすること。
95	知らない人との交流をしたらよいと思う（そういう行事？）
96	公園を造ってほしい。なぜなら、公園があれば積極的に外に行けるようになって、学校の友達も増えると思うし、地域の人との関わりが多くなると思ったから。
97	美しい自然を守り、できるだけゴミのポイ捨てを無くす。たがいが支えあい、障害者やお年よりの方、被災者の方などのバリアフリーを行う。
98	もっとお祭りを増やして、地域の人との関わりを増やしていければ良いと私は思います。
99	町でポイすてをしなないといいと思う。わけは、道にあきかんやタバコなど、ゴミがおちていると、道をとおるのもいやになるし、和歌山の空気が、きれいじゃなくなるから。あと、白はまなどの

	<p>かん光地もあるのに道がきれいじゃないと、かん光する前にいやな気持ちになり、かん光で楽しんでも帰る時にいやな気持ちになったら、かん光スポットにも人がなくなってしまうたり、1回来ても、もうきたくなくなったりするかもしれないから。もう1つは、道に「ポイステをしないのが町自まん」みたいなかんばんがあったから、それなのにゴミがおちていたら『そのかんばんうそだし…』のように思われたら、幸せにはくらせないと思うから。だから、町でポイステしないことが今よりももっと幸せに生活できると思う。</p>
100	<p>障害者でも、障害者じゃない人のような、幸せな生活を送れるように、車いすも乗れる車をつかったり、歩道橋にエレベーターやスロープを取り付けたりすると、車いすの方でも、楽になると思う。また、地域での行事や、地域の人との交流も増やせばいいと思う。そうすることによって、人と関わる機会になるし、友達や人と関わる大切さや、楽しさが味わえると思う。学校の生活では、一人ぼっちの子などを、自分から積極的にさそってあげると、友達の輪が広がっていくと思った。</p>
101	<p>私は、足の不自由な人やお年寄りのかた、目の不自由な人、また、私たち地域全員が暮らしやすくするために、ユニバーサルデザインを増やしていくといいと思います。例えば、歩道橋にエレベーターをつけたり、かいだんの横に車いすでものぼれるさかをつけたり、電車やバスにのぼりおりしやすくなるようになど、全ての人が暮らしやすくなるものをつくってあげればいいと思います。</p>
102	<p>たくさんの方がいけるしせつがあるよいいと思います。しせつがあればどの世代にもあうことをしたらみんな楽しめると思うからです。子どもたちには工作 大人には花をつかった小物などあればいいと思います。</p>
103	<p>地域のすべての人が、今よりも、もっと幸せに、生活するためには、高れいしゃがこまっていれば、バスであれば席をゆずってあげたりなどをしていたり、和歌山市を、もっときれいにつかうためにも、ポイステをやめたりなどしたらいいと思います。他にも、若い人たちがボランティア、活動に進んでやればいいと思います。</p>
104	<p>公園や、広場などの遊ぶ所が、くずされたりして、へってきているから、外遊びできる場所が近くにあまりないと思いました。もっと、緑をうえて、きれいな自然をつくらうと思いました。</p>
105	<p>私は、今よりももっと幸せにするために、ごみなどを道路や道などにすてないような、きれいな町を作っていきたいです。ごみを道路や道などにすてないことで、まちがきれいになり、気持ちがよくなると思うからです。</p>
106	<p>みんな平等でボランティアで多くの方がやってくれたら町などがきれいになって人がもっと住みやすくなると私は思います。</p>
107	<p>もっと公園とか、他人とかかわることのできる、ぎょうじを増せばいいと思う。それは、公園があるといろんな人が遊べるし、和歌山に子どもが多くなるかもしれないから。ぎょうじは、そこで、自と協力できるから。</p>
108	<p>自分たちでごみ落いなどをせっきよくてきにやったらいいと思います。みじかにバスなどでもゆづったりとかこまっている人がいればおしえてあげたらいいと思います。</p>
109	<p>ボランティアや介護しせつだけではなく、障害者の人が遊べるような、ゆっくりしていける公園などを作ったり、おとしよりの人といろんな交流をしたりして、他の人との大切なことがわかる</p>

	と思うから。
110	こまっている人とかを助けていくことが今より幸せに生活するために必要だと私は思います。理由は、二つあります。一つ目は、助けた方は人のためになることをしたから、すごく、やりきった、たっせい感があるからです、二つ目は、助けられるがわの人も助けられるとうれしいと思うからです。この二つが私は必要だと思います。
111	防災活動をよりよく多めにだしたり工夫をしたらいいとわたしは思います。
112	知らない人でもあいさつをする。あいさつをすると、相手も笑顔で返してくれるから、自分も知らない人にできない時もあるけれど、なるべく頑張っあいさつしようかなと思いました。
113	みんながあつまって、したい事をいっていきできるときにして、もしこれなかったときは、休みの日でまたやってできないことをやらない人じゃなくて、できることもできないことも、やったらみんながたのしいしあわせに生活すると思います。
114	近所で助けあったり声をかけ合ったりする。高れい者や障害者の方のことをもっと考える。耳が聞こえない人のために目で見てわかるように文字で表示したり目が見えない人のために信号なども音で表したりするところを今は一部しかないので増やす。
115	今、私の近所では、ゴミをあみからはみ出して、おいていく人がいます。なので、自分たち、子供が気を付けていたら、大人の人が子供は、できるのに大人ができないなんて、はずかしいな。と思うと思ったからです。もう一つ方法があります。あみを大きくするという方法です。みんな協力すれば、あっゴミは、ちゃんと捨てなきゃなと思うからです。しかも、ポスターとかもあれば、みんなが気を付けれると思ったからです。とにかく自分から気を付けようと思います。
116	道にゴミを捨てたりしているから、それをなくしたらみんなが幸せにくらせると思います。そのためには、けいじ板やポスターなどにコメントを書いたりしたらいい。他にもいじめやいやな気持ちになっている人は、相談したりする人を増やすとみんながもっと幸せになれると思います。
117	ごみはごみ箱にすてて、としおとってる人に、ゆずってあげる
118	学校のみんが障害をもっている人にあって、できることで遊べばみんなが笑顔になっていい思い出ができると思う。今いろんなことをやっているけど、その今のままだでも何かをしてもらうだけで幸せだと思う。
119	特にない。けど、緑、自然をもっと増やしたり、楽しい設備をもっと、たくさん作って、遊べる場所を増やしたりする。みんなが助け合っ、せいそう活動などの、ボランティアに参加する。
120	住んでいる地域をきれいにするために、ゴミひろいやゴミをすてたりしないほうがいいと思う。
121	緑がおおくて、だれでもあそべる大きい公園をつくったらいいと思う。
122	おてすだい・たすけ合い
123	すなとかこうえんとかにごみがおちているときがあるのでごみはちゃんともちかえるか、ごみばこにすてたりしたら、こうえんとかがきれいになると思います。
124	もうちょっと祭りとか、交流会とかの行事を、ふやしたらいいと思う。たまに、公園とかに自転車がすてられているからそういうことをしないようにとりしまる。
125	はんざいや、台風やじしんがおきないようにしたい。
126	緑の多い大きな公園をつくったらいいと思います。
127	地域をきれいにし、観光客などがいっぱい来てもらって和歌山の良さを知ってもらいたい。災

	害などがあつたときは、みなさんに協力してもらえるように、やさしく接したりする。
128	学校でボランティアをしたらいいと思う
129	こまってる人などがいたらお手伝いをする事！
130	土入川は、ゴミとか水がにごっているから、みんな川にゴミをすてる人じゃなくゴミ箱にすてたら川はきれいになると思います。
131	もう少し、子どものあそべる所をふやしてくれたら、あそびやすくなるので、作ってほしい。あと、夏は暑いので、屋内で子どもが、あそべる所を作ってほしい。
132	事故とかをなくすようにする。たとえば、けいたいとかをさわりながらうんしたりしないようにする。山とかがつぶされていっているから、緑がすくなくなっている。川にゴミをすてる人が多い
133	もっと近くにイオンがあつたら、おばあちゃんとかおかあさんがなにかほしくて、パームになかったら、イオンにいくけどイオンまでいくまでがながいからちかくにイオンがほしい。
134	不自由の人のために不自由の人だけがあるけるところがあるといいな！
135	ポイ捨てをしない。ゴミひろいのボランティアの回数をふやしてもっと和歌山市をきれにする。信号に音をつける。公園がもっといっぱいほしい。公園時計がないところあるからほしい。スーパーを増やしてほしい。
136	もっと身の周りのかんきょうを考えて、みんながポイ捨てもしないようにする→今よりも、「ポイ捨て禁止」というかんばんをおく。もっと川をキレイにする。
137	川をきれいにしてほしいし、てんじブロックをふやしたり、公園のゆうぐをふやしてほしい
138	海や川をきれいにする（ごみをすてない）。こうれいしやだったら、できるかぎり手伝う。
139	ボランティア活動に一人一人が参加して、自然を守ったり、町をもっときれいにしたらいいと思う。
140	高れい者の手助けに協力して人間関係をひろめていったらよいと思う。ほかにも、ボランティア活動などをして町をきれいにしたり、和歌山市の自然を守っていったらよいと思う。
141	私は、地域すべての人が、今よりもっと幸せに生活するためには、ボランティア活動にせっきよくてきな町にしたいと思います。
142	じこがないようにみんながきよつけること
143	ボランティア活動に積極的に取り組む人が今よりも、たくさん増えるとよいと思う。また、私もボランティア活動の色々なことをしてみたいと考える。
144	なやみがあれば、誰にでも話せる、聞いてあげられる
145	ゴミ拾いや動物園のかんこうの日などおつくって、親子や知らない人にふれあえばよいと思う
146	みんながボランティアに参加し、町をきれいにしていけばよいと思う
147	公園や、広場等でもっと行事や祭りを開き、交流する機会を増やす。
148	草が生えた空き地や公園をきれいに整美するとよいと思う。和歌山市でのイベントをもっと行った方がよいと思う。
149	今の状たいでは危ない場所などを安全にして、事故を少なくしたり、自分ができるボランティア活動は取り組んでいったらいいと思う。
150	道がガタガタなのでキレイにしたらいいと思う。お店も増やしたり、ちがう県ともふれあえばいい

	い。
151	植物公園など、楽しんで自然にふれられるような場所を作り、イベントを開きする。オシャレでカッコよくしないと子どもは興味を持たないので、できるだけスタイリッシュに。だが、スタイリッシュにしすぎると、地域の良さからはなれてしまうので、その点はマスコットキャラなどで過げんと良いと思う。
152	自分できること、あいさつ、ゴミ拾い、など自分のできることをして
153	こわれかけの家とかがあって家のだれも住んでいない事を確にんしてからボランティア活動であぶない一部分をつぶしてしまったらいいと思う。
154	地域の人々と交流するきかいをふやしたらいいと思う
155	ほうりつをもっと、きびしくする。あそぶところを増やす。夏休みをもとの長さにもどしてほしい。用水路にふたする。
156	家の前をエンジンの音を異常なほど鳴らしたり、ばく音の音楽を鳴らしながら、走っているバイクをへらすという取り組みをすればいいと思います。たまに私の家の前をうるさいバイクが通ることがあります。そのたびにムカッときてしまいます。
157	ゴミなどが外に落ちていたら気分が良くないから、ポイ捨てなどをしない。ほうりつを守る。自然をよごさない。夏休みを元の日の長さにもどす。外で遊ぶ場所を増やす。
158	法律をあるていど厳しくする。夏休みをもとの長さにもどす。
159	みんなが、交通ルールを守って、事故がなくなれば、幸せになれる。停電になってから、信号が消えて、ほたらかしいなってるは、だめだと思う。すぐにつかないのは、むずかしいのかもだけど、おまわりさんがはやく来てくれたら、いいなあと思う。
160	子供が遊べるところを増やしてほしい。夏休みをもともにもどしてほしい
161	せまい道とかを大きくしたらいいと思う。
162	夏休みを元の長さにもどす。公園を多くする
163	図書館を増やす
164	もっと自然を増やしてほしい。遊具がいっぱいある公園がほしい。
165	和歌山市は、もう人が住んでいない建物などに落書きなどが多いので、古い建物や住んでいない建物、はいきよとなっている建物に、「落書きするな！」と書いたはり紙をはっておけばいいと思いました。
166	夏休みをふやしてほしい
167	ボランティアなどにふれあって、ほうりつを守るようにする。夏休みをもとの長さにしてほしい。
168	法りつをきびしくする。
169	遊べる所を増やす。道をキレイにする。
170	ゴミをポイ捨てせずに、車で、速くはしらずに安全にうんてんする。
171	家の近くのゴミを拾って捨てたり、地域のボランティアをして、自然を守ったり、めいわくなことをしている人がいたら、声をかけたり、かん板を立てて、しないようにする。(罰金をとる)
172	山の中に店を開いて人が集まるようにすればいいと思う。なぜかという、山の中でたのしめるように、山の中に、アスレチックなどのたのしめるようなところや、最近、家にひきこもってずっとゲームをてに遊ぶ子どもが多いから自然とふれあいながらたのしめるところをつくれば

	少しでも外であそぶ時間がふえていくと思うからあえて山の中に店を開くといいと思う。
173	1、たくさんの笑顔が和歌山市、いっぱいになったら、周りの人も、今よりも幸せに生活ができると思う。2、ポイ捨てをしない事だと思います。町にゴミを捨てる事は、周りの人の迷わくにあたるからです。3、みんなとの、ふれあいを増やす事です。地域の人が幸せになるには、もっと、みんなとふれあって、仲良くなっていったらいいと思う。4、皆で、「安全」という言葉をあんごうにし、車など、バイク、自転車で、じこのない生活がいちばん、皆の願っている、幸せだと思います。
174	子ども達が楽しめるプールなどをつくれれば良いと思う。和歌山市には、余り大きいプールはないので、作ったら良いと思う。みさき公園は大阪だし、他の県のプールに比べたら、これっぽちもないと思う。CMにも神戸のプールのことが宣伝されている。しかも、遊びにくるお客も増えるし、「楽しい」、「また来たい」など言われると、こちらもうれしいと思う。作った人もうれしいから大きいプールを作ったらいいんじゃないかなと思いました。
175	ポイ捨てやゴミに関心し、一人一人がゴミをしっかりと分別するように心がけ、ゴミを少しでもへらせると、この町、和歌山がきれいになっていき、幸せになると思う。生まれそだった場所がきれいで、じまんでできる場所だったら私はうれしいので、少しでもゴミをへらし、もっとじまんでできる和歌山になるといいと思った。一人一人が心がけ、関心し、ゴミを少しでもへらそうとしてくれるかつどうを見ると、みんなうれしく思う気がする。町をきれいにすることで、幸せなみらいへの一歩になると思うので、少しでもゴミをへらす心がけをしていけばよいと思う。
176	老人とふれ合うボランティアに子ども達がやってくれる事。これは、老人にとっても、子ども達にとっても楽しい、いい思い出になると思う。こういう事でみんながもっと幸せにくらせるためにつながると思います。
177	ごみ拾いをする。近所どおしで助け合う。子どもたちが楽しめるしせつをつくる。自然を残す。町をきれいにして、人を住みやすくする。外国の人も住めるようにする。ボランティア活動を行って、川や海や観光客が集まるところをきれいにする。和歌山市を宣伝するため、CMやパンフレットをつくる。
178	もっと店を増やして、便利にしたら良いと思う。空き地を利用して、公園をつくる。公園には木をたくさん植えて、自然を増やし、夏には虫とりなど、春夏秋冬のすべてを楽しめるようにする。今の和歌山はだいたい空気はきれいなほうだと思うが、ゴミが道によくおちている。そのゴミを自ら取るように学べさせればよいと思う。
179	空き地、空き家などの今は使われていない土地をこわして、大きな会社を立ちあげ有効活用して、少しでも、和歌山県がにぎやかにすればよいと思う。また、人がよく集まる「マリーナシティ」などとゆった遊園地を今以上に大きくし、和歌山県を盛り上げればよいと思う。
180	道路の歩行者用のところに、夏ならミストを設置し、冬は、風を防げるガラスのかべのようなものがあれば、快適に過ごせると思います。最近外国人に日本犬が好まれていることや、人はかわいらしいものに集まることから、地域の犬や猫を集めたドックカフェをつくれればよいと思う。ただ建っているだけではPRにはならないので、SNSや全国放送のCMやテレビでアピールするとよいと思う。和歌山市に人が集まれば、お金がたまり、観光にも、力が入れられると思います。
181	①あき地や山を使い大きな会社や遊えん地を作ると良いと思う。費用はマリーナシティに絶きよ

	うマシーンやディズニーやユニバなどをさんこうにして、キャラクターやマシーンを造って、そのかせいだお金を費用にすると良い。②和歌山テレビのCMをもっと良くする。今のCMは、ださすぎる。何を伝えたいかもわからないので、もっとオシャレで、おもしろいCMにしたら良いと思う。
182	ポイ捨てをしたりしないなど、一人一人が意識すれば良い。点字ブロックなど障害者に必要なものを、さまたげるようなことをしない。一人一人がみんなを気づかい、親切に切すれば良い。観光地を増やし、観光客が増えるようにし、明るく楽しい町にする。空き地を皆に役立つ建物にする。空港をつくり、交通を便利にする。身近に必要なお店などを作る。きちんとしたルールやマナーを作り、違反者を減らす。ボランティア活動をし、みんなが協力して生活するようにする。
183	テーマパークを増したら、お金がはいつてくるので、その作る場所を作ったらいい。その場所がなかったら空き地をつぶしたり、山をけずって場所をとったら、千葉県ディズニーランドぐらいの広いテーマパークができると思った。そうして、テーマパークを作って設けたお金で、和歌山市をきれいにしたり、お店を増やしたり、老人やにんぶさんがつかいやすい道路をつくったらよりよい和歌山市になると思う。
184	“幸せ”じゃないけれど私は自然が好きなのでたくさん自然を増やしてほしい。地域の行事を増やしてほしい。行事が春夏秋冬全て楽しめるから（雪がつもったら、雪がっせんなどもすればいい）。そして、一人一人が気をつければ、みんなが優しくなるので、もっともっと幸せにらせれると思う。町がキレイじゃないので、キレイになったらもっと心良い住まいになると思う。ポイ捨てをやめ、ポイ捨てしている人があれば、注意し合う。地区のちがう子とかかわる行事をたくさん作って、みんなが仲良くなって、たくさん遊べば、幸せになれる。
185	ポイ捨てしない。空港を作ってほしい。大人も子どもが楽しめるデパートを作る。公園をもっといっぱい作る。観光スポットをもっと作る。ゴミを捨てるボランティアなどをもっと作る。町をもっときれいにする。空き地をかつようする。遊園地をもっと増やす。山が多いから山をなくして大きい遊園地を作る。マリナーシティをもっと大きくする。
186	各地域のボランティアなどがあってもいいと思う
187	おまつりなどの行事をふやして楽しくにぎやかにしてほしい
188	平和！！森をへらさない。魚のまつりをやりたい！うなぎつかみのまつりを子だけでやりたい。だがしをパームにもどしてほしい（イオンに行った）
189	1、ごみがおちてたらひろう 2、ルールを守る
190	普段からお互い声を掛け合い、地域の交流行事にも参加するなど地域の人をたくさん知っておくことが大切なのだと思います。地域の人を知っておくと犯罪や何かに巻き込まれてしまったとしてもお互い助け合えると思います。そして何より、地域の人が幸せになると思うのでもっと行事を増やしていくことが大切だと考えられます。
191	これからも地域の人たちに楽しく生活してほしいのであまりにも派手でお年寄りがついていけないほどの今どきのルールや10代が好んでするような行事ではなくお年寄りが楽しく参加できるような行事を作ることによって、皆の生活が笑顔であふれるとおもいます。
192	もう少し地域の行事を増やしたらいいと思います。
193	不審者を無くす。不自由な生活を無くす。

194	バリアフリーのための活動をする。台風や大雨の後のごみやけがをしそうなものをみんなで掃除する。ボランティアをしてくれた人のために行事をする。和歌山市の各地から和歌山城まで行けるバスを作る。商店街に駐車場を作って活気を戻す。お店が少ないショッピングビルを集めて1つの建物にする。地下鉄などの交通をよくする
195	もっとたくさんの方が参加できるお祭りをしたらいい
196	道路の整備をする。ごみ拾いをする。楽しい遊び場を作る。
197	いろいろな人が遊べる施設を作る。道路整備をする。
198	皆挨拶をするようにして、笑顔でいるようにする。
199	ボランティア活動をしたら高齢者やお年寄りが不自由なく暮らせると思う
200	皆が協力し合う、自然を保つ、ごみ拾いをして街をきれいにする
201	環境破壊をしない
202	地域の人と交流
203	森の木を土地を広げるためには切らない。ボランティア活動の範囲を広げる
204	市民で協力しあう
205	野良猫を減らす。カーブミラーをつける。台風で看板や木が飛ばないようにする
206	どんな人にも優しくなれたらと思う
207	街のパンフレットなどの種類を多く作ればいいと思います
208	一人一人がルールを守る。
209	助け合い
210	ポイ捨てを減らすように呼び掛ける
211	通行人に対してのルールを確かめたらいいとおもう。信号機が近いのに道路を渡る人が多い。
212	環境破壊をしない。ごみ拾いをする。
213	高齢者のお手伝いをするなど、助け合いをする
214	ボランティア活動を積極的にする。困っている人の手助けをする
215	困っている人を積極的に助ける。
216	人が譲り合って助け合い、困っている人を助けてあげる事。そうしたら地域の人たちが気持ちよく、幸せになれるとおもいます。
217	周りにごみが落ちていたら拾う。障害者が困っていたら助ける。高齢者のお世話をする。小さい子の面倒を見る。
218	喧嘩をせずにみんなで仲良くしていったらいいと思う。和歌山の自然を大切にする。体が不自由な人が居たら助けてあげる。街を綺麗にする。
219	地域でしている清掃活動の後で、交流の時間を作ればいいと思います
220	皆が協力し合い、助け合ったら幸せに生活できると思います。そしてみんなが笑顔になったら楽しくなるとおもいます。話し合ったり、楽しく話せたらいいと思います。みんなで自然を大切にしたいと思います。
221	お年寄りに挨拶、譲り合いをする勇気。助け合い。
222	不審者が多いため危険だと思います。交流を深めることで、こういった人が減るのではないかと

	思います。
223	点字ブロックがいろんなところになく、自転車を置いている人もいるので使えない。カーブミラーをつけてほしい。ポイ捨てをしない。
224	体の不自由な人を差別することなく接したらいいと思います。地域の活動でごみ拾いなどを積極的に取り組む。公共の場で非常識なことをする人が減るように注意の呼びかけをしたらいいと思う。ボランティア活動を積極的にする。
225	自然を大切にして、地域でごみ拾いの活動をするなど行事を増やして綺麗な街にしたら今よりも気持ちよく生活できると思います。みんなで街を綺麗にして、自然や動物を守りたいです。街全体で協力すれば幸せに生活できると思いました。
226	ゴミがあれば拾って捨てたらいいと思う。そのためにポスターを作って設置すればいいと思う。不審者の被害にあわないように防犯ブザーを持っているといいと思う。
227	病気などで苦しんでいる人がたくさんいるので少しでも多く助けてあげたら、その家族や知り合いの人が幸せになると思います。ルールやマナーをしっかり守れば犯罪などを減らすことができ、不安を持っていた人が安心できると思います。安心できれば今までの不安を持たずに幸せに暮らせると思います。
228	お祭りや行事をもっと増やしたほうがいいと思います。子供はゲームやテレビ、スマホなど家の中でゴロゴロして過ごす人たちがたくさんいるので、お祭りをして子供たちが外で楽しく参加できることが増えればいいと思う。
229	困っている人、障害者のために今自分ができることをすればいいと思う。一人暮らしの高齢者に気軽に声をかけてあげたりしたらいいと思う。
230	道路の整備を田舎の方でもして、お年寄りや体の不自由な人などが楽に通れるようにしたり、事故がおきないように信号機付きの横断歩道を増やしてほしいと思う。いじめや自殺で亡くなる人を減らす活動をすればいいと思う。
231	ごみのポイ捨てをしないようにポスターをもっと貼る
232	もっと遊べるところが欲しい
233	もし大地震が起こった時に紀和駅の近くの公園のように超売り調理場を作ってほしい
234	ボランティア活動をしたらいいと思う
235	観光地を増やす
236	知らない人にも挨拶をする。もっと和歌山をPRする。困っている人を助ける
237	観光施設を作って街を明るくする
238	地域の人たちと積極的に挨拶をしたり、ボランティアに参加する
239	通学路にも草や枯れ葉が落ちているので、きれいにしたほうが観光に来てもらえるような気がする
240	子どもが楽しく遊べる場所を増やしてほしい
241	ポイ捨てをしないようにポスターを張る。ごみ拾いのイベントをする。
242	街を綺麗にしたらいいと思う
243	それぞれがごみがあれば拾うような心優しい人になれるように心がけたらいいと思う
244	ぶらくり町にお店を増やす

245	皆でボランティア活動をして街を綺麗にしたらいいと思う。
246	税金を減らす
247	和歌山にはお年寄りがたくさんいるので小学生とご老人の触れ合う機会があればいいと思う
248	皆で助け合う。親子で遊べる場所を作る
249	自転車の歩道を作ってほしい
250	街の整備。お店とかを増やす。
251	子どもが安心して遊べる施設が欲しい。
252	ボランティア活動を広げていく。施設を増やす。商店街のイベントを増やす。地域の交流会をする。
253	短時間でできるボランティアを増やす。市内の緑を増やす。行事を増やす。
254	交流の機会を増やす。年齢を問わず楽しめる行事を増やす。
255	自分達の街は自分達できれいにする。楽しいと思える街作りをする。
256	外国人から悪い印象にならないようにごみ拾いをする
257	高齢者の方が住みよい街を作る。お店や行事を増やして若い人にも来てもらう。
258	自然を増やす。大きな公園を作る
259	ポイ捨てをしない。お店を増やす。
260	道路にごみを捨てない。犬のふんなどは持って帰る。
261	外国の人が観光に来て対応できるようにしておく。もっと楽しいお店を作る
262	地域の親睦を深め、会話を増やせば安全になると思う
263	挨拶や、お年寄りの手伝いをする。
264	いろんな人が集まるお店を作ればいいと思います。公園を増やす。

参考資料（調査票）



地域福祉団体及び福祉の相談窓口への アンケート調査

みなさまには日頃から市政に対し、格別のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

和歌山市では、急速な高齢化の進行や核家族世帯の増加などに対応するため、「わかやま・元気ふくし計画（第3次和歌山市地域福祉計画）」を策定し、この計画にそって各地域の福祉団体や市民の方々とともに様々な取り組みを進めてきました。

この計画は5年ごとに改定することになっており、現在、次の計画策定に向けての作業を開始したところですが、新しい計画を今より一歩進めたものとするため、今回、地域の福祉団体や相談窓口等の活動をしているみなさまへのアンケート調査を実施することにしました。

本調査でいただいたご意見等は、新しい地域福祉計画に反映させるための貴重な資料として使用させていただきますが、この計画を策定する目的以外に使用することはありません。調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■記入にあたってのお願い

各問に対し、最もあてはまる番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、()内になるべく具体的にその内容をご記入ください。

また、問9、問10については、設問に対する答えを自由にお書きください。

■調査票の返送方法

記入後は、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、10月1日（月曜日）までに郵便ポストに投函してください。

お問い合わせ先

和歌山市 福祉局 社会福祉部 高齢者・地域福祉課

TEL : 073-435-1063 FAX : 073-435-1268

問1. 所属はどちらですか。

(○は1つ)

1. 地区社協	6. つどいの家
2. 老人クラブ	7. 地域包括支援センター
3. 民生委員・児童委員	8. 相談支援事業所
4. 公民館	9. 地域子育て支援拠点施設
5. 婦人会	10. NPO・ボランティア団体

活動内容について、お聞きします。

問2. 活動されているエリアはどちらですか。

(○はいくつでも)

エリア	地区名
1. 中心部	本町、城北、広瀬、雄湊、大新、新南、吹上、砂山、今福、高松、芦原、宮前、中之島、宮北
2. 南部	雑賀、雑賀崎、和歌浦、名草、田野
3. 東部	四箇郷、宮、西和佐、和佐、小倉
4. 東南部	岡崎、三田、安原、西山東、東山東
5. 河西部	野崎、湊、松江、楠見、貴志、木本、西脇、加太
6. 河北部	有功、直川、紀伊、川永、山口
7. その他	()

問3. 活動されているエリアの状況を、どのように感じていますか。

(それぞれ○は1つ)

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
①地域の住民どうしのつながりが強い	1	2	3	4	5	6
②住民どうしの支えあいができている	1	2	3	4	5	6
③地域の活動への住民の関心が高い	1	2	3	4	5	6
④多くの人が地域活動に参加している	1	2	3	4	5	6
⑤地域の団体などが連携できている	1	2	3	4	5	6
⑥少子高齢化がすすんでいる	1	2	3	4	5	6
⑦生活にしんどさを感じる人が増えた	1	2	3	4	5	6
⑧地域から孤立している人が増えた	1	2	3	4	5	6
⑨福祉に関する相談窓口が充実した	1	2	3	4	5	6
⑩福祉の施設やサービスが充実した	1	2	3	4	5	6

「和歌山市地域福祉計画」について、お聞きします。

問4. 「第3次和歌山市地域福祉計画」（以下「現計画」という。）では、地域福祉を推進していくために11の取り組みの柱を立て、それらを市民、団体、事業者、市・関係者等が、役割を分担しながら協働して進めていくことが書かれています。

貴団体では、これらの取り組みをどのように進めていますか。

なお、現計画は市のホームページからダウンロード（検索番号「1001706」）ができます。
（それぞれ○は1つ）

11の取り組みの柱	組 ん で い る	積 極 的 に 取 り 組 ん で い る	少 し は 取 り 組 ん で い ない	あ ま り 取 り 組 ん で い ない	ま っ た く 取 り 組 ん で い ない
① “困りごと” に気づき、支援につながります	1	2	3	4	
②多様な“困りごと”に対応したサービスや活動をすすめます	1	2	3	4	
③権利をまもり、暮らしを高めます	1	2	3	4	
④健康や生きがいづくりをすすめます	1	2	3	4	
⑤地域福祉への理解をすすめます	1	2	3	4	
⑥地域福祉の担い手を増やします	1	2	3	4	
⑦地域福祉活動への支援を充実します	1	2	3	4	
⑧地域福祉をすすめるネットワークを広げます	1	2	3	4	
⑨地域のつながりを強くします	1	2	3	4	
⑩快適な生活環境をつくります	1	2	3	4	
⑪安全に暮らせる地域をつくります	1	2	3	4	

問5. 現計画では、地域福祉の推進について、特に次のA～Fのプログラムを先導的に取り組む事項として設定し、市民、団体、事業者等にも協働を呼びかけています。

《プログラムA》 地域での学習や話しあいの推進

多くの人々が“したいこと・できること”で参加し、協働して地域福祉をすすめるためのきっかけのひとつとして、地域の課題や各々の“思い”を共有し、ともに話しあうことを通じて理解を深めながら、計画に掲げるさまざまな取り組みを具体的に推進する方策を考え、協力して実践していくよう、身近な地域で学習や話しあいをすすめます。

《プログラムB》 災害時に支援が必要な人を支える取り組み

南海・東南海地震をはじめ、大規模な自然災害などへの備えが一層重要になっています。だれもが関心をもつ“災害”をテーマとした取り組みを、地域福祉の視点も含めて推進し、多くの人々の参加を得ながら、いざというときに支えあえる地域のつながりづくりや、支援が必要な人を支える体制づくりにつないでいきます。

《プログラムC》 生活困窮者への支援の推進

経済的な問題とともに、家族や地域などから孤立して生活に困窮している人などを、地域のかも活かして効果的に支援していくように、新たに始める「生活困窮者自立支援」の取り組みを、地域福祉の視点も含めて推進します。

《プログラムD》 身近な相談窓口とネットワークの充実

“困りごと”に気づいたときには、早めに相談し、適切な支援を受けることができるように、その人にとって身近なところで相談でき、どこに相談しても適切な支援につながるしくみを充実します。

《プログラムE》 協働事業の担い手の養成

介護保険制度が改正されて、要支援の人の訪問介護や通所介護は、市町村が地域の状況に応じて提供することになりました。多様な担い手の参加のもとで、より地域に密着した支援を行っていくことが求められています。このように、公的なしくみと市民の主体性を活かした活動がうまく協働し、必要とされるサービスを効果的に提供する体制を構築するよう、担い手を増やします。

《プログラムF》 担い手や活動を支える体制の充実

地域福祉活動は、参加する人の主体性を大切にした活動ですが、第一歩を踏み出せるように呼びかけ、つないだり、専門的な視点で助言や支援などを行うことは、活動を継続・発展させていくうえで不可欠です。この計画を推進していくための地域福祉活動の広がりに対応し、きめ細かな支援を行っていくよう、体制の充実を図ります。

(1) 先導的に取り組む事項について、貴団体ではどのように取り組んでいますか。(それぞれ○は1つ)

先導的に取り組む事項	んでいる	積極的に取り組んでいる	少しは取り組んでいる	でない	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない
①《プログラムA》地域での学習や話しあいの推進	1	2	3	4		
②《プログラムB》災害時に支援が必要な人を支える取り組み	1	2	3	4		
③《プログラムC》生活困窮者への支援の推進	1	2	3	4		
④《プログラムD》身近な相談窓口とネットワークの充実	1	2	3	4		
⑤《プログラムE》協働事業の担い手の養成	1	2	3	4		
⑥《プログラムF》担い手や活動を支える体制の充実	1	2	3	4		

(2) また、平成27年度から平成29年度にかけての実施状況はどうでしたか。
(それぞれ○は1つ)

先導的に取り組む事項	でいる 大幅に進ん	でいる 少しは進ん	でない	あまり進ん	んではない	まったく進
①<<プログラムA>>地域での学習や話しあいの推進	1	2	3	4		
②<<プログラムB>>災害時に支援が必要な人を支える取り組み	1	2	3	4		
③<<プログラムC>>生活困窮者への支援の推進	1	2	3	4		
④<<プログラムD>>身近な相談窓口とネットワークの充実	1	2	3	4		
⑤<<プログラムE>>協働事業の担い手の養成	1	2	3	4		
⑥<<プログラムF>>担い手や活動を支える体制の充実	1	2	3	4		

問6. 現計画では、市民、団体、事業者、市・関係機関等が、それぞれの特長を活かして協働し、和歌山市の地域福祉全体を効果的に推進していくことになっています。

(1) 貴団体が活動する上で、どのような団体や機関と連携していますか。
(それぞれ○は1つ)

	所属している	連絡を密に取っており、一緒に活動している	が、一緒に活動はしていない	連絡を何度かしたことはある	連絡したことはない	連絡先は知っているが、特に連絡したことはない	連絡先をまったく知らない
①同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体	1	2	3	4	5		
②他の地域の自治会やその他の地域の団体	1	2	3	4	5		
③地区社会福祉協議会	1	2	3	4	5		
④地区民生委員・児童委員協議会	1	2	3	4	5		
⑤ボランティアグループやNPO	1	2	3	4	5		
⑥和歌山市社会福祉協議会	1	2	3	4	5		
⑦福祉施設・保育所・認定こども園・福祉サービスの事業所	1	2	3	4	5		
⑧福祉以外の事業所や企業	1	2	3	4	5		
⑨学校、幼稚園	1	2	3	4	5		
⑩公民館	1	2	3	4	5		
⑪つどいの家	1	2	3	4	5		
⑫地域子育て支援拠点施設	1	2	3	4	5		
⑬医療機関や医療専門職	1	2	3	4	5		
⑭福祉に関する地域の相談機関（地域包括支援センター等）	1	2	3	4	5		
⑮和歌山市役所（福祉事務所やその他の部局）	1	2	3	4	5		
⑯和歌山市の専門機関（子ども総合支援センター等）	1	2	3	4	5		

(2) また、貴団体が活動するうえで、今後どのような団体や機関と連携したいですか。(それぞれ○は1つ)

	所属している	今後は(今後も)一緒に活動していきたい	情報交換はしていきたい	特に連携する必要はない
①同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体	1	2	3	4
②他の地域の自治会やその他の地域の団体	1	2	3	4
③地区社会福祉協議会	1	2	3	4
④地区民生委員・児童委員協議会	1	2	3	4
⑤ボランティアグループやNPO	1	2	3	4
⑥和歌山市社会福祉協議会	1	2	3	4
⑦福祉施設・保育所・認定こども園・福祉サービスの事業所	1	2	3	4
⑧福祉以外の事業所や企業	1	2	3	4
⑨学校、幼稚園	1	2	3	4
⑩公民館	1	2	3	4
⑪つどいの家	1	2	3	4
⑫地域子育て支援拠点施設	1	2	3	4
⑬医療機関や医療専門職	1	2	3	4
⑭福祉に関する地域の相談機関(地域包括支援センター等)	1	2	3	4
⑮和歌山市役所(福祉事務所やその他の部局)	1	2	3	4
⑯和歌山市の専門機関(子ども総合支援センター等)	1	2	3	4

問7. 地域福祉を推進するためには、次の①～⑳について、それぞれどのように取り組んだ方がよいと思いますか。
(それぞれ○は1つ)

	市・関係機関が重点的に取り組んだ方がよい	市民がもっと主体的に取り組んだ方がよい	団体・事業者等がもっと積極的に取り組んだ方がよい
①地域での住民どうしのつながりの強化	1	2	3
②日常の困りごとを地域で支えあう活動の充実	1	2	3
③ボランティア活動やNPO活動への支援の充実	1	2	3
④さまざまな団体・機関などのネットワークの充実	1	2	3
⑤福祉に関する相談窓口の充実	1	2	3
⑥高齢者や障害者などの介護や生活支援サービスの充実	1	2	3
⑦子育てや子どもの健全育成に関する支援の充実	1	2	3
⑧虐待防止やすべての人の権利擁護の取り組みの充実	1	2	3
⑨経済的に困窮している人への支援の充実	1	2	3
⑩働く場の確保や就労のための支援の充実	1	2	3
⑪年金などの社会保障制度の充実	1	2	3
⑫健康づくりや医療の充実	1	2	3
⑬社会的に孤立した人やひきこもりの人への支援の充実	1	2	3
⑭支援が必要な人を身近なところで発見する取り組みの充実	1	2	3
⑮福祉への理解や思いやりの心を育てる取り組みの充実	1	2	3
⑯だれもが生活しやすいバリアフリーの環境づくり	1	2	3
⑰交通や買い物などの生活の利便性の向上	1	2	3
⑱住宅の確保や住環境の充実	1	2	3
⑲災害時の支えあいや防災の取り組みの充実	1	2	3
⑳犯罪や事故などのない安全なまちづくり	1	2	3

問8. この調査の結果や統計データなどをもとに、「地域の絆づくり交流会（本年10月～12月頃）」を開催する予定です。この会議に参加したいと思いますか。

(○は1つ)

1. 参加したい	2. 参加したくない	3. わからない
----------	------------	----------

その他について、お聞きします。

問 9. 活動をするうえで、効果的だった取り組みについて、お書きください。

問 10. 地域福祉を推進するにあたり、具体的なご意見やご提案などありましたら、自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。長時間のご協力、ありがとうございました。

(2) 地域の居場所や福祉の相談窓口の利用者へのアンケート調査票



地域の居場所や福祉の相談窓口の利用者への アンケート調査票

みなさまには日頃から市政に対し、格別のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

和歌山市では、急速な高齢化の進行や核家族世帯の増加などに対応するため、「わかやま・元気ふくし計画（第3次和歌山市地域福祉計画）」を策定し、この計画にそって各地域の福祉団体や市民の方々とともに様々な取り組みを進めてきました。

この計画は5年ごとに改定することになっており、現在、次の計画策定に向けての作業を開始したところですが、新しい計画を今より一歩進めたものとするため、今回、地域の居場所や福祉の相談窓口を利用するみなさまへのアンケート調査を実施することにしました。

本調査でいただいたご意見等は、新しい地域福祉計画に反映させるための貴重な資料として使用させていただきますが、この計画を策定する目的以外に使用することはありません。調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■記入にあたってのお願い

各問に対し、最もあてはまる番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、()内に具体的にその内容をご記入ください。

また、問13については、ご意見やご提案などを自由にお書きください。

■調査票の返送方法

記入後は、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、10月1日（月曜日）までに郵便ポストに投函してください。

お問い合わせ先

和歌山市 福祉局 社会福祉部 高齢者・地域福祉課

TEL : 073-435-1063 FAX : 073-435-1268

問1. 利用された場所はどちらですか。 (○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 地域包括支援センター | 3. 相談支援事業所 |
| 2. つどいの家 | 4. 地域子育て支援拠点施設 |

あなた（利用者）自身について、お聞きします。

問2. 性別はどちらですか。 (○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3. 年齢について教えてください。 (○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 |
| 7. 65～69歳 | 8. 70～79歳 | 9. 80歳以上 |

問4. 家族構成について教えてください。 (○は1つ)

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 2世代世帯 |
| 4. 3世代世帯 | 5. その他 () | |

問5. どのエリアにお住まいですか。 (○は1つ)

エリア	地区名
1. 中心部	本町、城北、広瀬、雄湊、大新、新南、吹上、砂山、今福、高松、芦原、宮前、中之島、宮北
2. 南部	雑賀、雑賀崎、和歌浦、名草、田野
3. 東部	四箇郷、宮、西和佐、和佐、小倉
4. 東南部	岡崎、三田、安原、西山東、東山東
5. 河西部	野崎、湊、松江、楠見、貴志、木本、西脇、加太
6. 河北部	有功、直川、紀伊、川永、山口
7. その他	不明な場合は町名をご記入ください ()

問6. お住まいのエリアに通算で何年お住まいですか。 (○は1つ)

- | | | |
|---------|---------------|----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上 20年未満 | 3. 20年以上 |
|---------|---------------|----------|

問7. お住まいのエリアの状況を、どのように感じていますか。(それぞれ○は1つ)

	そう思う	ややそう思う	いえない どちらとも	思わない あまりそう	そう思わない	わからない
①地域の住民どうしのつながりが強い	1	2	3	4	5	6
②住民どうしの支えあいができている	1	2	3	4	5	6
③地域の活動への住民の関心が高い	1	2	3	4	5	6
④多くの人々が地域活動に参加している	1	2	3	4	5	6
⑤地域の団体などが連携できている	1	2	3	4	5	6
⑥少子高齢化がすすんでいる	1	2	3	4	5	6
⑦生活にしんどさを感じる人が増えた	1	2	3	4	5	6
⑧地域から孤立している人が増えた	1	2	3	4	5	6
⑨福祉に関する相談窓口が充実した	1	2	3	4	5	6
⑩福祉の施設やサービスが充実した	1	2	3	4	5	6

「和歌山市地域福祉計画」について、お聞きします。

問8. 「第3次和歌山市地域福祉計画」(以下「現計画」という。)では、地域福祉を推進していくために11の柱をたて、それらを市民、団体、事業者、市・関係者等が役割を分担しながら協働して進めていくことが書かれています。これらの11の取り組みの進み具合について、あなたはどのように思いますか。(それぞれ○は1つ)

11の取り組みの柱	大 幅 に 進 ん で い る	少 し は 進 ん で い る	あ ま り 進 ん で い な い	ま っ た く 進 ん で い な い
①“困りごと”に気づき、支援につながります	1	2	3	4
②多様な“困りごと”に対応したサービスや活動をすすめます	1	2	3	4
③権利をまもり、暮らしを高めます	1	2	3	4
④健康や生きがいづくりをすすめます	1	2	3	4
⑤地域福祉への理解をすすめます	1	2	3	4
⑥地域福祉の担い手を増やします	1	2	3	4
⑦地域福祉活動への支援を充実します	1	2	3	4
⑧地域福祉をすすめるネットワークを広げます	1	2	3	4
⑨地域のつながりを強くします	1	2	3	4
⑩快適な生活環境をつくります	1	2	3	4
⑪安全に暮らせる地域をつくります	1	2	3	4

問9. 現計画では、地域福祉の推進について、特に次のA～Fのプログラムを先導的に取り組む事項として設定し、市民、団体、事業者等にも協働を呼びかけています。

《プログラムA》 地域での学習や話しあいの推進

多くの人々が“したいこと・できること”で参加し、協働して地域福祉をすすめるためのきっかけのひとつとして、地域の課題や各々の“思い”を共有し、ともに話しあうことを通じて理解を深めながら、計画に掲げるさまざまな取り組みを具体的に推進する方策を考え、協力して実践していくよう、身近な地域で学習や話しあいをすすめます。

《プログラムB》 災害時に支援が必要な人を支える取り組み

南海・東南海地震をはじめ、大規模な自然災害などへの備えが一層重要になっています。だれもが関心をもつ“災害”をテーマとした取り組みを、地域福祉の視点も含めて推進し、多くの人々の参加を得ながら、いざというときに支えあえる地域のつながりづくりや、支援が必要な人を支える体制づくりにつないでいきます。

《プログラムC》 生活困窮者への支援の推進

経済的な問題とともに、家族や地域などから孤立して生活に困窮している人などを、地域のかも活かして効果的に支援していくように、新たに始める「生活困窮者自立支援」の取り組みを、地域福祉の視点も含めて推進します。

《プログラムD》 身近な相談窓口とネットワークの充実

“困りごと”に気づいたときには、早めに相談し、適切な支援を受けることができるように、その人にとって身近なところで相談でき、どこに相談しても適切な支援につながるしくみを充実します。

《プログラムE》 協働事業の担い手の養成

介護保険制度が改正されて、要支援の人の訪問介護や通所介護は、市町村が地域の状況に応じて提供することになりました。多様な担い手の参加のもとで、より地域に密着した支援を行っていくことが求められています。このように、公的なしくみと市民の主体性を活かした活動がうまく協働し、必要とされるサービスを効果的に提供する体制を構築するよう、担い手を増やします。

《プログラムF》 担い手や活動を支える体制の充実

地域福祉活動は、参加する人の主体性を大切に活動ですが、第一歩を踏み出せるように呼びかけ、つないだり、専門的な視点で助言や支援などを行うことは、活動を継続・発展させていくうえで不可欠です。この計画を推進していくための地域福祉活動の広がりに対応し、きめ細かな支援を行っていくよう、体制の充実を図ります。

先導的に取り組む事項の進み具合について、あなたはどのように思っていますか。

(それぞれ○は1つ)

先導的に取り組む事項	で い る	大 幅 に 進 ん	で い る	少 し は 進 ん	で い な い	あ ま り 進 ん	ん で い な い	ま っ た く 進 ん
①<<プログラムA>>地域での学習や話しあいの推進	1		2		3		4	
②<<プログラムB>>災害時に支援が必要な人を支える取り組み	1		2		3		4	
③<<プログラムC>>生活困窮者への支援の推進	1		2		3		4	
④<<プログラムD>>身近な相談窓口とネットワークの充実	1		2		3		4	
⑤<<プログラムE>>協働事業の担い手の養成	1		2		3		4	
⑥<<プログラムF>>担い手や活動を支える体制の充実	1		2		3		4	

問10. 現計画では、市全体の地域福祉を推進していくための取り組みを市民、団体、事業者、市・関係者が役割分担しながら協働して展開していくことになっています。

(1) どのような団体の活動に参加していますか。
(それぞれ○は1つ)

(1) どのような団体の活動に参加していますか。 (それぞれ○は1つ)	現 在、 活 動 に 参 加 し て い る	活 動 に 参 加 し た こ と が あ る	今 は 活 動 に 参 加 し て い な い が、	活 動 に 参 加 し た こ と は な い	内 容 は 知 っ て い る が、	内 容 も 連 絡 先 も 知 ら な い	
①同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体	1		2		3		4
②他の地域の自治会やその他の地域の団体	1		2		3		4
③地区社会福祉協議会	1		2		3		4
④地区民生委員・児童委員協議会	1		2		3		4
⑤ボランティアグループやNPO	1		2		3		4
⑥和歌山市社会福祉協議会	1		2		3		4

(2) どのような事業所・施設等を利用していますか。
(それぞれ○は1つ)

	現在、 利用している	以前に利用したことがある 今は利用していないが、	利用したことはない 内容は知っているが、	内容も連絡先も知らない
⑦福祉施設・保育所・認定こども園・福祉サービスの事業所	1	2	3	4
⑧福祉以外の事業所や企業	1	2	3	4
⑨公民館	1	2	3	4
⑩つどいの家	1	2	3	4
⑪地域子育て支援拠点施設	1	2	3	4

(3) どのような市・関係機関等を相談窓口として利用
していますか。
(それぞれ○は1つ)

	現在、 利用している	以前に利用したことがある 今は利用していないが、	利用したことはない 内容は知っているが、	内容も連絡先も知らない
⑫医療機関や医療専門職	1	2	3	4
⑬福祉に関する地域の相談機関(地域包括支援センター等)	1	2	3	4
⑭和歌山市役所(福祉事務所やその他の部局)	1	2	3	4
⑮和歌山市の専門機関(子ども総合支援センター等)	1	2	3	4

問 11. 地域福祉を推進するため、次の①～⑳についてどのように取り組んだ方がよいと思いますか。
(それぞれ○は1つ)

	市・関係機関が重点的に取り組んだ方がよい	市民がもっと主体的に取り組んだ方がよい	団体・事業者等がもっと積極的に取り組んだ方がよい
①地域での住民どうしのつながりの強化	1	2	3
②日常の困りごとを地域で支えあう活動の充実	1	2	3
③ボランティア活動やNPO活動への支援の充実	1	2	3
④さまざまな団体・機関などのネットワークの充実	1	2	3
⑤福祉に関する相談窓口の充実	1	2	3
⑥高齢者や障害者などの介護や生活支援サービスの充実	1	2	3
⑦子育てや子どもの健全育成に関する支援の充実	1	2	3
⑧虐待防止やすべての人の権利擁護の取り組みの充実	1	2	3
⑨経済的に困窮している人への支援の充実	1	2	3
⑩働く場の確保や就労のための支援の充実	1	2	3
⑪年金などの社会保障制度の充実	1	2	3
⑫健康づくりや医療の充実	1	2	3
⑬社会的に孤立した人やひきこもりの人への支援の充実	1	2	3
⑭支援が必要な人を身近なところで発見する取り組みの充実	1	2	3
⑮福祉への理解や思いやりの心を育てる取り組みの充実	1	2	3
⑯だれもが生活しやすいバリアフリーの環境づくり	1	2	3
⑰交通や買い物などの生活の利便性の向上	1	2	3
⑱住宅の確保や住環境の充実	1	2	3
⑲災害時の支えあいや防災の取り組みの充実	1	2	3
⑳犯罪や事故などのない安全なまちづくり	1	2	3

問 12. この調査の結果や統計データなどをもとに、「地域の絆づくり交流会（本年10月～12月頃）」を開催する予定です。この会議に参加したいと思いますか。

(○は1つ)

1. 参加したい	2. 参加したくない	3. わからない
----------	------------	----------

(3) 小学生アンケート調査票



ちいきふくし 地域福祉についてのアンケート

和歌山市では、だれもが住みなれた場所^{ばしょ}で安心して暮^{あんしん}らせるように、みんながお互^{たが}いに協力^{きょうりょく}をし、助け合^{たすあ}っていくために必要^{ひつよう}なことは何か^{なに}ということを考^{かんが}えて、『和歌山市地域福祉計画』という計画^{けいかく}を作^{つく}りました。

計画^{けいかく}ができてから4年^{ねん}がたつ来^{らい}年、この計画^{けいかく}を見直^{みなお}すことになりました。見直^{みなお}しにあたっては、この計画^{けいかく}を作^{つく}ったときと同じように、できるだけ多^{おほ}くの和歌山市民^{わかやましじん}に日頃^{ひごろ}から思^{おも}っていることを聞^きく必要^{ひつよう}があります。

今回^{こんかい}は、和歌山市^{わかやまし}の小学生児童^{しょうがくせいじどう}を代^{だい}表^{ひょう}して、みなさんに日頃^{ひごろ}から思^{おも}っていることを教^{おし}えてもらいたいと思^{おも}っています。

これからの和歌山市^{わかやまし}をもっとすばらしい住^すみよいまちにするために、みなさんの意見^{いけん}を参考^{さんこう}にさせていただきます。

これは、テストではありません。みなさんが思^{おも}ったとおりに、アンケートに答^{こた}えてください。

わかやましやくしょ
和歌山市役所

ふくしきょく しゃかいふくしぶ こうれいしゃ ちいきふくしか
福祉局 社会福祉部 高齢者・地域福祉課

あなたのことについて、お聞きします。

(すべての方にお聞きします。)

問1. あなたの性別は、どちらですか。(どちらかに○をしてください)

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

あなたの普段の生活について、お聞きします。

(すべての方にお聞きします。)

問2. あなたは、放課後、何をして過ごすことが多いですか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 自宅や友達の家で遊んでいる | 5. 塾や習い事に行っている |
| 2. 外で遊んでいる | 6. 学校で過ごしている |
| 3. 自宅で勉強している | 7. その他 () |
| 4. 家の手伝いや留守番をしている | |

(すべての方にお聞きします。)

問3. あなたは、どこで遊ぶことが多いですか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 1. 自宅 | 8. 学校 |
| 2. 近所の通路・道路 | 9. スポーツ広場・体育館 |
| 3. 空き地・原っぱ | 10. スーパーマーケット・ショッピングモール |
| 4. 公園 | 11. ゲームセンター |
| 5. 友達の家 | 12. その他 () |
| 6. 親戚の家 | 13. ほとんど遊ばない |
| 7. 祖父・祖母の家 | |

(すべての方にお聞きします。)

問4. あなたは、主にだれと遊ぶことが多いですか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 学校の友達 | 6. 近所のお年寄り |
| 2. 学校以外の友達 | 7. ペット(動物) |
| 3. 兄弟姉妹 | 8. 一人で遊ぶ |
| 4. 親戚 | 9. その他() |
| 5. 祖父・祖母 | |

(すべての方にお聞きします。)

問5. あなたは、家でどのようなお手伝いをしていますか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 洗濯 | 7. おつかい・買い物 |
| 2. 掃除 | 8. 兄弟姉妹の世話 |
| 3. 食事の準備 | 9. 祖父・祖母の手助け |
| 4. 食事のあとかたづけ | 10. 動物・植物の世話 |
| 5. 風呂の準備 | 11. その他() |
| 6. ごみ捨て | 12. 特にお手伝いはしない |

(すべての方にお聞きします。)

問6. あなたは、最近どのような悩みをもっていますか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 勉強のこと | 8. 自分の性格のこと |
| 2. 友達のこと | 9. 自分の体のこと |
| 3. 学校のこと | 10. 将来のこと |
| 4. 親のこと | 11. 塾・習い事のこと |
| 5. 兄弟姉妹のこと | 12. 異性のこと |
| 6. 祖父・祖母のこと | 13. その他() |
| 7. 近所の人のこと | 14. 特に悩みごとはない |

(すべての方にお聞きします。)

問7. あなたは、悩みがある場合、主にだれに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | | |
|---------|-------------|----------------|
| 1. 母親 | 5. 祖父 | 9. その他 () |
| 2. 父親 | 6. 友達 | 10. 相談できる人はいない |
| 3. 兄弟姉妹 | 7. 学校の先生 | 11. 相談しない |
| 4. 祖母 | 8. 塾・習い事の先生 | |

(すべての方にお聞きします。)

問8. あなたは、近所の大人の人たちと出会ったとき、あいさつをするように心がけていますか。(ひとつだけに○をしてください)

- | |
|------------------|
| 1. 自分からするようにしている |
| 2. 大人からされたら、している |
| 3. ほとんどしていない |
| 4. その他 () |

(すべての方にお聞きします。)

問9. あなたは、事故(交通事故や水の事故など)にあいそうになったり、不審な人物を見かけたりするなど、こわい思いをしたことがありますか。あった場合、それはどのような場所でしたか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 通学路 | 7. ため池・用水路 |
| 2. 塾や習い事の行き帰りの途中 | 8. 学校 |
| 3. 車の多く通る道路 | 9. スーパーマーケット・ショッピングモール |
| 4. 駅 | 10. ゲームセンター |
| 5. 公園・空き地 | 11. こわい思いをしたことがない |
| 6. 海・川・山 | 12. その他 () |

(すべての方にお聞きします。)

問10. あなたは、近所の「きしゅう君の家」を知っていますか。

(ひとつだけに○をしてください)

1. 知っている

2. 知らない



緊急のときに子どもが助けを求めることができる「きしゅう君の家」。

これは特別な施設ではなく、この制度に協力するコンビニエンスストアや一般家庭の地域住民が、犯罪に巻き込まれそうな子どもを保護し、110番通報する仕組みです。

ほかひとたすあささあき
他の人との助け合いや支え合いについて、お聞きします。

(すべての方にお聞きします。)

問11. あなたは、バスや電車、階段などで、高齢者の方や障害者の方に席をゆずったり、荷物を持つなどの行為をしたことがありますか。

(ひとつだけに○をしてください)

1. している

4. そういう場面にあつたことがない

2. たまにしている

5. その他

3. していない → 問12へ

()

(問11で「3」を選んだ方にお聞きします。それ以外の方は問13へ)

問12. その理由は何ですか。(ひとつだけに○をしてください)

1. はずかしいから

4. おせっかいになるような気がするから

2. 面倒だから

5. どのようにしてよいかわからないから

3. 特に理由はない

6. その他 ()

(すべての方にお聞きします。)

問13. あなたは、以下のマークを知っていますか。

(ひとつだけに○をしてください)

①マタニティマーク	②ヘルプマーク	③耳マーク
1. 知っている 2. 知らない	1. 知っている 2. 知らない	1. 知っている 2. 知らない
 <p>「妊産婦」を表すマークです。</p>	 <p>「外見から分からなくても助けを必要としている方」を表すマークです。</p>	 <p>「耳が不自由な方」を表すマークです。</p>

(すべての方にお聞きします。)

問14. あなたは、どのようなボランティア活動をしたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

1. 年下の子どもたちの世話をする活動	
2. 高齢者の方のお世話をする活動	
3. 障害者の方のお世話をする活動	
4. 駅や広場などで募金を集める活動	
5. 木を植える、魚を放流するなどの自然を守る活動	
6. 近所のごみ拾いをする活動	
7. 祭りや行事のお手伝いをする活動	
8. 外国の子どもたちと交流を行う活動	
9. 被災地を訪問したり、お手伝いに行く活動	
10. その他 ()	
11. ボランティア活動をしたことがない	→ 問16へ

(問14「11」以外を選んだ方にお聞きします。)

問15. ボランティア活動をしたとき、どんな気持ちになりましたか。
(あてはまるものすべてに○をしてください)

1. 人や社会のためになっている感じがして気持ちよかった
2. 日頃できないいろいろな経験ができて楽しかった
3. みんなと協力して一つのことをやりとげることができてうれしかった
4. 友達や知り合いができてうれしかった
5. 気づかなかったことや知らなかったことがたくさんあって、おどろいた
6. 初めてするようなことや知らない人がたくさんいて、きんちょうした
7. 参加しないとわからない苦労がたくさんあって、しんどかった
8. あまり楽しいとは思わなかった
9. その他 ()

(すべての方にお聞きします。)

問16. あなたは、今後どのようなボランティア活動をしてみたいですか。
(あてはまるものすべてに○をしてください)

1. 年下の子どもたちの世話をする活動
2. 高齢者の方のお世話をする活動
3. 障害者の方のお世話をする活動
4. 駅や広場などで募金を集める活動
5. 木を植える、魚を放流するなどの自然を守る活動
6. 近所のごみ拾いをする活動
7. 祭りや行事のお手伝いをする活動
8. 外国の子どもたちと交流を行う活動
9. 被災地を訪問したり、お手伝いに行く活動
10. その他 ()
11. ボランティア活動をしてみたいと思わない → 問17へ

(問16で「11」を選んだ方にお聞きします。それ以外の方は問18へ)

問17. その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 勉強や塾で時間がないから | 4. きっかけがないから |
| 2. 親がだめだと言うから | 5. 関心がないから |
| 3. 一緒に活動する友達がいないから | 6. その他 () |

(すべての方にお聞きします。)

問18. 地域での子ども会やお祭りなどの行事に参加していますか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | |
|------------------------------|
| 1. 子ども会の行事に参加している |
| 2. 地域のお祭りに参加している (夏祭り、秋祭りなど) |
| 3. 餅つき大会に参加している |
| 4. その他 () |
| 5. 何も参加していない |

ぼうさい 防災について、お聞きします。

(すべての方にお聞きします。)

問19. あなたは、防災について、家族で話し合ったことはありますか。あった場合、どのような内容ですか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | |
|------------------------------|
| 1. 家族で集合する場所や連絡先の確認 |
| 2. 飲料水や食料などの非常用持出品の準備 |
| 3. 学校や公園などの避難場所の確認 |
| 4. 崖崩れや川の氾濫などが起こるような危険な場所の確認 |
| 5. 家の近所で行われている防災訓練への参加 |
| 6. その他 () |
| 7. 特に話し合ったことはない |

わかやまし 和歌山市について、お聞きします。

(すべての方にお聞きします。)

問20. あなたは、和歌山市のどのようなところが好きですか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

1. 山や海などの自然が多い
2. 気候がよい
3. 自然のおいしい食べ物が多い
4. お城や動物園などの観光施設がある
5. お店が多く、生活に便利
6. 徒歩・自転車・車椅子などで通りやすいよう、道路が整備されている
7. 公園や広場など遊べるところが多い
8. まちがきれい
9. 楽しい行事や祭りがある
10. 親切な人が多い
11. その他 ()
12. 特に好きなどころはない

(すべての方にお聞きします。)

問21. あなたの住んでいる地域のすべての人が、今よりももっと幸せに生活するためには、これからどんなことをしていったらよいと思いますか。あなたの考えを自由に書いてください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。